

ivIS GX10

4Kビデオカメラ

はじめに

準備

撮影

カスタマイズ

再生／編集

接続

保存

ネットワーク

メニュー

その他

本機の特長

高画質4K記録システム

829万画素1.0型CMOSセンサーと

映像エンジン「Dual DIGIC DV 6」を搭載

有効画素数約829万画素（3840 x 2160）の1.0型単板式CMOSイメージセンサーと映像処理プラットフォーム「Dual DIGIC DV 6」を搭載。防振機能や低照度での画質に優れ、さまざまな撮影ニーズに応えます。

高画質ワイドズームレンズ

コンパクト光学15倍ズームレンズを搭載。35mm換算でワイド25.5mmからと多様な撮影シーンに応えます。

優れた操作性と汎用性

機動力を発揮する小型ボディ

高性能を小型、軽量ボディに凝縮。機動力が求められる現場で活躍します。

作品づくりに集中できる優れたマニュアル操作性
フォーカスとズームを切り換えできるフォーカス／ズームリングを搭載。よく使う機能を割り当てることができるカスタムボタンとカスタムキー、カメラ本体に5個のアサインボタンと、画面のタッチ操作で行うタッチアサインボタンを搭載することで、操作性を向上させました。

長時間撮影と安心バックアップ機能

MP4形式の4K動画をSDカードに記録可能。2つのカードスロットを搭載し、片方のSDカードの残量がなくなったら自動的に他方のSDカードへ記録したり（リレー記録）、同じ映像を同時に記録したり（同時記録）することができます。

液晶モニターとビューファインダー

静電容量方式タッチパネルの液晶モニターを搭載。クリアな画面表示と軽快な操作感覚を実現しています。また、ビューファインダーは、上方約45°までの角度調整ができますので、ローアングル時の操作性を向上させています。

Wi-Fiによるネットワーク機能（ 130）

5 GHz帯、2.4 GHz帯に対応するWi-Fiを内蔵。Wi-Fiでネットワークに接続すれば、ネットワーク機器からリモート撮影するブラウザーリモートや、撮影映像のFTP転送が使用できます。

タイムコード生成と重畳出力（ 81）

内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力できます。また、出力信号にユーザービットを重畳することもできます。

制作意図に応える 多彩な表現力

さまざまな映像表現が可能な記録機能 (㊦ 52、95)
スロー & ファストモーション記録では、記録速度を変更することにより、最低0.2倍速のスローモーション撮影や最大1200倍速のファストモーション撮影ができます。

プレ記録では撮影開始時点の約3秒前から記録することで、撮り逃がしを防ぎます。

* 「解像度」と「フレームレート」の設定によります。

映像表現にあわせて、多彩な画づくりを実現する ルック設定 (㊦ 80)

設定するルックによって、シャープネス、コントラスト、色の濃さなどを調整して画質調整が可能です。「Wide DR」では、広いラチチュードを持つガンマと、ガンマに合わせた色再現で撮影できます。

進化したフォーカス機能

デュアルピクセルCMOS AFによるAF機能 (㊦ 53)
常に自動調整するコンティニュアスAFと、手動で大きめに調整すると合焦付近は自動調整する「AFブーストMF」を搭載。不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。AF枠のサイズ・位置やAF速度／応答性の調整もできます。

また、横顔に近い状態でも、検出した顔を追尾してフォーカスする顔追尾機能。さらに、顔が検出されている間のみ顔にフォーカスするフェイスオンリー AF機能*を搭載。

* 顔が検出されていないときはマニュアルフォーカスになります。

デュアルピクセルフォーカスガイドを搭載 (㊦ 67)

デュアルピクセルフォーカスガイドを表示すると、ピントの状態と調整方向、調整量が視覚的に確認可能。4K撮影時の目視によるフォーカス調整を強力にアシストします。

使いやすさを向上させる さまざまな機能

- 残量の目安を確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリー。
- GPSレシーバー GP-E2 (別売) を接続すると、映像にGPS情報を付加することができます。
- リモートコントローラー RC-V100 (別売) に対応。

Contents

本機の特長	2
本書の読みかた	8

はじめに

商品を確認する	10
各部の名称	11
本体の名称	11
リモコン WL-D89の名称	16

準 備

電源を準備する	18
バッテリーを使う	18
バッテリーの残量を確認する	21
カメラを準備する	22
レンズフードとレンズキャップについて	22
ビューファインダーを使う	23
液晶モニターを使う	24
グリップベルトを調節する	25
リストストラップWS-20(別売)を取り付ける	25
ショルダーストラップSS-600 / SS-650(別売)を 取り付ける	26
リモコンを使う	27
本体を三脚に取り付ける	28
カメラを操作する	29
電源を入れる／切る	29
カメラモードを切り換える	30
MENU(メニュー)ボタン／ジョイスティックで 操作する	31
日付／時刻を合わせる	32
カードを準備する	33
使用可能なSDカード	33
カードを入れる／出す	34
カードを初期化する	35

FUNCメニュー／メニューの設定を変える	36
FUNCメニューの設定を変える	36
メニューの設定を変える	37
記録先を選ぶ	39

撮 影

動画や静止画を撮影する	42
準備する	42
撮影する	43
いま撮ったクリップを確認する (レックレビュー)	46
冷却ファンの動作方法を選ぶ	46
画面の見かた	47
映像の信号形式を選ぶ	50
解像度とフレームレートを設定する	50
記録方法を選ぶ	51
スロー & ファストモーション記録を行う	52
撮影フレームレートを設定する	52
ピントを合わせる	53
MF(マニュアルフォーカス)で調整する	53
フォーカス位置をプリセットする	54
フォーカスアシスト機能を使う	55
AFブーストMFで調整する	58
コンティニュアスAFで調整する	59
AF枠の位置／サイズを変更する	59
顔を検出してフォーカスを合わせる (フェイスキャッチ&追尾)	60
フェイスオンリー AF	62
拡大して撮る	63
フォーカス／ズームリングで操作する	63
グリップズーム／リモコンのズームで操作する	64
画面のズームボタンで操作する	67
画面中央を拡大して撮る(デジタルテレコン)	68
手ブレをおさえて撮る	69

手ブレ補正を設定する	69
望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)	69
ゲインリミットを設定する	70
撮影モードを切り換える	71
撮影モードを切り換える	71
明るさを調整する	75
露出を固定する (AEロック)	75
タッチした被写体に自動的に露出を合わせる (タッチ露出)	76
AE時の露出を補正する	76
強制逆光補正	77
ゼブラパターンを表示する	77
NDフィルターを切り換える	78
色合いを調整する	79
好みの画質にする (ルック)	80
ルックを設定する	80
タイムコードを設定する	81
カウントアップ方式を選ぶ	81
ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える	82
ユーザービットを設定する	83
任意の16進数を設定する	83
時刻または日付を設定する	83
ミニアドバンストシューを使う	84
アクセサリを取り付ける	84
ビデオライトVL-5(別売)を使う	84
音声を記録する	85
指向性マイクロホンDM-100(別売)を使う	85
市販のマイクを使う	85
場面に合わせて音の設定を選択する (オーディオシーン)	86
録音レベルを調整する	88
内蔵マイクのアッテネーターを使う	89
内蔵マイクウィンドカットを使う	89
内蔵マイクの周波数特性を選ぶ	90
内蔵マイクの指向性を切り換える	90

音声リミッター	91
音声コンプレッサー	91
外部マイクにアッテネーターを使う	92
外部マイクのローカットを使う	92
ヘッドホンを使う	93
ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する	93
再生中にヘッドホン音量を調整する	93
カラーバー／テストトーンを記録する	94
カラーバーを記録する	94
テストトーンを記録する	94
プリ記録を行う	95
RC-V100(別売)でリモート撮影する	96
GPSレシーバー GP-E2を使う	97

カスタマイズ

よく使う機能を設定する	100
機能を割り当てる	100
アサインボタンの機能を変更する	102
機能を変更する	103
メニューデータの保存と読み出し	104
設定データをカードに保存する	104
メニューデータをカードから読み込む	104

再生／編集

クリップや静止画を再生する	106
再生インデックス画面	106
クリップや静止画を再生する	107
再生時の画面表示	108
クリップの詳細情報を表示する	112
クリップを操作する	113
クリップや静止画を消去する	113
クリップを切りとる	115
クリップや静止画をコピーする	116

クリップを修復する.....	119
----------------	-----

接 続

出力信号形式	122
外部モニター／レコーダーを接続する	123
接続のしかた.....	123
外部レコーダーを接続して映像を記録する.....	124
出力端子を選択する	125
HDMI OUT端子の出力モードを設定する	125

撮影データの保存

クリップを保存する.....	128
----------------	-----

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする	130
Wi-Fiで接続する	131
ネットワーク接続設定を選ぶ.....	140
ネットワーク接続設定を変更する	140
ネットワーク機器でリモート撮影する	141
リモート設定を行う.....	141
ブラウザーリモートを起動する.....	142
リモート撮影する	144
クリップをFTPで転送する	150
FTP転送の準備をする.....	150
クリップをFTPで転送する.....	151

メニュー

FUNCメニューの紹介	154
FUNCメニュー（カメラモード）.....	154
FUNCメニュー（メディアモード）.....	155

メニューの紹介	156
📷 カメラ設定メニュー	156
▶ 再生設定メニュー.....	157
📁 記録設定メニュー.....	158
🎵 オーディオ設定メニュー.....	159
☑ 表示設定メニュー	160
⚙ システム設定メニュー	160

その他

トラブルシューティング.....	164
電源	164
撮影中.....	164
再生中.....	165
表示やランプ.....	165
画面や音.....	166
アクセサリー	167
他機	167
ネットワーク接続	168
Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法.....	169
メッセージが出たら？	170
ネットワーク 機能使用時	172
安全上のご注意.....	175
取り扱い上のご注意／日常のお手入れ.....	177
ビデオカメラ本体	177
バッテリー	179
カード.....	180
充電式内蔵電池.....	180
その他のご注意.....	180
コイン型リチウム電池（CR2025）.....	181
ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）..	181
アクセサリー紹介.....	182
主な仕様.....	184
iVIS GX10	184
付属品.....	186

動画の記録可能時間の目安	186
バッテリーの充電時間の目安	187
バッテリーの使用時間の目安	187
索引	189
保証書と修理対応	193

本書の読みかた

日付／時刻を合わせる

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定してよくと、現地時間で記録できます（「システム設定メニュー」）。

1 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする

はじめて電源をいれると「日付時刻」設定画面がでる。

2 日時を設定する

- ① 項目（年月日時分）をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。



32

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード¹⁾に記録します（下表）。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード²⁾に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。

SDカードを使用するときは、はじめに本機で完全初期化してください（「カードを初期化する」）。
¹⁾ SDカードは、設定データの保存にも使用します。
²⁾ 以降、カードスロットAに入れるSDカードを「カードA」、カードスロットBに入れるSDカードを「カードB」と記載します。

■ 使用可能なSDカード

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	SDメモリーカード、 SDHCメモリーカード、 SDXCメモリーカード
SDスピードクラス ¹⁾	CLASS [®] 、CLASS [®]
UHSスピードクラス ^{1) 2)}	U、U
メーカー ³⁾	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

¹⁾ SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

²⁾ 記録設定メニュー「解像度」で「3840x2160 (150 Mbps)」(「映像の信号形式を通知」)を設定しているときや「Slow & Fastモーション記録」のときは、UHSスピードクラス3のSDカードをおすすめします。

³⁾ これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2017年6月現在）。

※注意

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

SDXCメモリーカードに対応した機種でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー/ライターなどでご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

● SDXCメモリーカードに対応していないiOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。

● 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを完全初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

■メモ

● すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

準備

33

POWER(電源)スイッチの位置を示すマーク

		CAMERAにする
		MEDIAにする
		CAMERAかMEDIAにする

モードスイッチを示すマーク

カメラモード **AUTO** **M**

撮影時に選択するモード。
AUTO（オート）と**M**（マニュアル）がある。

コラムのマーク

ご注意	必ず守っていただきたいこと
MEMO	知っておいていただきたいこと

次のページに続くことを示すマーク

本文中の表記



参照ページを示す



参考になるページなどを示す



ビューファインダーの画面、または液晶モニターの画面のこと



SD/SDHC/SDXCメモリーカードのこと



動画撮影モードのこと



再生モードのこと

- 作例写真はスチルカメラで撮影したものです。
- 本書では、見やすくするために加工した画面を一部使用しています。

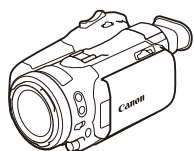


はじめに

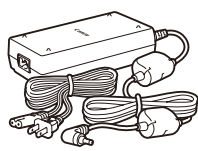
商品を確認する	10
各部の名称	11

商品を確認する

iVUS GX10には、次のものが付属しています。ご使用になる前に足りないものはないか確認してください。



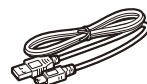
ビデオカメラ本体



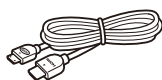
ACアダプター
CA-946



バッテリーパック
BP-828



USBケーブル
(インターフェースケーブル)
IFC-300PCU/S



ハイスピードHDMIケーブル
HTC-100/SS



バリア付きレンズフード



レンズキャップ



リモコン
(ワイヤレスコントローラー)
WL-D89



コイン型リチウム電池
CR2025(リモコン用)

使う前に知っておいてください

必ずためし撮りをしてください

実際の撮影条件で事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。万一、ビデオカメラが正常に動作しないときは、「トラブルシューティング」(□ 164)をご確認ください。

記録内容の補償はできません

ビデオカメラやカードなどの不具合により、記録や再生ができなかった場合であっても、記録内容の補償はご容赦ください。

著作権にご注意ください

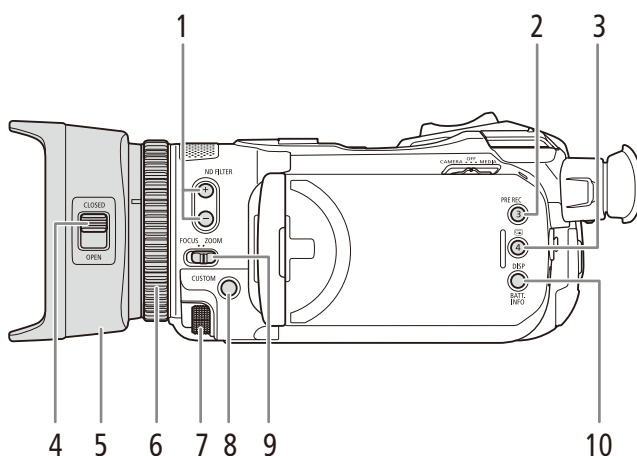
録画・録音したビデオは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

液晶モニターやビューファインダーの画面について
画面は、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯したりすることがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は記録されません。

各部の名称

各部の機能と使いかたについては、▶▶に記載されているページをご覧ください。

■ 本体の名称



1 **ND FILTER**(NDフィルター)切り換え+/- ボタン
▶▶ 78

2 **PRE REC**(プレREC)/アサイン3ボタン ▶▶ 95、102

3 **レックレビュー**/アサイン4ボタン ▶▶ 46、102

4 **レンズバリア開閉スイッチ** ▶▶ 42

5 **レンズフード** ▶▶ 22

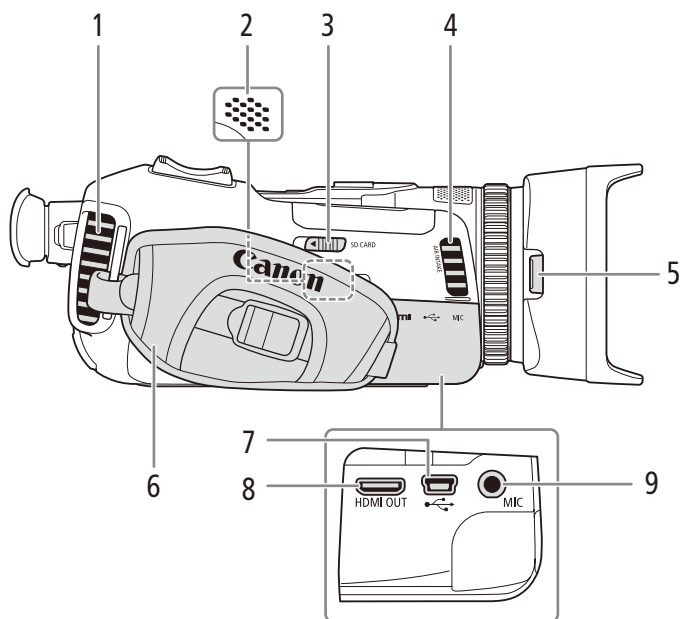
6 **フォーカス/ズームリング** ▶▶ 53、63

7 **CUSTOM**(カスタム)ダイヤル ▶▶ 100

8 **CUSTOM**(カスタム)ボタン ▶▶ 100

9 **フォーカス/ズームリング切り換えスイッチ**
▶▶ 53、63

10 **DISP**(ディスプレイ) / **BATT. INFO**(バッテリー情報)ボタン ▶▶ 49、21



1 **EXHAUST VENT**(排気口) ▶▶ 46

2 内蔵スピーカー ▶▶ 111

3 **SD CARD**(カードカバー開く)レバー ▶▶ 34

4 **AIR INTAKE**(吸気口) ▶▶ 46

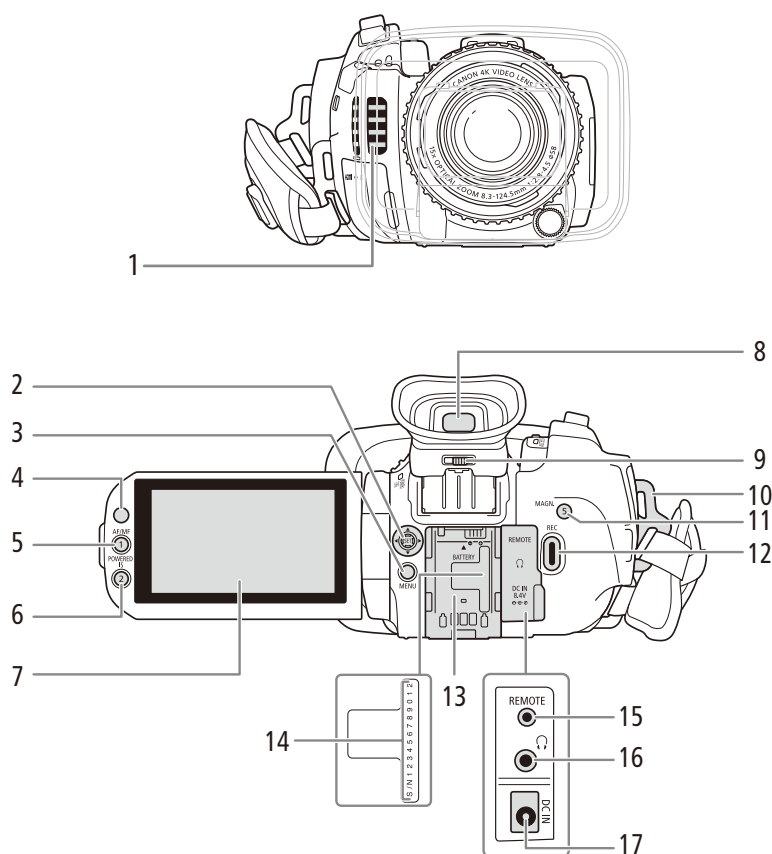
5 レンズフード取り外しボタン ▶▶ 22

6 グリップベルト ▶▶ 25

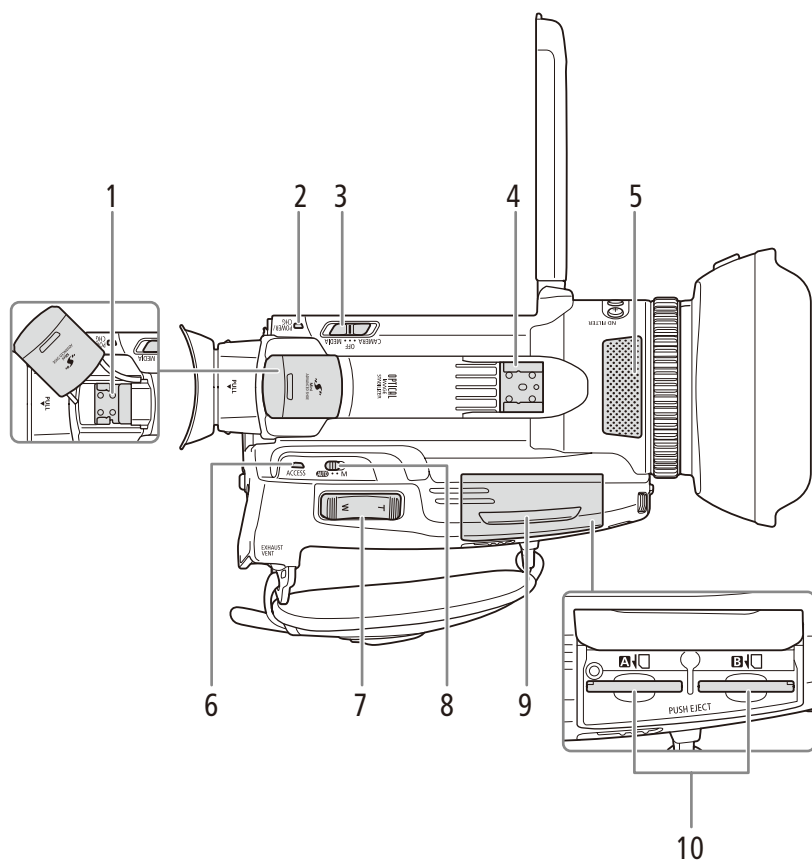
7 **USB**端子 ▶▶ 97

8 **HDMI OUT**端子 ▶▶ 123

9 **MIC**(マイク)端子 ▶▶ 85



- | | |
|---|--|
| 1 AIR INTAKE(吸気口) ▶▶ 46 | 10 ストラップ取り付け部 ▶▶ 25、26 |
| 2 ジョイスティック ▶▶ 31 | 11 MAGN.(拡大) /アサイン5ボタン ▶▶ 55、102 |
| 3 MENU(メニュー)ボタン ▶▶ 31 | 12 REC(記録開始/停止)ボタン ▶▶ 43 |
| 4 リモコン受光部 ▶▶ 27 | 13 バッテリー装着部 ▶▶ 18 |
| 5 AF/MF切り換え/アサイン1ボタン ▶▶ 53、102 | 14 シリアル番号(機番) |
| 6 POWERED IS(パワードIS) /アサイン2ボタン
▶▶ 69、102 | 15 REMOTE(リモート)端子 ▶▶ 96
● 別売/市販のリモコンを接続する |
| 7 液晶モニター(タッチパネル) ▶▶ 24 | 16 ♪(ヘッドホン)端子 ▶▶ 93 |
| 8 ビューファインダー ▶▶ 23 | 17 DC IN端子 ▶▶ 18 |
| 9 視度調整レバー ▶▶ 23 | |



1 **Mini ADVANCED SHOE**(ミニアドバンストシュー)
▶ 84

2 電源ランプ / **CHG**(充電)ランプ ▶ 18

3 **POWER**(電源)スイッチ ▶ 32

4 コールドシュー

5 内蔵マイク ▶ 85

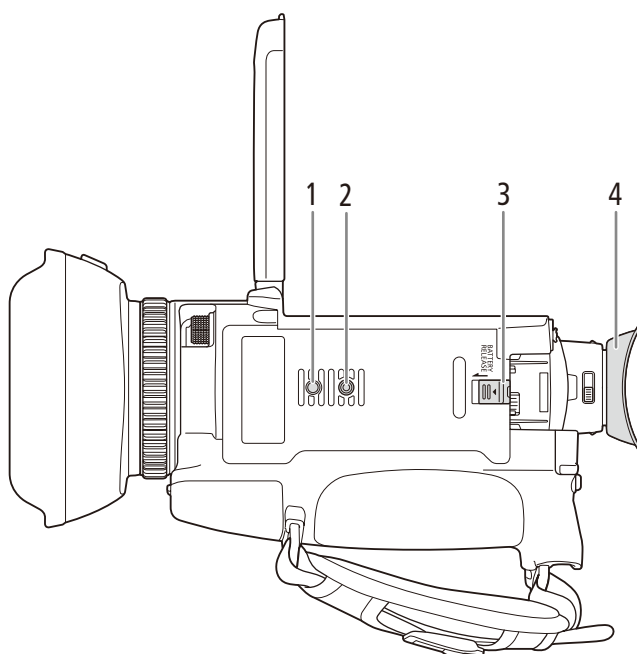
6 **ACCESS**(アクセス)ランプ ▶ 34

7 グリップズーム ▶ 64

8 カメラモード切り換えスイッチ ▶ 30、43

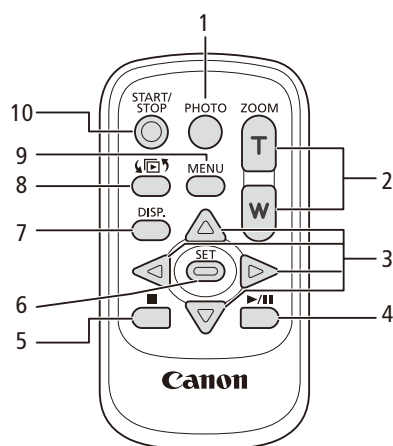
9 カードスロットカバー ▶ 34

10 カードスロット **A** / **B** ▶ 34



- 1 三脚回転止め穴
- 2 三脚ねじ穴 ▶▶ 28
- 3 **BATTERY RELEASE**(バッテリー取り外し)スイッチ ▶▶ 20
- 4 アイカップ ▶▶ 23

■ リモコン WL-D89の名称



- 1 **PHOTO**(フォト)ボタン ▶▶ 44
- 2 **ZOOM**(ズーム)ボタン ▶▶ 63
- 3 ▲/▼/◀/▶ ボタン
- 4 ▶/|| (再生/一時停止)ボタン ▶▶ 111
- 5 ■ (停止)ボタン ▶▶ 108
- 6 **SET**(設定)ボタン
- 7 **DISP.**(ディスプレイ)ボタン ▶▶ 49
- 8 ◀🔍 (インデックス選択)ボタン ▶▶ 106
- 9 **MENU**(メニュー)ボタン ▶▶ 31
- 10 **START/STOP**(スタート/ストップ)ボタン ▶▶ 43
 - **REC**(記録開始/停止)ボタンと同じ

準備

電源を準備する	18
カメラを準備する	22
カメラを操作する	29
日付／時刻を合わせる	32
カードを準備する	33
FUNCメニュー／メニューの 設定を変える	36
記録先を選ぶ	39

電源を準備する

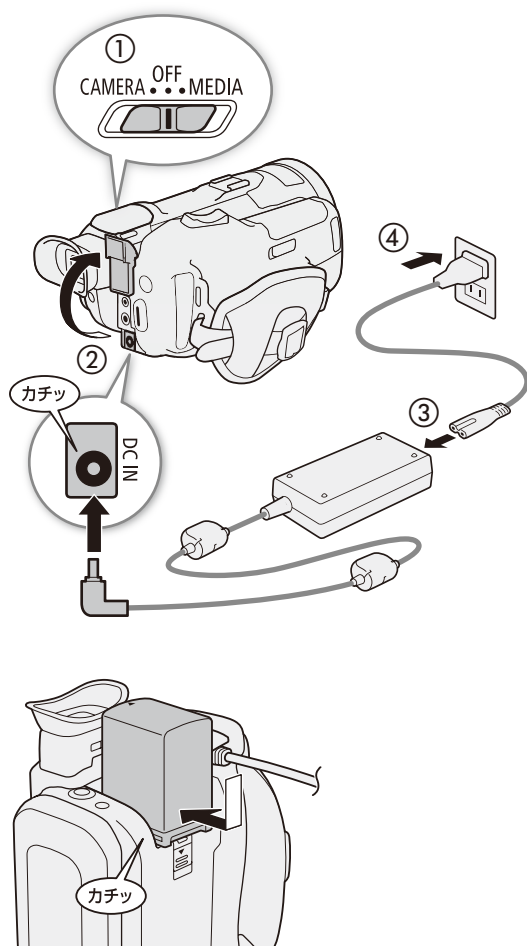
電源は、バッテリーまたはコンセントから使用します。バッテリーを取り付けた状態で、コンセントに接続するとコンセントからの電源で動作します。バッテリーは充電してから使います。

■ バッテリーを使う

本機は、バッテリーパック BP-828(付属)、またはBP-820(別売)を使用できます。インテリジェントシステムに対応しているため、分単位(目安)の残量を確認することができます。残量をより正しく表示するために、ご購入直後にバッテリーを初めて使うときは、一度充電完了まで充電してから使い切ってください。

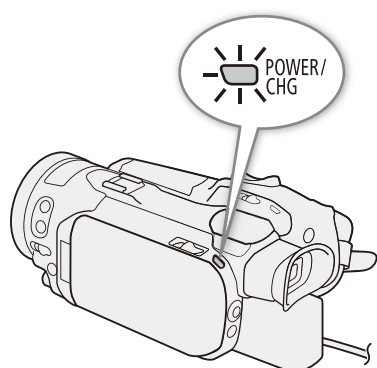
充電する

付属のACアダプター CA-946を使って充電します。



- 1 POWER(電源)スイッチをOFFにする (①)
- 2 DC IN端子にDCプラグを差し込む (②)
- 3 ACアダプターに電源コードを差し込み (③)、電源プラグをコンセントに差し込む (④)

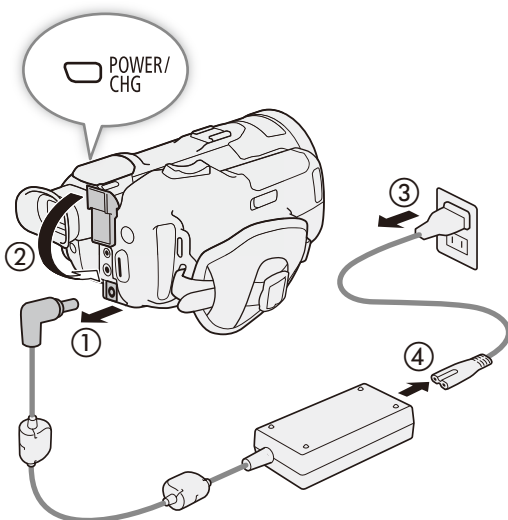
4 バッテリーを取り付ける



5 充電開始

赤く点灯

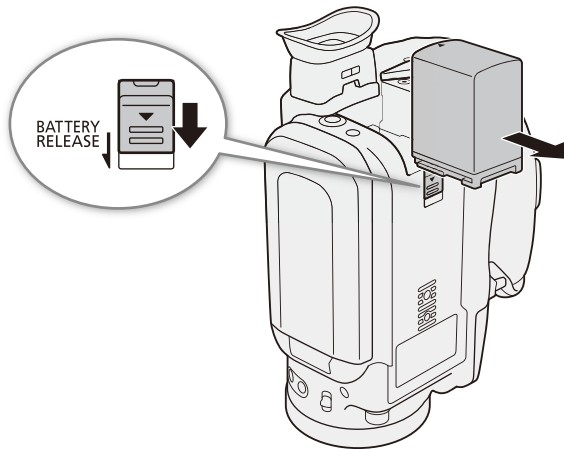
点滅しているときは、「トラブルシューティング」の「表示やランプ」(P. 165)をご覧ください。



6 点灯 ▶ 消灯で充電完了

バッテリーを取り外すとき

バッテリー取り外しスイッチを矢印の方向に押して取り外す。

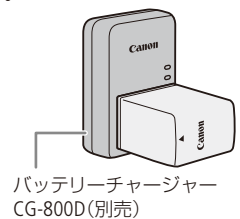


ご注意

- ACアダプターに指定された製品以外を接続しないでください。
- 電源プラグを抜き差しするときは、まず電源を切って、電源ランプが消えていることを確認してください。撮影したデータが破損する恐れがあります。
- 故障の原因となりますので、ACアダプターを固定して使用しないでください。

MEMO

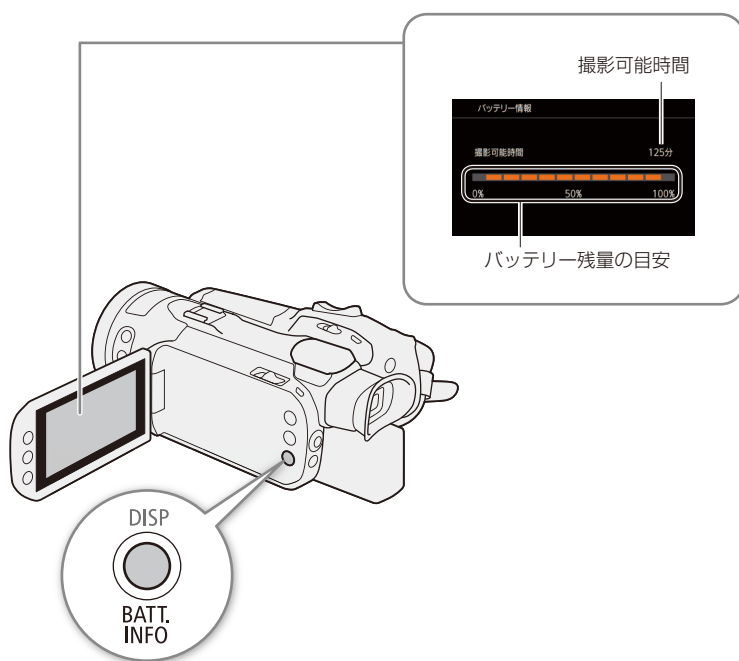
- 10℃～30℃の場所で充電することをおすすめします。バッテリーや周囲の温度が約0℃～40℃（使用温度）の範囲外の場合は、充電できません。
- 充電するときは電源を切ってください。電源が入っているときは充電できません。
- 充電中にコンセントまたはDC IN端子からプラグを抜いたときは、再び接続する前にCHG（充電）ランプの消灯を確認してください。
- バッテリー残量が気になるときは、電源プラグをコンセントにつないだままお使いください。
- バッテリーの充電時間は187ページ、フルに充電したときの使用時間の目安は187ページを、それぞれをご覧ください。
- フル充電したバッテリーも少しずつ放電します。使用直前に充電することをおすすめします。
- バッテリーの取り扱いについては、179ページをご覧ください。



バッテリーチャージャー
CG-800D(別売)

■ バッテリーの残量を確認する

電源OFFのときにBATT.INFOボタンを押すと、バッテリーの残量と撮影可能時間が5秒間表示されます。ただしバッテリーが消耗していると表示されないことがあります。



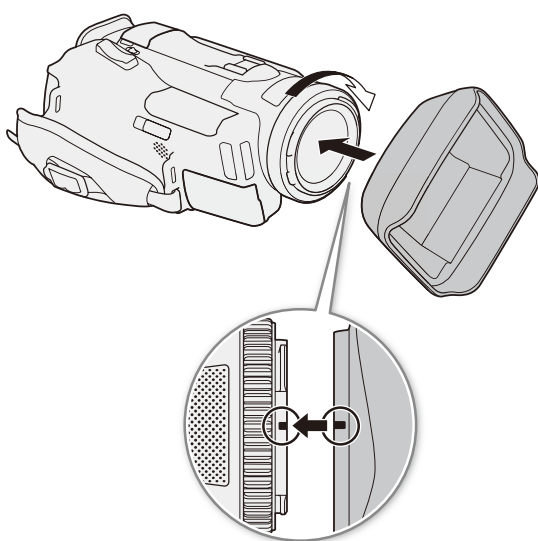
カメラを準備する

ここでは、レンズフードの取り付け、ビューファインダーや液晶モニターの調整、グリップベルトやストラップの調整など、はじめに行うカメラの準備について説明します。取り付ける際は、落下したりしないように、机などの安定した所で取り付けてください。

■ レンズフードとレンズキャップについて

撮影時はレンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどの低減に効果的です。また、レンズフードのバリアを閉じることで、レンズに指紋などの汚れがつきにくくなります。

ビデオカメラの持ち運びや保管時は、レンズフードを取り外してレンズキャップをご使用ください。



1 レンズキャップを取り外す

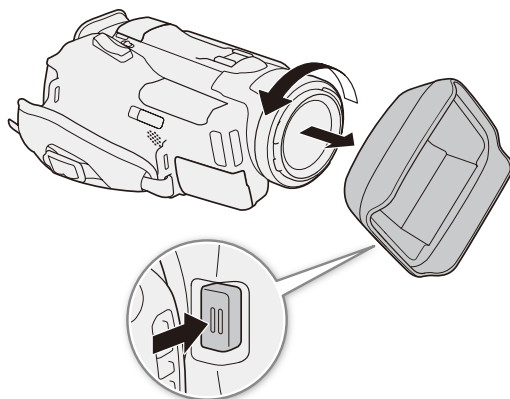
- レンズキャップとレンズフードは、同時に使用できません。

2 レンズ先端部にレンズフードをはめ込み目印が真上に来るように取り付け(①)、時計方向にカチッと音がして止まるまで回す(②)

- レンズフードの先端を軽く持って取り付けてください。強く握ると変形して、取り付け/取り外しにくくなります。

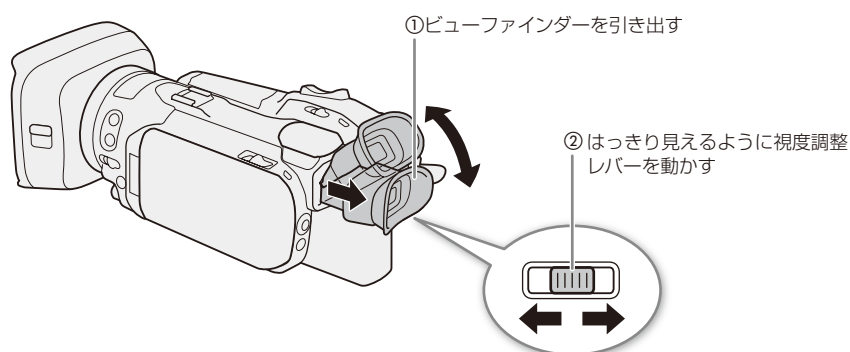
取り外すとき

- ① レンズフード取り外しボタンを押しながら、レンズフードを矢印の方向に回して取り外す。
- ② レンズキャップを取り付ける。



■ ビューファインダーを使う

ビューファインダーを見やすい角度に調整し、映像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度を調整します。



- 1 ビューファインダーを引き出して、見やすい角度に調整する (①)
- 2 本機の電源を入れる (□ 29)
- 3 視度調整レバーを左右に動かして調整する (②)

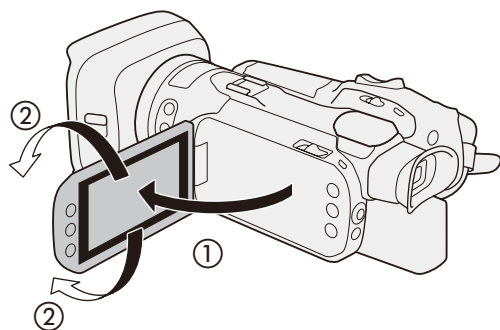
MEMO

必ずアイカップを装着した状態でご使用ください。



眼鏡装着時、アイカップのベロ部が邪魔になる場合は➡部を押して、折り返してご使用ください。

■ 液晶モニターを使う



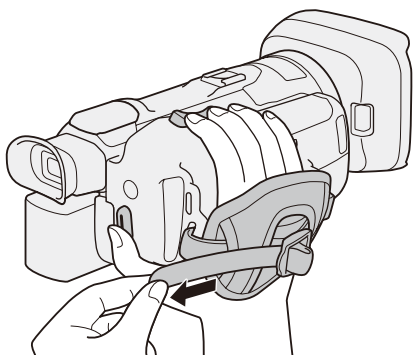
- 1 液晶モニターを手前に引き出し (①)、見やすい角度に調整する (②)

MEMO

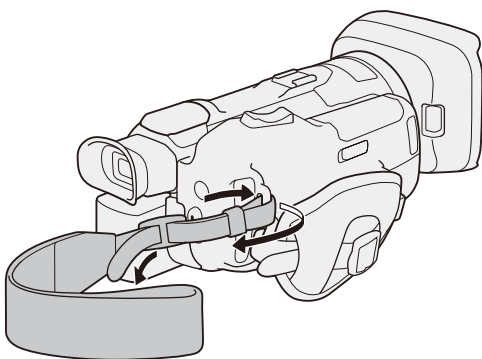
- 画面の明るさは、メニューの 表示設定メニュー ▶ 「液晶明るさ調整」や「液晶バックライト」(160) で調整できます。また、電源ONのときにDISP/BATT. INFOボタン (11) を2秒以上押すと「液晶バックライト」の「高輝度」と「通常」を切り換えることができます。
- 画面の明るさを調整しても、記録される映像の明るさには影響しません。
- 「液晶バックライト」で画面を明るくすると、バッテリーの使用時間が短くなります。
- 液晶モニターの画面を相手に見せながら撮影するときなどは、 表示設定メニュー ▶ 「液晶対面ミラー」を「入」にすると、画面を左右に反転して表示させることができます。
- 液晶モニター／ビューファインダーの取り扱いについては177ページを、お手入れについては181ページをご覧ください。
-

■ グリップベルトを調節する

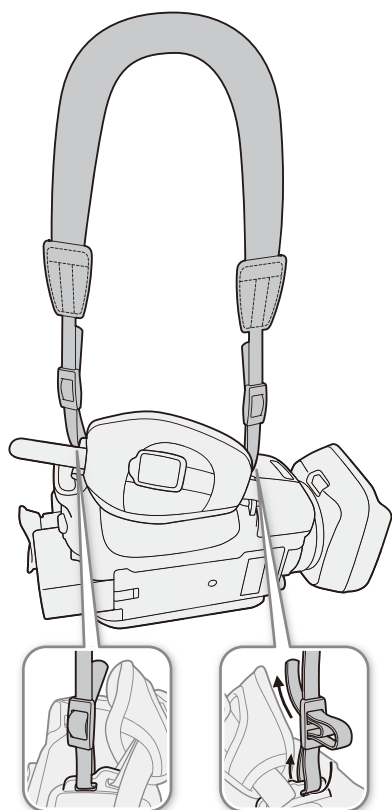
親指がスタート/ストップボタンに、人さし指がグリップズームに、ちょうど合うようにベルトの長さを調節します。



■ リストストラップWS-20(別売)を取り付ける

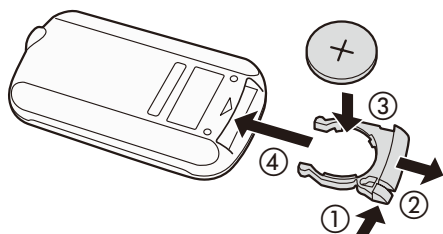


■ ショルダーストラップSS-600 / SS-650(別売)を
取り付ける



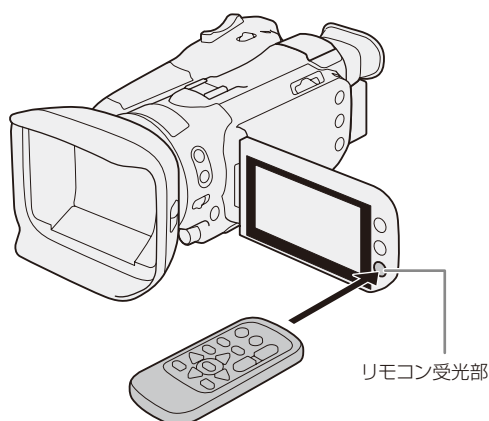
■ リモコンを使う

電池を入れる



- 1 ツマミを押して (①) 引き抜く (②)
- 2 +側を上にして付属の電池を入れる (③)
- 3 リモコンに取り付ける (④)

リモコンを使って操作する



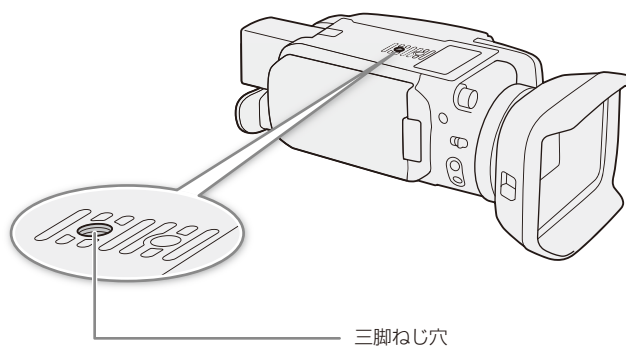
リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す。

MEMO

- リモコンのボタンを押しても動作しない、本体に近づかないと動作しないなどのときは、電池を交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や照明などの強い光が当たっていると、正常に動作しないことがあります。

■ 本体を三脚に取り付ける

取り付けネジの長さが6mm以下の三脚を取り付けることができます。

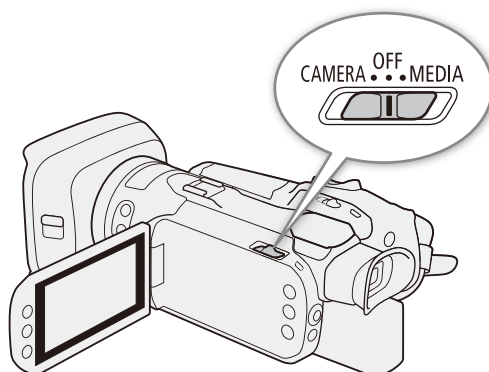


カメラを操作する

ここでは基本的なカメラの操作について説明します。

■ 電源を入れる／切る

本機には、撮影用のカメラモードと再生用のメディアモードとがあり、電源を入れるときに選択します。POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にして電源を入れるとカメラモードに、「MEDIA」にして電源を入れるとメディアモードになります。



カメラモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをCAMERAにする



メディアモードで起動するとき

POWER(電源)スイッチをMEDIAにする



電源を切るとき

POWER(電源)スイッチをOFFにする



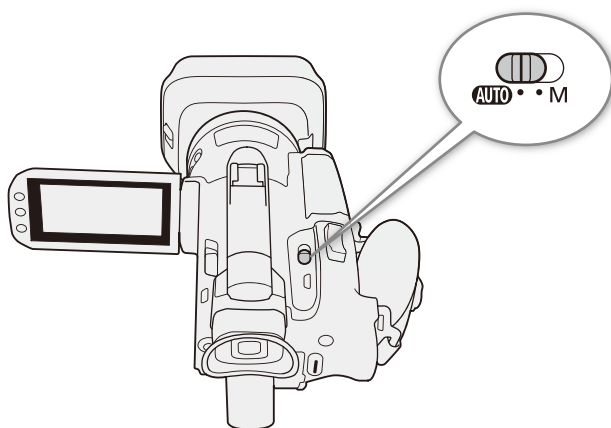
MEMO

電源を入れると電源ランプが点灯します。

🔧 システム設定メニュー ➤ 「POWER LED」を「切」にすると、電源ランプを点灯しないようにすることができます (📖 161)。

■ カメラモードを切り換える

カメラモード切り換えスイッチで撮影時のモードを切り換えます。



AUTO (オート)モード

ビデオカメラまかせで、撮りたい状況に合わせた動画を撮影できます (43)。

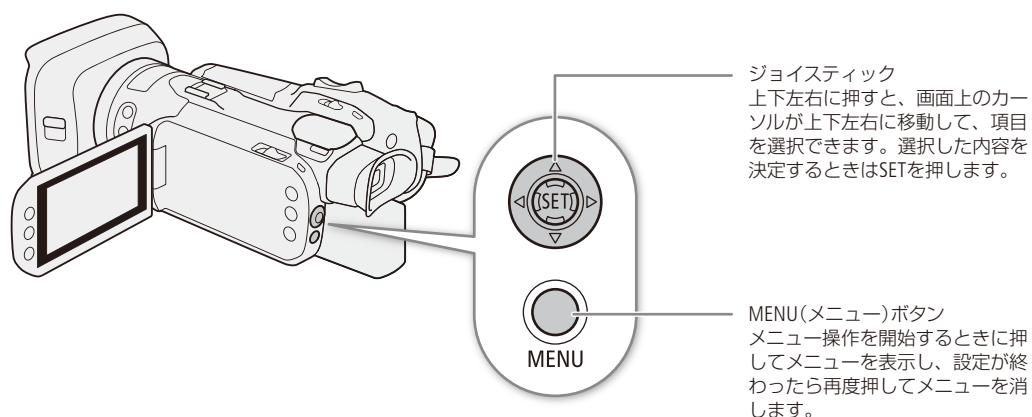


M (マニュアル)モード

ピント (フォーカス)や露出など、調整したい機能を自分で設定して撮影できます (44)。

■ MENU(メニュー)ボタン／ジョイスティックで操作する

タッチパネルを使わず、MENU(メニュー)ボタンとジョイスティックを使って、本機を操作できます。



日付／時刻を合わせる

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

はじめてお使いになるときは、日付、時刻を設定する画面が表示されます。時刻は、お住まいの地域と旅先の地域の2か所を設定できます。海外旅行先の日時を指定しておくと、現地時間で記録できます (160)。

1 電源を入れる (29)

- はじめて電源をいれると「日付/時刻」設定画面がでる。

2 日時を設定する

タッチパネルで操作するとき

- ① 項目 (年月日時分) をタッチし、▲/▼をタッチして設定する。
 - この操作を繰り返して日時を設定する。
- ② 必要に応じて、日時スタイルを設定する。
 - 使用するスタイルをタッチして選ぶ。
- ③ 「OK」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを上下に押して「年」の数字を選ぶ。
 - ジョイスティックを右に押すと、カーソルが「月」に移動する。
- ② ①の操作を繰り返して日付/時刻の設定をする。
 - ジョイスティックを上下左右に押して「OK」を選びSETを押す。



MEMO

地域とサマータイム、日時設定を変更するには

- システム設定メニュー ▶ 「エリア／サマータイム」または「日付／時刻」 (160)。
- 本機を約3か月使わないと、内蔵の充電式電池が放電して、日時の設定が解除されることがあります。その場合は、充電してから設定し直してください (180)。

カードを準備する

本機では、動画や静止画をSDカード*1 に記録します（下表）。SDカードスロットは2つあり、2つのSDカード*2 に同時に記録したり、自動的に切り換えて記録したりできます。

SDカードを使用するときは、はじめに本機で完全初期化してください（ 35）。

*1 SDカードは、設定データの保存にも使用します。

*2 以降、カードスロット **A** に入れるSDカードを「カードA」、カードスロット **B** に入れるSDカードを「カードB」と記載します。

使用可能なSDカード

本機で使用可能な記録メディアです。動作確認済みのカードなどの詳細情報は、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

メモリーカードのタイプ	 SDメモリーカード、  SDHCメモリーカード、  SDXCメモリーカード
SDスピードクラス*1	CLASS  、CLASS 
UHSスピードクラス*1 *2	 、 
メーカー *3	Panasonic、TOSHIBA、SanDisk

*1 SDカードのデータ記録時の最低速度を保証する規格です。

*2  記録設定メニュー ▶ 「解像度」で「3840x2160 (150 Mbps)」( 50)を設定しているときや「Slow & Fastモーション記録」のときは、UHSスピードクラス3のSDカードをおすすめします。

*3 これらのメーカー製のSDカードについて、動画記録時の動作を確認しています（2017年6月現在）。

ご注意

SDXCメモリーカードをお使いになるときは

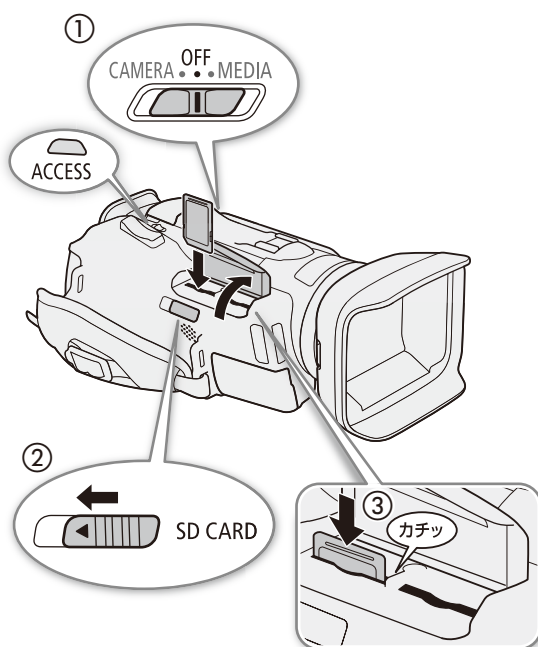
SDXCメモリーカードに対応した機器でのみ使用できます。SDXCに対応する、レコーダー、パソコンまたはカードリーダー／ライターなどをご使用ください。対応状況については、パソコン、OSまたはカードのメーカーにお問い合わせください。

- SDXCメモリーカードに対応していないOSで使用すると、カードの初期化を促すメッセージが表示されることがあります。初期化するとデータが失われますので、キャンセルしてください。
- 撮影や編集を繰り返しているカードの場合、データの書き込み速度が低下し、記録が停止することがあります。あらかじめカードの動画や静止画をバックアップしてから、本機でカードを完全初期化してください。特に、重要なシーンを記録する前には、本機でカードを初期化してください。

MEMO

- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ カードを入れる／出す



1 電源をOFFにする (①)

2 カードカバーを開ける (②)

- SD CARD (カードカバー開く) レバーを押しながらスライドする。

3 カードのラベル面をAIR INTAKE(吸気口)側にして、カチッと音がするまで奥までしっかり入れる (③)

- カードスロット **A** と **B** の両方または、いずれかのみに入れることもできる。

カードを出すとき

- ① ACCESSランプが消灯していることを確認する。
- ② カードの端を押して、カードが出てきたら抜く。

4 カードカバーを閉じる

- カードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉めない。

ご注意

- アクセスランプが赤色に点灯中は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カードカバーを開けない。
 - カメラモード切り換えスイッチを操作しない。
- カードの出し入れは、本体の電源を切ってから行ってください。電源を切らずにカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- カードには表裏の区別があります。カードを裏返しに入れると、本機に不具合が発生することがあります。操作3のような正しい向きで入れてください。

MEMO

誤ってデータを消さないために



誤消去防止ツマミ

カードの誤消去防止ツマミを「LOCK」側にすると、データを保護できます。

カードアクセスランプの光りかた

点灯／点滅	カードにアクセス中
消灯	・カードにアクセスしていない ・カードが入っていない

- システム設定メニュー ▶ 「ACCESS LED」を「切」にすると、Accessランプを点灯しないようにすることができます（[161](#)）。

カードを初期化する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

カードをはじめて使用するときや、カードに記録した動画/静止画などすべての情報を消すときに初期化します。初期化には「初期化」と「完全初期化」があり、データを完全に抹消する必要があるときは「完全初期化」を選びます。

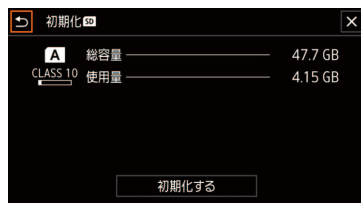
1 コンパクトパワーアダプター（ACアダプター）をつなぐ

- 初期化中は取り外さない。

2 初期化するカードを選ぶ

- ① [2](#) 記録設定メニュー ▶ 「初期化 **SD**」をタッチする。
- ② 「**A** カードA」または「**B** カードB」をタッチする。

画面例：カードAの場合



3 初期化を選ぶ

- ① 「初期化する」をタッチする。

データを完全に消去するとき

「完全初期化」をタッチする。

- ② 「はい」をタッチする。

完全初期化を中止するとき

「中止」をタッチする。カードはそのまま使用できるが、データはすべて消える。

- ③ 「OK」 ▶ **X** をタッチする。

ご注意

- 初期化すると、すべての情報が消え、元に戻せません。残しておきたいデータがあるときは、バックアップしてから初期化してください。
- 「完全初期化」は、カードによっては数分かかることがあります。

FUNCメニュー／メニューの設定を変える

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

本機のさまざまな機能をご購入時の状態からメニューで変更できます。ここではタッチパネルやジョイスティックを使って行うメニュー設定の基本操作について説明しますので、本書の各項目で説明されているメニュー設定を操作するときの参考にしてください。次ページ以降、本書では主にタッチパネルでの操作を説明しています。FUNCメニューやメニューの種類については「FUNCメニュー一覧」(154)や「メニュー一覧」(156)をご覧ください。

FUNCメニューの設定を変える

FUNCメニューは、画面の左に配置されています。

例 「ルック」(80)の設定を「Wide DR」にする

FUNC

1 FUNCメニューを表示させる。

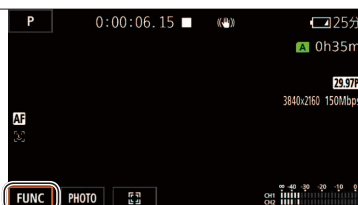
タッチパネルで操作するとき

FUNC をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して **FUNC** を選んでSETを押す。



✱1

2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

✱1 (ルック) をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、✱1 (ルック) を選んでSETを押す。



✱2

3 「Wide DR」を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

✱2 「Wide DR」をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを右に押して、✱2 「Wide DR」を選んでSETを押す。



✕

4 FUNCメニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

✕ をタッチする。



ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、✕ を選んでSETを押す。

MEMO

機能によっては、項目や設定内容を選ぶと、メーターが表示されます。タッチパネルで操作するときは、左右にドラッグして値を調整します。ジョイスティックで操作するときは、ジョイスティックを押すと、メーターにオレンジ色の線が表示されるので、ジョイスティックを左右に押して値を調整します。

■ メニューの設定を変える

本機のさまざまな機能の設定を、メニューで変更できます。

例 「おしらせ音」を「切」に設定する



1 メニューを表示させる

MENUボタン (□ 31)を押す。

- メニュー操作モードになり、画面にメニューが表示される。



2 項目を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

♪2* オーディオ設定メニュー ▶ 「おしらせ音」をタッチする

例:本文中の♪2 は、♪(オーディオ設定)タブの「2」(2番目)を選んでいきます。



ジョイスティックで操作するとき

- ① ジョイスティックを左右に押して♪を選ぶ。
- ② ジョイスティックを上下に押して「2」*のタブ ▶ 「お知らせ音」を選んでSETを押す。

* メディアモードのときは「1」



3 設定内容を選ぶ

タッチパネルで操作するとき

「OFF (切)」をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下に押して、「OFF (切)」を選んでSETを押す。



×

4 メニューを終了する

タッチパネルで操作するとき

×をタッチする。

ジョイスティックで操作するとき

ジョイスティックを上下左右に押して、×を選んでSETを押す。



MEMO

- リモコンのMENUボタンを押してもメニューを表示できます。
- ×をタッチしたり、MENUボタンを押したりすると、メニューはいつでも終了します。
- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

記録先を選ぶ

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

動画や静止画の記録先を選びます。



動画または静止画の記録先を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「記録先」をタッチする。
- ② 「 動画記録先」と「 静止画記録先」をそれぞれ「 カードA」または「 カードB」を選んでタッチする。
- ③ をタッチする。
 - 「動画記録先」で選択した記録先のアイコンが画面に表示される。

.....

撮 影

動画や静止画を撮影する	42	色合いを調整する	79
画面の見かた	47	好みの画質にする（ルック）	80
映像の信号形式を選ぶ	50	タイムコードを設定する	81
記録方法を選ぶ	51	ユーザービットを設定する	83
スロー & ファスト モーション記録を行う	52	ミニアドバンストシューを使う	84
ピントを合わせる	53	音声を記録する	85
拡大して撮る	63	ヘッドホンを使う	93
手ブレをおさえて撮る	69	カラーバー／テストトーンを 記録する	94
ゲインリミットを設定する	70	プレ記録を行う	95
撮影モードを切り換える	71	RC-V100(別売)で リモート撮影する	96
明るさを調整する	75	GPSレシーバー GP-E2を使う	97
NDフィルターを切り換える	78		

動画や静止画を撮影する

CAMERA

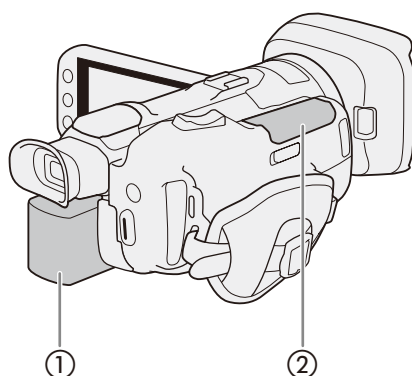
MEDIA

カメラモード

AUTO M

ここでは基本的な撮影について説明します。音声の記録については、85ページをご覧ください。

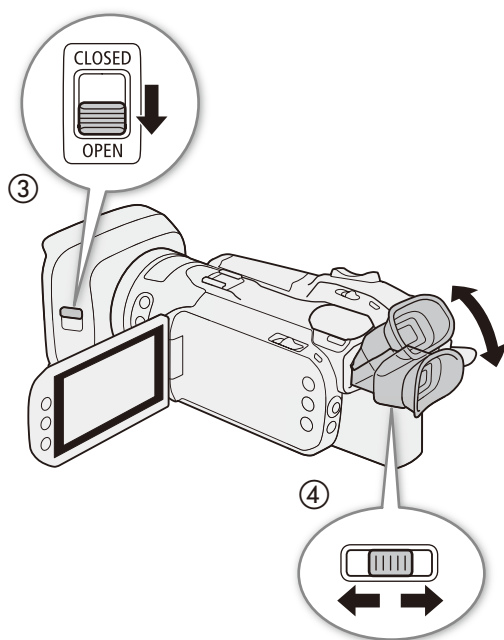
■ 準備する



1 充電したバッテリーパックを取り付ける (①)

2 SDカードを入れる (②)

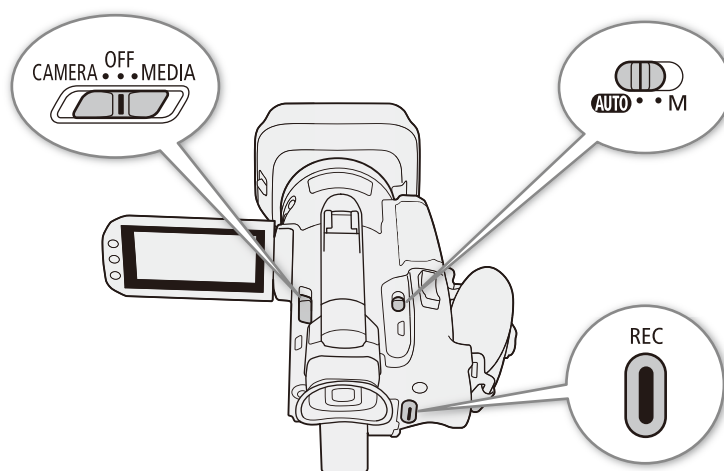
- 「同時記録」「リレー記録」(P.51)を行うときは、カードを2枚入れる。



3 レンズバリア開閉スイッチを下げ、レンズバリアを開ける (③)

4 ビューファインダーを使用するときは、ビューファインダーを引き出して、視度や角度を調整する (④) (P.23)

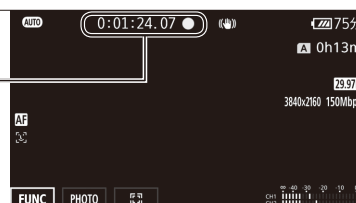
■ 撮影する



AUTO (オートモード)

このモードでは、ビデオカメラにすべておまかせで気軽に撮影できます。

	1 AUTO にする ● カメラモード切り換えスイッチを「AUTO」側にする (30)。
	2 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする ● 電源ランプが緑色に点灯。
	3 REC(記録開始/停止)ボタンを押す ● 撮影が始まり、画面に●が表示される。 ● リモコンの場合、リモコンのSTART/STOPボタンを押す (16)。





4 撮影を停止するとき もう一度REC(記録開始／停止)ボタンを押す

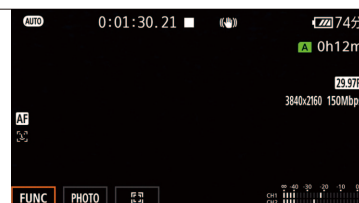
- 1クリップ*の動画が記録され、撮影が停止する。

* 本書では、一回の撮影操作で記録された動画を「クリップ」と呼びます。

静止画を撮るとき

タッチアサインボタン (102) をタッチする。

- 初期設定では「**PHOTO** Photo」が割り当てられています。
- 画面下部に緑色の  と、画面右上に、 と記録先のアイコンが表示される。記録先は、 1 記録設定メニュー ▶ 「記録先」の「静止画記録先」で選んだカードとなる。
- リモコンの場合、リモコンのPHOTOボタンを押す (16) 。



5 レンズバリアを閉じて、電源をOFFにする

- ① レンズバリア開閉スイッチを上げて、レンズバリアを閉じる。
- ② ACCESSランプが消えていることを確認する。
- ③ POWER(電源)スイッチを「OFF」にする。
- ④ 液晶モニターを垂直にしてから閉じる。ビューファインダーを引き出しているときは元の位置に戻す。

M(マニュアル)モード

このモードではピント(フォーカス)や露出など、自分で設定して撮影できます。



1 Mにする

- カメラモード切り換えスイッチを「**M**」側にする。



2 POWER(電源)スイッチを「CAMERA」にする

- 電源ランプが緑色に点灯。

3 動画／静止画を撮影する

- 操作のしかたは **AUTO** (オート)モードと同じ (43) 。

ご注意

- ACCESSランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモード切り換えスイッチを操作しない。
- 万一のデータ破損に備えて、撮影したデータは必ずバックアップしてください。データ破損の場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

MEMO

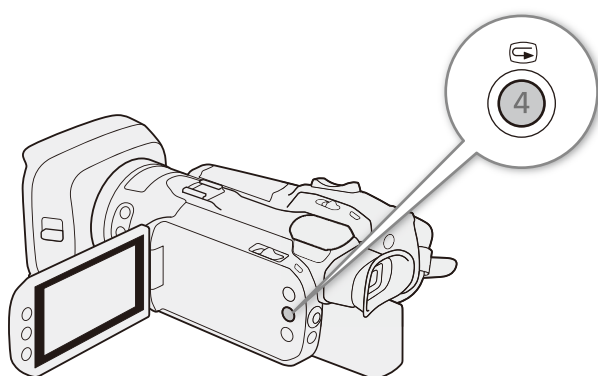
- 撮影中にリレー記録 (□ 51) が発生すると、撮影された映像はそれぞれ別々のクリップとして記録されます。撮影された映像は、ソフトウェアData Import Utilityで結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込むことができます (□ 128)。
- SDHCメモリーカードに記録するとき、クリップ内の映像ファイル (ストリーム) は約4 GB毎に分割されます。本機では連続して再生されます。
- 1つのクリップには、6時間まで記録できます。それを超えると、自動的に別のクリップを生成して記録します。
- 画面に光が当たって映像がよく見えないときは、ビューファインダーを使うか画面の明るさを調節してください (□ 23、160)。
- ⚙️ システム設定メニューの「オートパワーオフ」を「入」にすると、バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れます。

画面を閉じて撮影する

- 三脚に取り付けて長時間撮影する場合は、画面を閉じてビューファインダーで撮影するとバッテリーの持ちが良くなります (□ 23、187)。

■ いま撮ったクリップを確認する（レックレビュー）

直前に撮ったクリップを再生して、録画状態をチェックすることができます。このとき、内蔵スピーカーから音声は再生されません。初期設定ではアサインボタン4( 11)に割り当てられていますので、アサインボタン4を押して操作します。



撮影が終了したあと、（レックレビュー）ボタンを押す。

- 直前に撮ったクリップの最後の4秒間が再生される。

■ 冷却ファンの動作方法を選ぶ

本機内部の熱を排出する冷却ファンの動作方法を選びます。初期設定では、「**ON** 入」に設定されています。

A オート：冷却ファンは、撮影停止中に回転し、撮影中（画面に●RECが表示中）は自動的に停止する。ただし、撮影中でも、本機の内部温度が上昇すると、冷却ファンが自動的に回転する（画面に**FAN**が出る）。内部温度が十分下がると、再び冷却ファンは停止する。この設定は、冷却ファンの動作音を記録したくないときに使用する。

ON 入：冷却ファンは常に回転する。通常はこの設定を使用する。



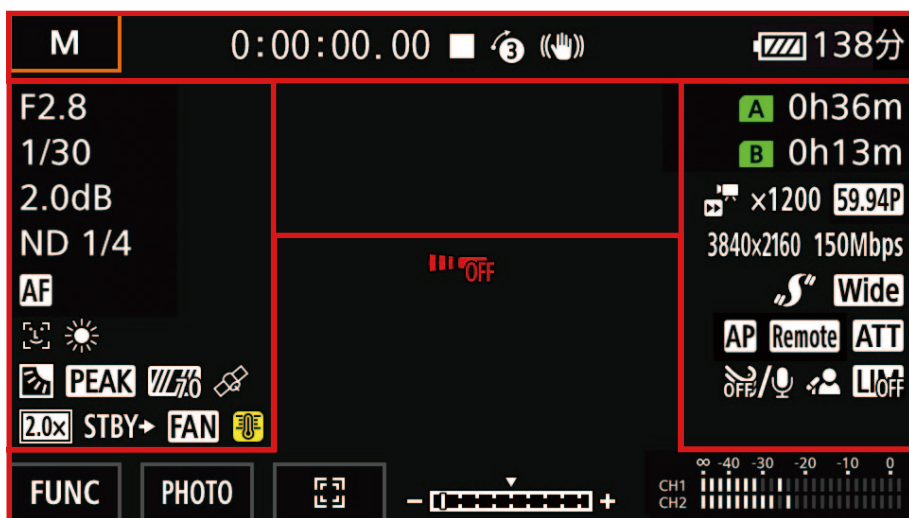
- ①  1 システム設定メニュー ▶ 「ファン」をタッチする。
- ② 「**A** オート」または「**ON** 入」をタッチする。
- ③ **X** をタッチする。

ご注意

- 冷却ファンが回転しているとき、EXHAUST VENT（排気口）から暖かい空気が排出されます。
- 冷却ファンの吸排気口をテープなどで塞がないでください。

画面の見かた

カメラモード時の画面表示について説明します。FUNCメニュー（[154](#)）やメニュー（[156](#)）、撮影モード（[71](#)）の設定状態によって表示が異なります。



画面上部

アイコン／表示	説明
AUTO 、 P 、 Av 、 Tv 、 M 、、、、、、、	撮影モード（ 71 ）
0:00:00.00、0:00:00:00	タイムコード（ 81 ）
●、■	撮影状態 ●撮影中、■撮影停止中
	プレREC（ 95 ）
	手ブレ補正（ 69 ）
	バッテリー残量と撮影／再生可能時間（分単位）の目安。 （赤色）は残量なし。充電したバッテリーと交換する。本機／バッテリーの状態により、実残量と表示が異なることがある。
A 、 B	静止画記録 カードエラーのときは、（赤色）が出る。

画面左

アイコン／表示	説明
F0.0	絞り（ 71 ）
1/0000	シャッタースピード（ 71 ）
AE ±0/0	AE時の露出補正（ 76 ）
±0/0 ✖	AEロック（ 75 ）
0.0dB	ゲイン（ 71 ）
	AGCリミット（ 71 ）
ND 1/0000	NDフィルター（ 78 ）
MF 000m	フォーカス（ 53 ）
	フェイスキャッチ&追尾（ 60 ）
	フェイスオンリー AF（ 62 ）
、、 K 、	ホワイトバランス（ 79 ）
、	ルック（ 80 ）
	強制逆光補正（ 77 ）
、	ピーキング（ 55 ）
、	ゼブラ（ 77 ）
	GPS信号の受信状態*（ 97 ） 衛星未捕捉時は点滅し、衛星を捕捉すると点灯する。 * GPSレシーバー GP-E2接続時のみ。

アイコン／表示	説明
	デジタルテレコン (□ 68)
REC➡、STBY➡	記録コマンド (□ 123)
	冷却ファン (□ 46)
	冷却ファン警告 (□ 171)
	高温警告 (□ 46、165) 内部温度が上昇すると (黄色)が、本機を使い続けてさらに上昇すると (赤色)が表示される。

画面中央

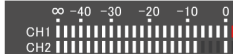
アイコン／表示	説明
	リモコンセンサー 切 (□ 161)
 (黄色／白色)	AFブーストMF枠 (□ 58)
 (白色)	コンティニュアスAF (□ 59)
	顔検出枠 (□ 60)
	タッチ追尾枠 (□ 60)
	マーカー表示 (□ 160)

画面右

アイコン／表示	説明
 A 000h00m、 B 000h00m	動画の記録先、記録可能時間 (時、分) 緑色：記録可能／白色：認識中／黄色：記録可能時間5分以下／赤色：記録可能時間1分未満。 カードに空きがなくなると、「END」が出て、記録を停止する。
 A 000h00m、 B 000h00m	リレー記録、記録可能時間 (時、分)
	外部記録 (□ 123)
	ズームバー

アイコン／表示	説明
3840x2160、 1920x1080 、 、 10bit、8bit	外部記録信号形式 (□ 124)
x0.2、x0.25、 x0.4、x0.5、x0.8 x2、x4、x10、 x20、x60、x120、 x600、x1200	スロー&ファストモーション記録 (□ 52)
 、、 	フレームレート (□ 50)
3840x2160、 1920x1080、 1280x720	解像度 (□ 50)
150Mbps、 35Mbps、 17Mbps、8Mbps、 4Mbps	ビットレート (□ 50)
	ミニアドバンストシュー (□ 84)
、	コンバージョンレンズ (□ 157)
、	ネットワークの接続状態／機能 (□ 141) 白色：接続完了 黄色：接続／切断処理中 赤色：エラー状態
	マイクアッテネーター (□ 89)
	内蔵マイクウィンドカット (□ 89)
	オーディオシーン (□ 86)
	音声リミッター (□ 91)
	拡大表示 (□ 55)

画面下

アイコン／表示	説明
	FUNCメニュー (154)
	タッチアサインボタン (102)
	露出バー (73)
	追尾 (60) 追尾を解除するときは Off をタッチする。
	レベルメーター (88)

MEMO

- DISP (ディスプレイ) ボタンを押すと、画面表示を次のように切り換えることができます。
全表示 ▶ マーカーのみ表示*1 ▶ 全消去*2
*1 マーカー表示 (160) を有効にしているときのみ。
*2 撮影状態などを除くほとんどの画面表示が消去される。

映像の信号形式を選ぶ

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO** M

映像を記録するときの信号形式を切り換えることができます。信号形式は、解像度とビットレート、フレームレートの組み合わせからなります。

録画モード一覧

解像度	フレームレート		
	59.94P	29.97P	23.98P
3840x2160 (150 Mbps)	●	●	●
1920x1080 (35 Mbps)	●	●	●
1920x1080 (17 Mbps)	●	●	●
1280x720 (8 Mbps)*	●	—	—
1280x720 (4 Mbps)*	—	●	—

* 「フレームレート」は固定となり、変更することはできません。

解像度とフレームレートを設定する

本体での記録を行うときは、あらかじめメニューで「本体記録優先」を選択してから解像度やフレームレートを設定します。HDMI OUT端子に接続した外部レコーダーに記録するときは「外部のモニター／レコーダーを接続する」(123)をご覧ください。



1 本体記録優先を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「本体／外部記録」をタッチする。
- ② 「 本体記録優先」をタッチする。
- ③ をタッチする



2 解像度を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「解像度」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
- ③ をタッチする。



3 フレームレートを選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「フレームレート」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
- ③ をタッチする。

MEMO

- 録画時間は撮影する被写体によって変化します。被写体に合わせて自動で画質を調整するVBR (Variable BitRate) 方式を採用しているためです。

記録方法を選ぶ

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO** M

「同時記録」では、記録先に指定していないカードに、同時に映像を記録します。撮影中に撮影映像のバックアップを取ることができます。「リレー記録」では記録先に指定したカードがいっぱいになったら、自動でもう一方のカードに切り換えて撮影を継続できます。記録先に設定したカードのみ記録するときは「通常記録」を選びます。



1 同時記録またはリレー記録を選ぶ

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「同時記録/リレー記録」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
- ③ ✕ をタッチする。

撮
影

MEMO

- 同時記録中、記録容量の少ないカードの空き容量がなくなると、両カードへの記録を停止します。なお、一方のカードに書き込みエラーが発生しても、他方のカードへの記録は継続します。
- リレー記録で分割されたファイルはソフトウェアData Import Utilityを使用すると、結合して1つのファイルとしてパソコンに取り込めます。
- 「リレー記録」は、カードAからカードB、または、カードBからカードAの1回のみ記録可能です。

スロー&ファストモーション記録を行う

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

動きのある映像をスローで記録したり、自然観察など時間の経過に伴う変化を間欠的に記録（ファスト記録）したりすることができます。スロー & ファストの記録速度は、0.2倍から1200倍までから選ぶことができます。0.8倍以下の記録では、再生時にスローモーションの効果を得ることができます。設定出来る記録速度は「解像度」／「フレームレート」の設定によって異なります。なお、記録中、音声は記録されません。

撮影フレームレートを設定する



① 記録設定メニュー ▶ 「Slow & Fastモーション」を選ぶ。

② いずれかの記録速度をタッチする。

- 「解像度」／「フレームレート」の設定によって、以下の記録速度の選択ができる。

解像度	フレームレート	記録速度
3840x2160 (150 Mbps)	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	29.97P	x0.5*
	23.98P	x0.8
1920x1080 (35 Mbps) 1920x1080 (17 Mbps)	59.94P	x0.5、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
	29.97P	x0.25、x0.5
	23.98P	x0.2、x0.4、x0.8
1280x720 (8 Mbps)	59.94P	x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200
1280x720 (4 Mbps)	29.97P	x0.5

* 再生ビットレートは90 Mbpsです。

③ ✕ をタッチする。

- 記録設定メニュー ▶ 「Slow & Fastモーション」で「OFF」を選ぶと、「Slow & Fastモーション」記録モードが終了する。

MEMO

- 「同時記録」、「リレー記録」、「PRE REC」、「カラーバー」と同時に使用することはできません。
- スロー & ファストモーションでx0.5(59.94P)、x0.25(29.97P)、x0.2(23.98P)に設定をしているときは「フェイスキャッチ&追尾」(60)は使用できません。

スロー & ファストモーション記録中のタイムコード

- 「Rec Run」(レックラン)または「Regen.」(リジェネ)で記録される。
- 「Free Run」(フリーラン)の状態では「Slow & Fastモーション」記録モードにすると、強制的に「Rec Run」に設定される。
- 「Slow & Fastモーション」を「切」にすると、元のカウントアップ方式に戻る。
- タイムコードは、HDMI OUT端子からは出力されない。
- スロー記録時、1回の撮影操作で記録できる時間は、再生時間における約6時間です。それを越えると自動的に停止します。
例) 「Slow & Fastモーション」が「x0.5」の場合、記録時間3時間(再生時間6時間)。

ピントを合わせる

CAMERA MEDIA

フォーカス調整のしかたには、次の3種類があります。マニュアルフォーカスで調整中は、デュアルピクセルフォーカスガイドやピーキング（輪郭強調）表示、拡大表示などのフォーカスアシスト機能を使うとピントを合わせやすくなります。

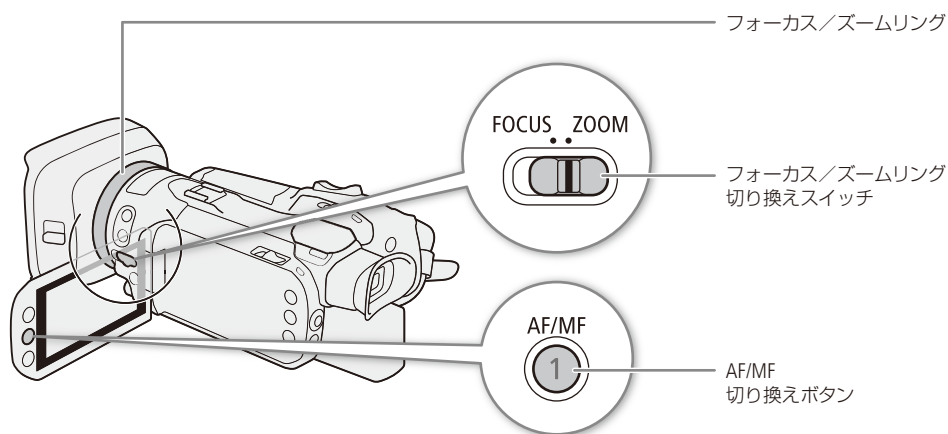
マニュアルフォーカス：フォーカス／ズームリングを回して手動でフォーカス調整を行います。

AFブーストMF：大まかな調整はマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整する。

コンティニュアスAF：フォーカスを常に自動調整する。

MF(マニュアルフォーカス)で調整する カメラモード AUTO M

フォーカス／ズームリングを回して、手動でフォーカス調整を行います。フォーカス／ズームリングの回転速度に応じてフォーカスが移動します。フォーカス／ズームリングの操作方向、敏感度をメニューで設定することができます（P 157）。



FOCUS ZOOM 	1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする
FUNC AF/MF 	2 タッチする AF/MF切り換えボタンで設定するとき AF/MF切り換えボタンを押す。 ● マニュアルフォーカスのときは画面にMFが表示される（操作6へ）。
3 	フォーカスを選ぶ ● (フォーカス)をタッチする。 ● フォーカス調整画面が出る。



M	4 M(マニュアル)をタッチする ● 画面の枠内の、ピントを合わせたい被写体をタッチすると、タッチした場所に✕が点滅して、ピントが自動で調整された後にマニュアルフォーカスになる。 ● ピントを合わせたときの被写体までの距離が表示される。	
	5 ✕をタッチする	
	6 フォーカス／ズームリングを操作して、フォーカスを合わせる	

MEMO

- ピントを合わせたあとでズーム操作を行うと、ピントがズレることがあります。
- 電源を入れたままで放置するとピントがボケることがあります。これはレンズとカメラ内部の温度上昇によってピント面がわずかに移動するためです。撮影を開始する前に再度ピントを確認してください。

■ フォーカス位置をプリセットする カメラモード AUTO M

FUNCメニューでマニュアルフォーカスにしたときはフォーカス位置をプリセットでき、プリセットしたフォーカス位置にフォーカスを合わせることができます。フォーカスを合わせるスピードはメニューで3段階から選べます (156)。

フォーカス位置をプリセットする		
	1 FUNCメニューでマニュアルフォーカスにする ● 「MF(マニュアルフォーカス)で調整する」の操作1～4を行う。 ● ピントを合わせたときの被写体までの距離が枠内とフォーカスプリセットボタンに表示される。	
	2 フォーカスプリセットボタンをタッチする ● フォーカスプリセットボタンの指標がオレンジに変わり、被写体までの距離が保持される。 ● もう一度フォーカスプリセットボタンをタッチすると設定が解除される。	

3 必要に応じてフォーカスを調整する

- 調整後の被写体までの距離が枠内に表示される

プリセットしたフォーカス位置に戻る

PRESET

1 PRESET をタッチすると保持したフォーカス位置に戻る

- フォーカスやズームの調整中、**PRESET** は灰色になりタッチできない。



MEMO

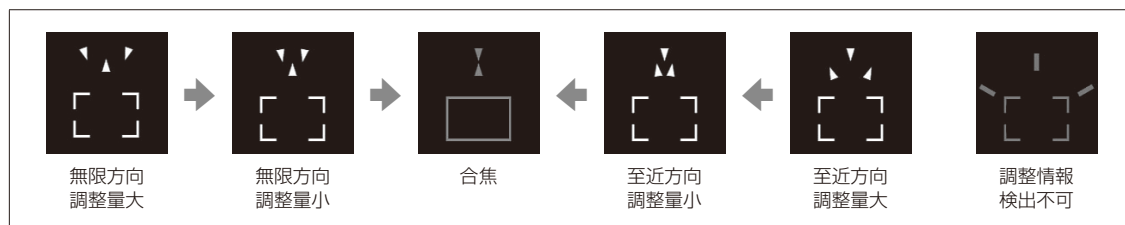
- 電源を切るとプリセットしたフォーカス位置はキャンセルされます。

■ フォーカスアシスト機能を使う

フォーカスを調整するとき、デュアルピクセルフォーカスガイド、ピーキング（輪郭強調）表示や拡大表示を使うと、ピントが合わせやすくなります。デュアルピクセルフォーカスガイドとピーキング、ピーキングと拡大表示を同時に使うこともできます。

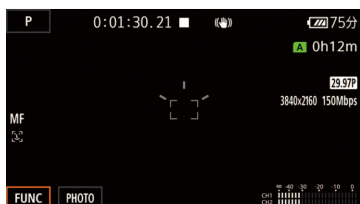
デュアルピクセルフォーカスガイド

メニューの「フォーカスガイド」を「入」にすると、現在のフォーカス位置から合焦位置への調整方向と調整量を、ガイド枠で視覚的に表示します。ガイド枠の意味（調整方向、調整量）は次のとおりです。「フェイスキャッチ&追尾」(60)と併用すると、ガイド枠は主な被写体と判断した顔の目の付近に表示されます。



フォーカスガイド枠を移動する

フォーカスを合わせたい部分にフォーカスガイド枠 (56) を移動します。



1 フォーカスガイド枠を移動する

- ① 画面をタッチする。
 - ガイド枠が移動する。

MEMO

- オートフォーカスでピントが合いにくい撮影条件／設定 (60) では、ガイドが正しく表示されないことがあります。
デュアルピクセルフォーカスガイドが使えないとき
 - AFブーストMF、またはコンティニュアスAFの調整中。
 - カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」で「Tele TL-U58」または「Wide WA-U58」を設定しているとき。
 - デジタルズーム (68) を設定していて、ズーム位置がデジタルズーム領域のとき。
 - 撮影モードを「打上げ花火」に設定しているとき。
 - 「カラーバー」を設定しているとき。
- デュアルピクセルフォーカスガイドを「フェイスキャッチ&追尾」と併用する場合、顔の向きによっては、ガイドが目
の位置からずれることがあります。
- アサインボタンに「フォーカスガイド」を割り当てると、アサインボタンを押して「フォーカスガイド」の入／切を切り
換えられます (102)。

ピーキング

1 マニュアルフォーカスにする

- 54ページの操作4までを行う。



2 ピーキングを設定する

- ① をタッチする。



3 ピーキング色を選ぶ

- ① 「レッド」、「ブルー」または「イエロー」のいずれかをタッチする。
- ② をタッチする。



4 ピーキング色を表示する

- ① **PEAK** をタッチする。
 - ピントの合った被写体の輪郭に色が表示される。
 - 「ピーキング時白黒」が「入」のときは、画面の映像が白黒になり、ピーキング色がさらに強調される。

ピーキングを使わないとき

もう一度 **PEAK** をタッチする。

- ② **X** をタッチする。

拡大表示

MAGN.

1 MAGN.(拡大)ボタンを押す

FUNC > **MAGN.**「拡大表示」>「実行」でも設定できる。

- 画面に **MAGN.** が表示され、画面の中心部が2倍*に拡大される。
* 各種AF枠や顔検出枠、フォーカスガイド枠が表示されているときは、枠の中心部となる。
- 拡大領域の位置を示す表示が画面に出る。

2 必要に応じて拡大位置を移動させる

画面をドラッグ、またはジョイスティックを上下左右に押して、拡大位置を移動させる。

- もう一度MAGN.ボタンを押すか、**X**をタッチすると拡大表示が解除される。

MEMO

- ピーキング表示／拡大表示は画面にのみ表示され、出力端子から出力される映像には表示されません。また、記録される動画／静止画には影響しません。
- カラーバー表示中は拡大表示できません。

AFブーストMFで調整する カメラモード **AUTO** M

ねらった被写体に対して、大まかなフォーカス調整をマニュアルで行い、合焦位置に近づくとAFで自動調整します。4K動画を撮影するとき、ピントが甘くなるのを防ぎたいときなどに使用します。また、調整情報が検出できないときに不確実な調整動作を行わないため、コンティニュアスAFよりも安定して調整できます。

1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをFOCUSにする



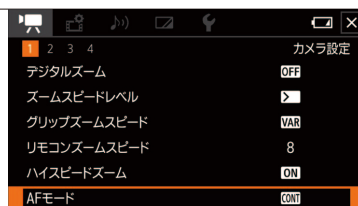
2 AF/MF切り換えボタンを押してAFにする

- 画面にAFが表示される。

3 「AF枠サイズ」を「大」または「小」にする (59)

4 AFモードを「AFブーストMF」に設定する

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」をタッチする。
- ② 「BOOST AFブーストMF」をタッチする。
- ③ X をタッチする。
 - フォーカス位置が手動調整領域内のときは、画面に黄色の枠 (AFブーストMF枠) が表示される。
 - 必要に応じてAF枠の位置／サイズを変更する (59)。

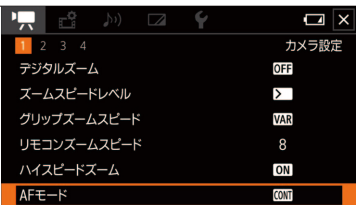


5 フォーカス／ズームリングを回して、調整する

- フォーカス位置が合焦位置に近づき自動調整領域に入ると、画面の枠が白色に変わり、自動的にピント合わせを行う。
- フォーカス位置が自動調整領域内にある間は、常に自動調整する。

■ コンティニユアスAFで調整する カメラモード **AUTO M**

AF枠 (📐 59) がオートの場合は、画面中央部にある被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。オート以外に設定しているときは、表示されているAF枠内の被写体を対象にして、フォーカスを常に自動調整します。

	1 AF/MF切り換えボタンを押してAFにする ● 画面にAFが表示される。	
	2 AFモードを「連続」に設定する ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「AFモード」をタッチする。 ② 「連続」をタッチする。 ③ ✕ をタッチする。	

MEMO

「AF枠サイズ」を「大」または「小」にすると、画面に白い枠 (コンティニユアスAF枠) が表示されます (📐 59)。

■ AF枠の位置／サイズを変更する

オートフォーカスで調整するとき、画面に表示されるAF枠の位置・サイズを変更することができます。AF枠サイズを「大」または「小」に設定しているときは、画面をタッチしてAF枠の位置を変更します。AF枠の大きさはメニューで変更します。

	① 2 カメラ設定メニュー ▶ 「AF枠サイズ」をタッチする。 ② いずれかをタッチする。 A オート：画面中央部にある被写体にピントが合うように自動的にAF枠を設定する。画面に枠は表示されない。 L 大、S 小：画面の80%の範囲内で任意の位置にAF枠を設定できる。被写体の大きさによって、大または小を設定する。 ③ ✕ をタッチする。
---	---

MEMO

● AF枠が「オート」のときは、AFブーストMFは使用できません。

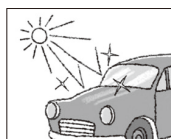
オートフォーカスの調整速度や応答性を変更するとき

- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「AFスピード」でオートフォーカスの調整速度を選べます (📐 156)。
- 1 カメラ設定メニュー ▶ 「AFレスポンス」でオートフォーカスの応答性を選べます (📐 156)。
- 晴れた日の屋外など明るいシーンを撮影するときは、絞りが絞り込まれ、小絞りによるボケが生じます。このボケは、テレ側よりワイド側の方が目立ちます (被写体が小さく撮影されるため)。このときは、撮影モードの「**Av** (絞り優先AE)」または「**M** (マニュアル露出)」で、NDフィルターを使用して絞りを調整してください (📐 78)。

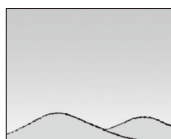
AFモードが設定できないとき

- カメラ設定メニュー ▶ 「コンバージョンレンズ」を「TL-U58」または「WA-U58」に設定しているとき。
- フレームレートを「29.97P」または「23.98P」に設定していると、フォーカスが合うまで若干時間がかかります。
- 暗い室内などで撮影するときは、絞りが開き、ピントの合う範囲が非常に狭くなります。このため、特に奥行きのある被写体を撮影すると、全体にボケたような画像に見えることがあります。
- オートフォーカス中でもフォーカス／ズームリングを回すと、操作している間だけマニュアルフォーカスになります。操作をやめるとオートフォーカスに戻ります。ガラス越しに撮影するときなどに便利です。
- 撮影モードが「打上げ花火」に設定されている場合、ピントは∞（無限遠）で固定となります。

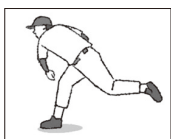
自動でピントが合いにくいときはどんなとき？



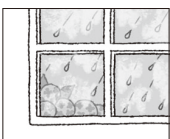
強い光が反射



画面の中央に明暗の
差がない



動きが速い



水滴が付いている
ガラス越しの撮影



夜景



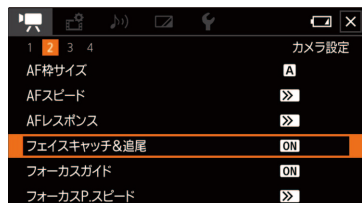
繰り返し模様

- ルックを「Wide DR」に設定したとき
- 遠近の被写体が同時に含まれるとき

顔を検出してフォーカスを合わせる カメラモード **AUTO** M (フェイスキャッチ&追尾)

人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。複数の顔を検出した場合、メインの被写体を変えたいときは、その人物の顔をタッチします。

オートフォーカスのときは、人物以外にもペットなどの動いている被写体にも自動でピントを合わせることができます。被写体を選ぶときはタッチパネルで操作してください。カメラモードが **AUTO** (オート) のときは、「フェイスキャッチ&追尾」は「入」に固定されます。



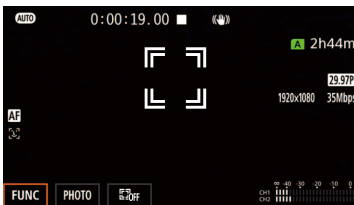
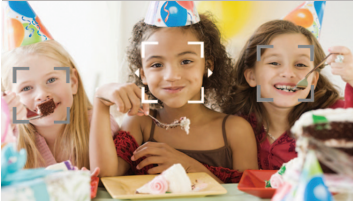
1 フェイスキャッチ&追尾を選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「フェイスキャッチ&追尾」をタッチする。
- ② **ON** (入) をタッチする。

解除するとき

OFF (切) をタッチする。

- ③ **X** をタッチする。



2 カメラを人物に向ける

- オートフォーカス時は、主な被写体と判断した顔に白い枠と左右の矢印、その他の顔にグレーの枠が表示される。マニュアルフォーカス時は検出したすべての顔にグレーの枠、主な被写体と判断した顔に左右の矢印が表示される。

特定の人を選ぶとき

特定の人物をタッチする。

- タッチした人物の顔に2重枠が出る（オートフォーカス時は白い2重枠、マニュアルフォーカス時はグレーの2重枠）。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

人物以外を選ぶとき（オートフォーカス時のみ）

- 「」をタッチして追尾選択画面を表示し、被写体をタッチする。
- タッチした被写体に白い2重枠が出る。
- 被写体が動くと、自動で枠も一緒に動く。

解除するとき

「」をタッチする。

3 ピントを合わせる

マニュアルフォーカス時、「フォーカスガイド」を「入」に設定すると、主な被写体と判断した顔に対してフォーカスガイドが表示されるので、ピントを調整する。

- オートフォーカス時は自動でピントを調整する。

フェイスオンリー AF カメラモード **AUTO** M

オートフォーカスのときに、人物の顔を検出して自動的にピントや明るさを調整します。顔が検出されないときはマニュアルフォーカスになります。アサインボタンに「フェイスオンリー AF」を割り当て、アサインボタンを押して「フェイスオンリー AF」のON/OFFを切り換えます（ 102）。「フェイスオンリー AF」を「ON」にすると  が表示されます。

MEMO

- 人物以外の被写体を、誤って顔として検出することがあります。その場合は「フェイスキャッチ&追尾」を「OFF」にしてください。
- 「フェイスキャッチ&追尾」を「ON」にしているとき、シャッタースピードは1/30秒以上*に設定されます。
* メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒以上。
- 被写体の特徴的な部分（色など）をタッチすると追尾しやすくなります。なお、タッチした被写体と特徴が似ている被写体が周囲にあると、別の被写体を追尾することがあります。そのときは、もう一度61ページの「人物以外を選ぶとき」を操作してください。

顔が検出されない主な例

- 顔が画面全体に対して、極端に小さいまたは大きい、暗いまたは明るいとき。
- 顔が横や斜めを向いていたり、顔が上下逆さのとき、顔の一部が隠れたりしているとき。

フェイスキャッチ&追尾、フェイスオンリー AFが使用できない場合

- 撮影モードを「夜景」、「ローライト」、「打上げ花火」に設定しているとき。
- シャッタースピードを1/30秒未満*にしているとき。
* メニューの「フレームレート」を「23.98P」にしているときは、1/24秒未満。
- デジタルズームで60倍を超えて拡大しているとき。
- 「Slow & Fastモーション」( 52)で以下の設定をしているとき。

フレームレート	記録速度
59.94P	x0.5
29.97P	x0.25
23.98P	x0.2

タッチ追尾が働かない場合

- 被写体が大きすぎるとき。
- 被写体が画面上で非常に小さいとき。
- 被写体と背景が似ているとき。
- 被写体のコントラストがないとき。
- 高速で動く被写体を撮影するとき。
- 暗い室内などで撮影するとき。

拡大して撮る

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO M**

ズームは、フォーカス／ズームリング、グリップズーム、画面上のズームボタン、またはリモコンで操作します。光学ズームで15倍まで拡大でき、デジタルズーム*を使うと300倍まで拡大できます（[P.156](#)）。

* デジタルズームは **AUTO**（オート）モードやメニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-U58」を設定しているときは使えません。

■ フォーカス／ズームリングで操作する

FOCUS ZOOM



1 フォーカス／ズームリング切り換えスイッチをZOOM(ズーム)にする



2 フォーカス／ズームリングを回して調整する

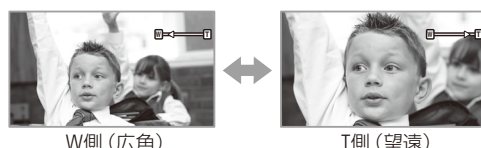
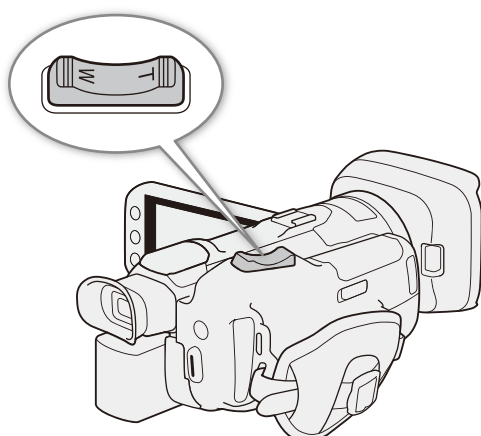
- ズームスピードは、フォーカス／ズームリングをゆっくり回すと低速になり、早く回すと高速になります。
- ズーム操作を行うと、ズーム位置の目安となるズームバーが画面に表示されます。

MEMO

- ズームリングの操作方向を、**カメラ設定メニュー** ▶ 「ズームリング操作方向」で設定できます（[P.157](#)）。
- フォーカス／ズームリングをすばやく操作すると、レンズの移動が追いつかなくなることがあります。このとき、フォーカス／ズームリングの操作終了より遅れてレンズの移動が完了します。

■ グリップズーム／リモコンのズームで操作する

グリップズームで操作する



広角にするときは**W** (ワイド) 側を押し、望遠にするときは**T** (テレ) 側を押します。グリップズームの押しかた (操作量) に応じてズーム速度が変わる「可変速」と、一定の速度でズームする「固定速」とを切り換えることができ、ズームスピードは「ズームスピードレベル」との組み合わせで決まります。

グリップズーム操作のズームスピードを設定する

グリップズーム スピードの設定	Constantスピードの設定 (16段階)	ズームスピードレベルの設定とワイド端 → テレ端の時間		
		ロー	ミドル	ハイ
VAR (可変速)	ズームの押しかたに よって可変	約4.2秒～4分38秒	約2.6秒～2分	約1.5秒* ～1分
CONST (固定速)	速度1 (最低速)	約4分38秒	約2分	約1分
	速度16 (最高速)	約4.2秒	約2.6秒	約1.5秒*

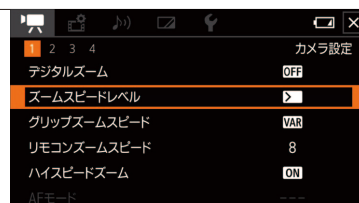
* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなる場合があります。

MENU



1 ズームスピードレベルを選ぶ

- ① カメラ設定メニュー ▶ 「ズームスピードレベル」をタッチする。
- ② 「 ハイ」、 「 ミドル」、 「 ロー」のいずれかをタッチする。
- ③ をタッチする。



2 VAR(可変速)または CONST(固定速)を選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「グリップズームスピード」をタッチする。
- ② VAR または CONST をタッチする。

3 CONST(固定速)の場合 ズームの速度を設定する

- ① ◀ または ▶ をタッチして設定する
 - メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。
- ② ✕ をタッチする。

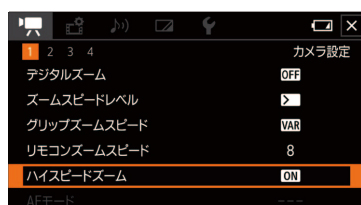


MEMO

- 「ズームスピードレベル」を「ハイ」にすると、レンズの動作音が記録されることがあります。
- 「ハイスピードズーム」(65)を「入」にすると、撮影一時停止中状態でのズームスピードレベルは、「ハイ」になります。(ただし、「ズームスピード」を「VAR(可変速)」に設定したときのみ)。また撮影一時停止中にプレREC(95)を「ON」に設定していると「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。

撮影停止中のズームスピードを速くする(ハイスピードズーム)

撮影停止中のズームスピードレベルを「ハイ」にする機能。「グリップズームスピード」が「VAR(可変速)」のときに有効です。撮影中は「ズームスピードレベル」で選んだ速度になります。



ハイスピードズームを選ぶ

- ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「ハイスピードズーム」をタッチする。
- ② 「ON(入)」を選ぶ。
- ③ ✕ をタッチする。

リモコン(付属)やリモートコントローラー RC-V100(別売)などで操作する

付属のリモコンやREMOTE(リモート)端子(96)に接続したリモートコントローラー RC-V100(別売)／市販のリモコンを使ってズームを調整します。ズームスピードは使用するリモコンによって異なります。

使用するリモコン	ズームスピードの動作
付属のリモコン	固定速となる。速度は下表に記載。
リモートコントローラー RC-V100(別売)	RC-V100のZOOMダイヤル操作にて、中央からの回転角度が大きいほど高速になる。
市販のリモコンなど	可変速ズーム機能がないときは固定速。可変速ズーム機能があるときはリモコンの設定に従う。

リモコン操作のズームスピードを設定する

付属のリモコンのズームスピードを切り換えるときは、次の設定を行います。

リモコンズームスピードの設定	ズームスピードレベルの設定とワイド端 → テレ端の時間		
	ロー	ミドル	ハイ
速度1(最低速)	約4分38秒	約2分	約1分
速度16(最高速)	約4.2秒	約2.6秒	約1.5秒*

* ズーム中にオートフォーカスが合いにくくなることがあります。

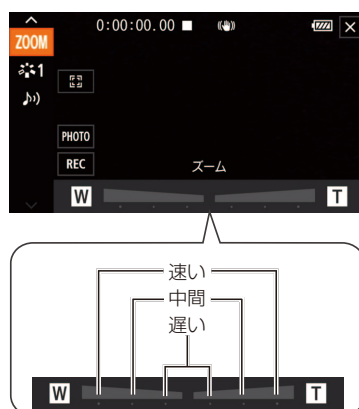
MENU ↶	1 ズームスピードレベルを設定する ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「ズームスピードレベル」をタッチする。 ② 「 ハイ」、「 ミドル」、「 ロー」のいずれかをタッチする。 ③ をタッチする。	
	2 ズームの速度を設定する ① 1 カメラ設定メニュー ▶ 「リモコンズームスピード」をタッチする。 ● メーターを左右にドラッグして選ぶこともできる。 ② をタッチする。	

リモートコントローラー RC-V100 (別売) を使うとき、RC-V100のZOOM (ズーム) ダイアルを中央から右に回すとテレ側、中央から左に回すとワイド側にズームします (初期状態)。

■ 画面のズームボタンで操作する

1 ズームを選ぶ

- ① FUNC ▶ 「ZOOM」(ズーム)をタッチする。
 - ズーム画面が出る。
- ② 画面上のズームボタン「**T**」または「**W**」をタッチして、ズーム操作をする。



- ズームのスピードは、タッチする場所によって、「速い」、「中間」、「遅い」を選べる。
- ③ **X**をタッチする。

画面中央を拡大して撮る（デジタルテレコン） カメラモード **AUTO** M

ズーム画面で **2.0x** をタッチすると、焦点距離を2倍にして撮影できます。



1 デジタルテレコンを選ぶ

- ① FUNC 1 カメラ設定メニュー ▶ 「デジタルズーム」をタッチする。
- ② 「**2.0x** デジタルテレコン」をタッチする。
- ③ **X** をタッチする。



2 デジタルテレコンを有効にする

- ① FUNC ▶ ZOOM をタッチする。
- ② **2.0x** (デジタルテレコン) をタッチする。
 - 画面の中央が拡大される。

解除するとき

- もう一度 **2.0x** をタッチする。
- ③ **X** をタッチする。

MEMO

- 別売のテレコンバーターをあわせて使用すると、さらに拡大した映像を記録できます。
- 撮影中や、メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-U58」を選択しているときは設定できません。
- 映像をデジタル処理するため、ズーム全域で映像が粗くなります。

手ブレをおさえて撮る

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

手持ちで撮影するときに手ブレの少ない安定した映像を撮影できます。補正方式は次の2種類があり、撮影のしかたによって選べます。また、静止して望遠撮影するときは、パワードISを使うと大きな手ブレを抑えることができます。

- 🚫切 : 三脚を使って撮影するときなど、手ブレ補正を使用しないとき。
- 👉スタンダード : 静止して手持ちで撮影するときなどの比較的小さな手ブレを補正。自然な映像が撮影できる。
- 👉ダイナミック : 歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレを補正。ズームを広角側にするほど効果が大きい。

撮
影

■ 手ブレ補正を設定する

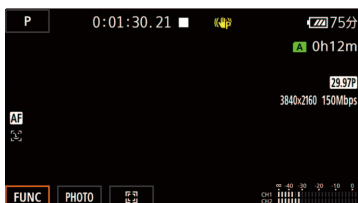


1 手ブレ補正を選ぶ

- ① 3 カメラ設定メニュー ▶ 「手ブレ補正」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
- ③ ✕ をタッチする。

■ 望遠撮影時の大きな手ブレを抑える (パワードIS)

パワードISを使うと、静止して望遠撮影するときの大きな手ブレを抑えることができます。補正効果は、ズームを望遠側にするほど大きくなります。パンやチルトなどカメラを動かす撮影には向きません。初期設定では、アサインボタン2 (13) に「POWERED IS」が割り当てられていますので、パワードISを使うときは、このボタンを押して操作します。



1 手ブレ補正を選ぶ

- ① POWERED ISボタンを押し続ける。
 - 押している間、画面に👉が出る。

MEMO

- 「ダイナミック」設定時と「スタンダード」「切」設定時とでは、ワイド端での撮影画角が変わります。
- 手ブレが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- 手ブレ補正を「切」に設定している場合でも、「パワードIS」ボタン (102) の操作によりパワードISは有効になります。
- 「パワードIS」ボタンの操作のしかたは、3 カメラ設定メニュー ▶ 「パワードISボタン」で選べます (157)。
- 「ダイナミック」使用時、大きな手ブレを補正すると画像の周辺の画質が劣化 (ゴースト、ひずみ、暗くなるなど) することがあります。

ゲインリミットを設定する

CAMERA

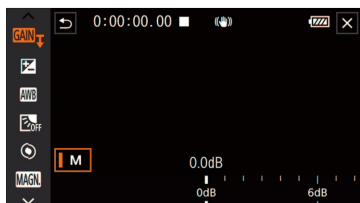
MEDIA

カメラモード

AUTO

M

露出を自動調整に設定して暗い被写体を撮影すると、被写体を明るく撮影するために自動でゲインが上がります。このゲインの上限を設定することにより、ノイズの上昇を抑えた撮影ができたり、暗い雰囲気を残したままの撮影ができたりします。撮影モード（ 71）が、**P**、**Av**、**Tv**、のときに使用できます。



1 AGCリミットを選ぶ

FUNC >  (AGCリミット) > **M**をタッチする。

- メーターが表示される。

上限を解除するとき

もう一度**M**をタッチする。

2 感度の上限を選ぶ

① メーターを左右にドラッグして感度を選ぶ。

- 設定可能な値は0.0 dB ~ 38.0dB。
- ルック（ 80）で「Wide DR」を設定しているときは、下限値が9.0dBに設定される。
- 数値を小さくする程、感度の上限が低くなる。

② **X**をタッチする。

- 上限を設定しているときは  と設定値が画面に表示される。

MEMO

- AGCリミットが使用できない場合
 - AEロック中のとき（ 75）。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに  (AGCリミット) を割り当てると、CUSTOM（カスタム）ダイヤルでAGCリミット値を調整できます（ 100）。

撮影モードを切り換える

CAMERA

MEDIA

カメラモード

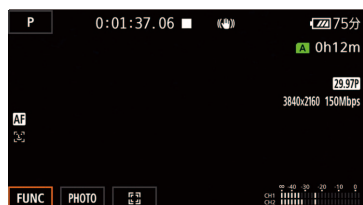
AUTO

M

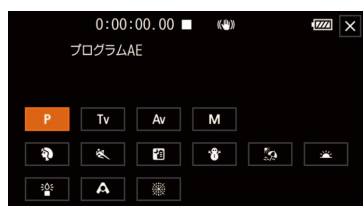
撮影モードを切り換えることで、絞りやシャッタースピード、ゲインの数値を好みに合わせて設定したり撮影シーンに合わせて設定を変えたりするなど、さまざまな撮影ができます。

■ 撮影モードを切り換える

撮影モードは、画面のボタンで切り換えます。



1 撮影モードボタンをタッチする。



2 いずれかのモードを選ぶ。

P(プログラムAE)

絞り、シャッタースピード、ゲインを自動で設定します。

- ① **P** (プログラムAE) をタッチする
- ② **X** をタッチする。

Tv(シャッター優先AE)

シャッタースピードを調整すると、動きの速い被写体（スポーツや乗り物など）を鮮明に撮影する、低照度のシーンを明るく撮影するなど被写体や撮影環境に合わせて撮影できます。



- ① **Tv** (シャッター優先AE) ▶ **X** をタッチする。
- ② **FUNC** ▶ **SHTR** (シャッタースピード) をタッチする。
 - メーターを左右にドラッグして絞り値を設定する。
 - ゼブラパターン (77) を表示することもできる。
 - CUSTOMダイアル (100) やブラウザーリモート (141) を使って調整することもできる。
 - 設定可能な値 **参考** ▶ (72)
- ③ **X** をタッチする。

Av (絞り優先AE)

被写体の明るさに応じて絞りを調整します。被写界深度を変えて背景や周囲をぼかし、被写体を引き立たせたいときは絞り値を小さく、近くのものから遠くのものまでピントを合わせたいときは、絞り値を大きく設定します。



- ① **Av (絞り優先AE)** ▶ **X**をタッチする。
- ② **FUNC** ▶ **IRIS (絞り)**をタッチする。
 - メーターを左右にドラッグして絞り値を設定する。
 - ゼブラパターン (77)を表示することもできる。
 - CUSTOMダイヤル (100)やブラウザーリモート (141)を使って調整することもできる。
 - 設定可能な値 **参考** ▶ (72)

MEMO

- 被写体の明るさによっては適正露出に制御できず、撮影モードが **Av**時は絞り値が、撮影モードが**Tv**時はシャッタースピードが点滅します。そのときは絞り値やシャッタースピードを調整してください。

M (マニュアル露出)

絞り、シャッタースピード、ゲインを自由に設定できます。



- ① **M (マニュアル露出)** ▶ **X**をタッチする。
- ② **FUNC** ▶ **IRIS (絞り)**、**SHTR (シャッタースピード)**または**GAIN (ゲイン)**をタッチする。
 - メーターを左右にドラッグして絞り値を設定する。
 - ゼブラパターン (77)を表示することもできる。
 - CUSTOMダイヤル (100)やブラウザーリモート (141)を使って調整することもできる。
 - 設定可能な値 **参考** ▶ (72)
- ③ **X**をタッチする。

設定可能な値

それぞれの撮影モードで設定できる絞り、シャッタースピード、ゲインの設定値は以下です。

絞り*1	F2.8、F3.2、F3.4、F3.7、F4.0、F4.4、F4.8、F5.2、F5.6、F6.2、F6.7、F7.3、F8.0、F8.7、F9.5、F10、F11
シャッタースピード	1/6*2、1/8、1/9、1/10、1/12、1/15、1/17、1/20、1/24、1/25、1/30、1/34、1/40、1/48、1/50、1/60、1/75、1/90、1/100、1/120、1/150、1/180、1/210、1/250、1/300、1/360、1/420、1/500、1/600、1/720、1/840、1/1000、1/1200、1/1400、1/1700、1/2000
ゲイン	0.0dB*3 ～ 39.0dB (1dB刻み)

*1 画面で表示する絞り値は目安です。

*2 「フレームレート」が「23.98P」時のみ。

*3 「ルック」で「Wide DR」を設定しているときは、下限値が9.0dBに設定されます。

MEMO

画面に表示される絞り値がレンズの表示と異なることがあります。

露出バー



撮影モードが**M**のときは、画面に露出バー*が表示され、現在の露出位置を指標で確認できます。

* 1/2段の刻み幅で-2段～+2段まで表示でき、この範囲を超えると指標が点滅します。

シーンモード

照り返しの強いスキー場や、海に沈む夕日、夜空を彩る打上げ花火など、場所や被写体に合わせてきれいに撮影します。

① いずれかを選ぶ ▶ **×**をタッチする。

シーンモードで選べる項目

👤ポートレート

背景をぼかして、被写体を引き立たせる。



🏊スポーツ

動きの速い被写体を撮る。



🌃夜景

夜景をきれいに撮る。



⛷️スノー

照り返しの強いスキー場で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🏖️ビーチ

照り返しの強い海岸で被写体が暗くなるのを防ぐ。



🌅夕焼け

夕焼けを色鮮やかに撮る。



🌟ローライト

暗い場所で被写体を明るく撮る。



📷スポットライト

スポットライトが当たった被写体をきれいに撮る。



🎆打上げ花火

打上げ花火をきれいに撮る。



MEMO

- ポートレート、スポーツ、スノー、ビーチの各モードで撮影した映像を再生すると、なめらかに見えなかったり、ちらつくことがあります。
- スノー／ビーチのとき、曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなりすぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。

ローライトについて

- 動きのある被写体は、残像が目立つ映像になることがあります。
 - 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
 - 画面に白い点などが出ることがあります。
 - 自動でピントが合いにくいときは、ピントを調整してください (P. 53)。
- 「ローライト」や「打上げ花火」を使うときは、手ブレを防ぐために、三脚をお使いになることをおすすめします。

明るさを調整する

CAMERA

MEDIA

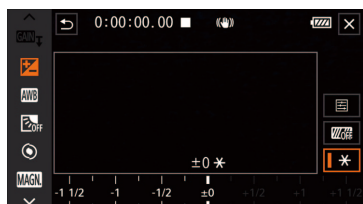
カメラモード

AUTO M

逆光のときに被写体が黒くなったり、強い光が当たったときに白くとんでしまうことがあります。このようなときは明るさ（露出）の調整をします。

■ 露出を固定する（AEロック）

現在の露出で固定します。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**またはシーンモードの（打上げ花火）以外的时候可以使用できます。



- ① FUNC > [] (露出補正) をタッチする。
 - メーターが表示される。
 - ゼブラパターン（77）を表示することもできる。
- ② * (AEロック) をタッチする。
 - 調整後の明るさで固定される。
 - 自動の調整に戻すときは、再度 * をタッチする。
- ③ メーターを左右にドラッグして選ぶ。
 - 明るさによっては数値がグレーになり、調整可能な範囲が変わる。
- ④ X をタッチする。
 - 露出固定中は*が、露出を調整したときは、*、露出の調整値が画面に出る。

■ タッチした被写体に自動的に露出を合わせる（タッチ露出）

タッチした部分を重点的に測光し、露出調整を行い固定します。また、タッチした部分が明るくなりすぎないように補正して、白い雲などでも白とびしない範囲で明るく撮影することもできます（ハイライトAE）。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**またはシーンモードの 爆弾（打上げ花火）以外のときに使用できます。



- ① FUNC > 露出補正 (Exposure Compensation) をタッチする。
 - メーターが表示される。
 - ゼブラパターン (Zebra Pattern) を表示することもできる。
- ② ハイライトAEを使うとき
H (ハイライト) > H をタッチする。
- ③ 露出を調整する。
画面上の、露出を合わせたい被写体をタッチする。
 - タッチした場所に 点滅マークが点滅して、明るさが自動で調整され、露出が固定される。
 - メーターを左右にドラッグしてさらに調整することもできる。

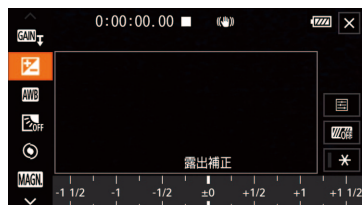
MEMO

- 露出を手動で調整後、POWER (電源スイッチ)、カメラモード切り換えスイッチ、撮影モード、「フレームレート」、「ルック」のWide DRとそれ以外のルックの切り換えを操作すると、自動調整に戻ります。
- CUSTOMダイヤル&ボタンに 露出 (Exposure) を割り当てると、CUSTOM (カスタム)ダイヤルで露出値を調整できます (100)。

■ AE時の露出を補正する

自動的に決められる露出を意図的に補正して、明るめや暗めに撮影できます。補正量は-2段～+2段までの範囲で、設定できる値は以下の通りです。撮影モードが**P**、**Tv**または**Av**のときに使用できます。

-2、-1 3/4、-1 1/2、-1 1/4、-1、-3/4、-1/2、-1/4、±0、+1/4、+1/2、+3/4、+1、+1 1/4、+1 1/2、+1 3/4、+2



- ① FUNC > 露出補正 (Exposure Compensation) をタッチする。
 - 露出が固定されているときは、* をタッチしてAEロックを解除する。
- ② メーターを左右にドラッグして値を選ぶ。
- ③ X をタッチする。
 - 画面にAEと補正値が表示される。

強制逆光補正 カメラモード **AUTO** **M**

逆光のシーンを撮影するとき、画面中の暗部をより明るく制御します。撮影モードが ȧ (打上げ花火) 以外のときに使用できます。



- ① FUNC > ȧ (強制逆光補正) をタッチする。
- ② ȧ > ✕ をタッチする。

MEMO

- アサインボタンに「強制逆光補正」を割り当てると、アサインボタンを押して「強制逆光補正」の入/切を切り換えられます (102)。

自動逆光補正

逆光になっていることを検知して自動的に補正し、被写体を明るく撮影できます。光の状態が変わる場合に便利です。メニューで「切」にすることもできます (156)。「ルック」で「Wide DR」を選んでいるときは、設定できません。

ゼブラパターンを表示する カメラモード **AUTO** **M**

露出オーバーで白とびするおそれがある領域に、縞状のパターンを表示することができます。「100%」では白とびするような明るさのとき、「70%」ではそれに近い明るさのときに縞模様が表示されます。



- ① FUNC > ȧ (露出補正) をタッチする。
- ② ȧ > 「ȧ70 (70%)」または「ȧ100 (100%)」をタッチする。

ゼブラパターンを表示しないとき

- ȧOFF をタッチする。
- ③ ✕ をタッチする。
 - 続いて露出補正の設定を行うときは、ȧ をタッチすると露出補正の画面に戻る。

MEMO

ゼブラパターンを表示しても、記録される映像に影響はありません。

NDフィルターを切り換える

CAMERA

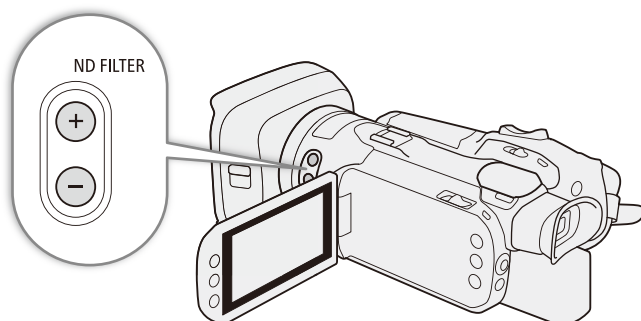
MEDIA

カメラモード

AUTO M

NDフィルターを使用することにより、明るい屋外の撮影でもアイリスを開けて被写界深度の浅い映像表現が可能となります*。NDフィルターは3段階から選択できます。

* アイリスを絞り込んだときに発生する「小絞りによるボケ」の回避にも使用できます。

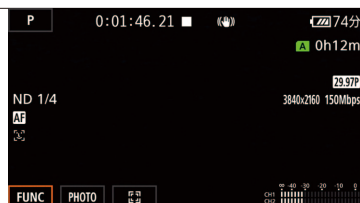


ND FILTER



1 NDフィルターを切り換える

- ① ND FILTER(NDフィルター)切り換え+ボタンを押す。
 - +ボタンを押すたびに、次の順にNDフィルターが切り換わる（-ボタンは逆順）。
OFF → 1/4 → 1/16 → 1/64 → OFF
- ② 希望のNDフィルターに切り換わるまで①の操作を繰り返す。
 - 切り換えたNDフィルターが画面に表示される。



MEMO

- シーンによっては、NDフィルターを入／切すると、わずかに発色が変わることがあります。このときはホワイトバランスをセットして撮影すると効果的です（□ 79）。

リモートコントローラー RC-V100(別売)を使う

- RC-V100のND切り換えボタンを押して、NDフィルターを切り換え可能（本機のND FILTER切り換え+ボタンと同じ動作）。
- RC-V100のNDフィルターランプは、1/4、1/16、1/64選択時はランプの1、2、3がそれぞれ点灯し、切のときはOFFが点灯します。

色合いを調整する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO

M

太陽光など周りの光によって、白い壁や白い紙などはオレンジっぽくなったり、青っぽくなったりします。撮影時の光に応じて「白いものを白く」写すように色を調整できます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに調整できます。

AWB オート 太陽光 電球**K** 色温度 セット1  セット2

通常は**AWB** (オート)*を選択。自動的に自然な色合いに調整される。

晴天の屋外で撮影するときを選択。

電球や電球色タイプ (3波長型)の蛍光灯のもとで撮影するときを選択。

2000K ~ 15000Kの範囲で色温度を設定する。

実際に白い紙などを写して設定し、設定値を「セット1」または「セット2」として登録する。

* オート ホワイト バランス
AWBはAuto White Balanceの略です。

WB

1 ホワイトバランスを選ぶ

① FUNC ▶ **AWB** (ホワイトバランス)をタッチする。

② いすれかをタッチする。_____

- 撮影する環境に合わせて目的のホワイトバランスを選ぶ。

K (色温度)を選んだとき

③  を選ぶとメーターが表示されるので、色温度を調整する。

 (セット1)または  (セット2)を選んだとき

③  をタッチする

④ グレーカードや白い無地の被写体を画面の枠内に写す。

⑤ 「白取り込み」をタッチする。

-  (セット) が点滅 ▶ 消灯になったら調整完了。調整されたホワイトバランスは電源を切っても記憶されている。

⑥  をタッチする。



MEMO

●  (セット1)または  (セット2)を選んで調整するとき

- カメラ設定メニュー ▶ 「デジタルズーム」を「切」にしてください (156)。
- 場所や明るさが変わったときは再調整してください。
- 光によっては、ごくまれに  (セット) が点滅 ▶ 消灯に変わりますが、自動調整よりも適切なホワイトバランスに調整されていますのでそのままお使いください。

AWB (オート)でうまくいかないとき

次のような条件で撮影するとき、画面の色が不自然であれば  (セット1)または  (セット2)で調整をしてください。

- 照明条件が急に変わる場所での撮影。
- クローズアップ撮影。
- 空や海、森など単一色しか持たない被写体の撮影。
- 水銀灯や一部の蛍光灯、LED照明のもとでの撮影。

好みの画質にする（ルック）

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO

M

ルックの設定や、色の濃さ、シャープネス、コントラストを調整して撮影することができます。撮影モードが**P**、**Tv**、**Av**、**M**のときに設定できます。

選択可能なルック

❖1 スタンダード	動画の基準画質設定です
❖2 Wide DR	広いダイナミックレンジを持つガンマとガンマに合わせた色再現に
❖3 モノクロ	白黒になります

ルックを設定する



1 ルックを選んで調整する

- ① FUNC ▶ ❖1 (ルック) をタッチする。
- ② いずれかのルックをタッチする。
 - 田を選ぶと、詳細設定が可能。
- ③ ✕ をタッチする。

設定項目	設定値	内容
シャープネス	0 ～ 7	輪郭強調の強さを調整する。 0：控えめ 7：強め
コントラスト*1	-4 ～ +4	明暗差を調整する。 -4：明暗差・弱 +4：明暗差・強
色の濃さ*2	-4 ～ +4	色の濃さを調整する。 -4：薄い +4：濃い

*1 Wide DRのときは設定できません。

*2 モノクロのときは設定できません。

2 ✕をタッチする

MEMO

- 「Wide DR」設定時、最低感度は9dBのため、晴れた日の屋外などでは適正な露出に制御出来ず、被写体が明るく撮影されることがあります。

タイムコードを設定する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

撮影時に内蔵のタイムコードジェネレーターでタイムコードを生成できます。生成したタイムコードは、映像とともにカードに記録されるほか、HDMI OUT端子に出力できます。また、HDMI OUT端子に対して、タイムコードを出力させるか、メニューで切り換えることができます（P.158）。

タイムコードのカウントアップ方式には次の3種類があります。また、ドロップフレームとノンドロップフレームを選択できます。

■ カウントアップ方式を選ぶ

歩進モード	歩進方法	内容
Preset (プリセット)	Rec Run (レックラン)	タイムコードは記録時に歩進する。タイムコードの初期値は任意に設定可能。カードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。
	Free Run (フリーラン)	タイムコードは、記録状態に関係なく常に歩進する。初期値は任意に設定可能。
Regen. (リジェネ)	—	タイムコードは記録時に歩進する。カードに記録されている最後のタイムコードを読み出し、その続きから歩進する。カードに記録している間、タイムコードは記録したクリップの順で連続する。

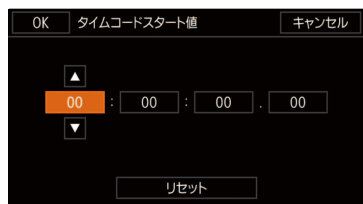


1 歩進モードを選ぶ

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「タイムコードモード」をタッチする。
- ② 「PRESET」Preset」または「REGEN」Regen.」▶ ➡ をタッチする。
Preset : 「タイムコードスタート値」で設定した任意のタイムコードから歩進する。
Regen. : カードに記録されている最後のタイムコードの続きから歩進する。
● 「Regen.」を選んだときは、操作4へ進む。

2 「Preset」を選んだ場合 歩進方法を選ぶ

- ① 「タイムコードラン」を選ぶ。
- ② 「REC RUN」Rec Run」または「FREE RUN」Free Run」▶ ➡ をタッチする。



3 「Preset」を選んだ場合 任意の初期値を設定する

- ① 「タイムコードスタート値」を選ぶ。
 - タイムコードの設定画面が表示され、「時」の桁が選択される。
 - 「リセット」を選ぶと、1つ前の画面に戻り、タイムコードが「00:00:00.00」にリセットされる。「Free Run」を選んでいるときは、リセット後のタイムコードから歩進を続ける。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」をタッチする。
- ② ▲/▼ で数値を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、「分」、「秒」、「フレーム」の数値を選ぶ ▶ 「OK」をタッチする。
 - 「Free Run」を選んでいるときは、この時点で設定値のタイムコードから歩進する。

4 ✕ をタッチする

■ ドロップ／ノンドロップフレームを切り換える

ドロップフレーム（DF）またはノンドロップフレーム（NDF）を切り換えられます。なお、「フレームレート」が「23.98P」のときはNDFに固定され、メニューでDFまたはNDFを選ぶことはできません。



1 DFまたはNDFを選ぶ

- ① 3 記録設定メニュー ▶ 「DF/NDF」を選ぶ。
- ② 「DF」または「NDF」を選ぶ。
- ③ ✕を選ぶ。
 - DFとNDFで画面上のタイムコード表示が次のように異なる。

DFのとき 00:00:00.00

NDFのとき 00:00:00:00

MEMO

- タイムコードのフレームカウントは、「フレームレート」が「23.98P」のときは0～23、それ以外は0～29となります。
- 「Slow & Fastモーション」記録のときは「Free Run」は使用できません。また、プレRECのときは「Free Run」固定となり、カウントアップ方式は設定できません。
- ドロップフレーム、ノンドロップフレームを混在させて録画すると、撮影開始時のタイムコードが不連続になることがあります。
- 「Slow & Fastモーション記録」のときは、HDMI OUT端子にタイムコードを出力できません。
- 「外部記録専用」のときは「Regen.」は設定できません。
- 内蔵2次電池が充電されていれば、バッテリーなどの電源がなくても、フリーランタイムコードは歩進します。ただし、電源ON時に比べて精度が低下します。

ユーザービットを設定する

CAMERA

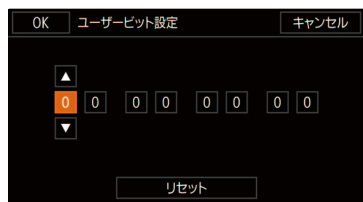
MEDIA

カメラモード

AUTO M

8桁の16進数(0～9、A～Fの英数字)をユーザービットとして設定し、HDMI OUT端子に出力できます。ユーザービットには撮影情報や記録した映像の管理情報など、映像に付加したい情報を自由に設定することができます。また、時刻や日付(年月日)をユーザービットとして出力することもできます。

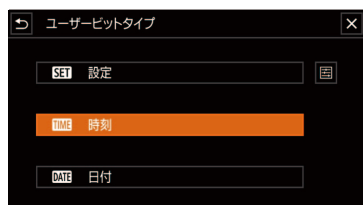
■ 任意の16進数を設定する



1 16進数を設定する

- ① 3 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」を選ぶ。
- ② 「SET 設定」▶ [] を選ぶ。
 - ユーザービットの設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 「リセット」をタッチすると、1つ前の画面に戻り、ユーザービットが「00 00 00 00」にリセットされる。
 - 設定を途中で中止するときは「キャンセル」を選ぶ。
- ③ ▲/▼で数値を選ぶ。
- ④ ③の操作を繰り返して、残りの桁の数値を選ぶ ▶ 「OK」を選ぶ。

■ 時刻または日付を設定する



1 「時刻」または「日付」を選ぶ

- ① 3 記録設定メニュー ▶ 「ユーザービットタイプ」を選ぶ。
- ② 「TIME時刻」または「DATE日付」を選ぶ。
- ③ ✕を選ぶ。

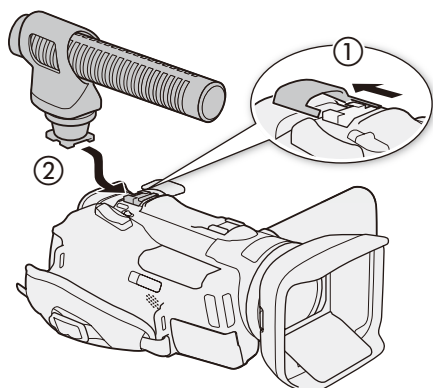
ミニアドバンストシューを使う

CAMERA

MEDIA

本機のミニアドバンストシューに、別売の各種アクセサリ（□ 182）を取り付けられます。取り付け方や使い方については、各アクセサリの説明書もあわせてご覧ください。

■ アクセサリを取り付ける



1 カバーを開く (①)

2 ミニアドバンストシューにアクセサリを取り付ける (②)

- 対応するアクセサリを取り付けると、画面に「S」が表示される。

例 指向性ステレオマイクロホンDM-100を取り付ける場合

MEMO

- 本機には、右のロゴ表記がある「ミニアドバンストシュー」対応アクセサリをご利用ください。従来の「アドバンストアクセサリシュー」対応のアクセサリは取り付けられません。



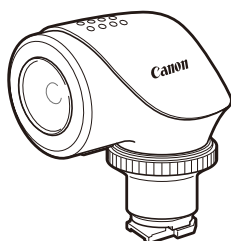
■ ビデオライトVL-5(別売)を使う

CAMERA

MEDIA

カメラモード AUTO M

暗いところで撮影するときに、被写体を明るく照らすことができます。本機に取り付けて、VL-5の電源スイッチを「AUTO」または「ON」にすると、画面に「S」が表示されます。



音声を記録する

CAMERA

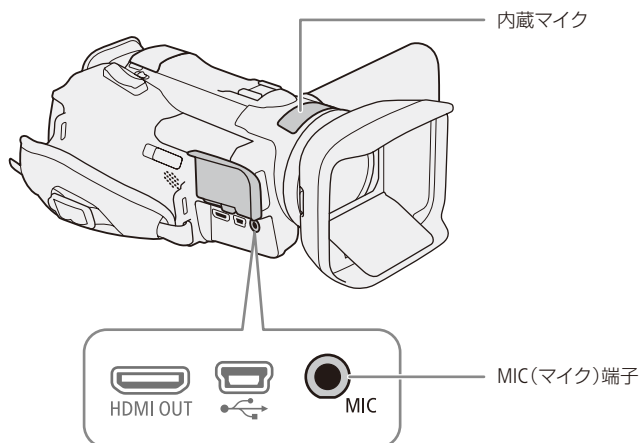
MEDIA

カメラモード

AUTO M

本機では、収録する音声は、内蔵マイク、外部マイク入力（ミニアドバンストシュー／Φ3.5mmマイク）から選択できます。

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生するノイズ音が大きく記録されてしまうことがあります。このようなときは、スポンジやウィンドスクリーン付きの外部マイクの使用をおすすめします。



■ 指向性マイクロホンDM-100(別売)を使う

指向性ステレオマイクロホンDM-100を使用すると、とらえたい音声を確実に記録でき、大切なシーンの言葉を逃しません。DM-100を使用する際は、ウィンドスクリーンを取り付けることをおすすめします。DM-100の説明書もあわせてご覧ください。

MEMO

指向性ステレオマイクロホンDM-100を取り付けたとき

- 撮影中にズーム操作を行うと、レンズの動作音が記録されることがあります
- Wi-Fi機能使用時に通信ノイズが録音されることがあります

■ 市販のマイクを使う

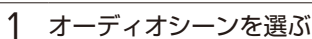
本機には市販のマイクを取り付けることもできます。電源を内蔵したコンデンサーマイクをお使いください。端子の直径が3.5 mmのステレオマイクなら、多くが使用できます。ただし、録音時の音量は内蔵マイクと異なります。

1 市販のマイクをMIC端子につなぐ

MEMO

- 外部マイクを取り付けているとき、Wi-Fi機能使用時に通信ノイズが録音されることがあります。なるべく本機から外部マイクを離して使用してください。

内蔵マイクの音質を撮影場面に合わせて選べます。音にこだわった臨場感あふれる動画を簡単に撮影できます。



- ① FUNC ▶  「オーディオ」をタッチする。
②  ▶ いずれかをタッチする。
● 撮影する場面に合わせて録音設定を選ぶ。

スタンダード	カメラまかせの標準的な設定。
🎵 音楽	音楽の演奏や歌声を豊かに録音。 屋内での演奏や歌声を撮影するとき。
🎪 フェスティバル	屋外での音楽をより自然に録音。 屋外での音楽イベントを撮影するとき。
🗣️ スピーチ	声の集音力を高めて録音。 スピーチをしている人などを撮影するとき。
👥 ミーティング	複数の声を聴き取りやすく臨場感豊かに録音。 会議の様子を撮影するとき。
🌲 森と野鳥	自然の音の広がり感を鮮明に録音。 森や野鳥を撮影するとき。
🔊 ノイズカット	風切音や自動車の走行音を低減して録音。 風の強い海辺や騒音の多い所で撮影するとき。
🎛️ カスタム*	音質を自由に設定するとき。

* カスタムを選ぶと、以下のメニューで音質を細かく設定できます。
「内蔵マイクアッテネーター」(00 89)、「内蔵マイクウィンドカット」(00 89)、「内蔵マイク周波数特性」(00 90)、「内蔵マイク指向性」(00 90)、「音声リミッター」(00 91)、「音声コンプレッサー」(00 91)

	JSD スタANDARD	🎵 音楽	🎪 フェスティバル	👤 スピーチ
マイクレベル	🔊 マニュアル 70	🔊 マニュアル 70	🔊 マニュアル 70	🔊 マニュアル 86
内蔵マイク アッテネーター	OFF 切	OFF 切	OFF 切	OFF 切
内蔵マイク ウィンドカット	H オートハイ	L オートロー	L オートロー	H オートハイ
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル	LHB 低高域強調	NORM ノーマル	MB 中域強調
内蔵マイク指向性	NORM ノーマル	ワイド	ワイド	モノラル
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入
音声コンプレッサー	L ロー	L ロー	L ロー	OFF 切

	ミーティング	森と野鳥	ノイズカット	カスタム
マイクレベル	M マニュアル 94	M マニュアル 80	M マニュアル 70	A オート/ M マニュアル
内蔵マイク アッテネーター	OFF 切	OFF 切	OFF 切	OFF 切
内蔵マイク ウィンドカット	H オートハイ	H オートハイ	H オートハイ	H オートハイ/ L オートロー  / OFF 切 
内蔵マイク周波数特性	MB 中域強調	LC 低域カット	LC 低域カット	NORM ノーマル/ LB 低域強調/ LC 低域カット/ MB 中域強調/ LHB 低高域強調
内蔵マイク指向性	 ワイド	 ワイド	 モノラル	 モノラル/ NORM ノーマル/  ワイド
音声リミッター	ON 入	ON 入	ON 入	ON 入/ OFF 切
音声コンプレッサー	H ハイ	L ロー	OFF 切	ハイ/ ロー/ OFF 切

MEMO

- 「カスタム」は撮影モードが **AUTO** のときは設定できません。「カスタム」に設定したあと撮影モードを **AUTO** に切り換えると、オーディオシーンは「**スタンダード**」に戻ります。
- 「音楽」の音の抑揚（大きい音は大きく、小さい音は小さく）をより忠実に記録したいとき、マイクレベルを調整することをおすすめします。
- リニアリティをさらに忠実に再現したいときは、オーディオシーンの「カスタム」で「音楽」と同じ設定にして、「音声コンプレッサー」のみを「切」に設定することをおすすめします。

録音レベルを調整する

FUNCメニューを使用して録音レベルを調整します。



1 録音レベルを選ぶ

- ① FUNC ▶ 🎵「オーディオ」をタッチする。

2 🎧A (オート)または🎧M (マニュアル)をタッチする。

- 🎧A (オート)を選んだときは操作4へ進む。
- 🎧M (マニュアル)を選んだときは、調整用の◀/▶が表示される。



3 録音レベルを調整する

- ◀または▶をタッチして調整する。
- レベルメーターの表示が-18dB (-20dBのひとつ右隣) より右が時々点灯する状態を目安に調整する。

4 ✕をタッチする。

MEMO

- レベルメーターの「0」の位置が赤く表示されているときは、音がひずむことがあります。
- マイクレベルを調整したり、🎵オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクアッテネーター」を「入」にしたりしているときは、ヘッドホンで音量を確認することをおすすめします (📖 93)。

内蔵マイクのアッテネーターを使う

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO** M

大音量の音声がひずまないように、内蔵マイクの信号に対しアッテネーター（20 dB）を使用します。MIC端子へ外部マイクが接続されていないときに設定できます。

1 「オーディオシーン」で「🎵 カスタム」を選ぶ（📖 86）



2 内蔵マイクアッテネーターを選ぶ

- ① 🎵1 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクアッテネーター」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。

- ON** 入 常にアッテネーターが働き、音の強弱をより忠実に記録できる。
- OFF** 切 常にアッテネーターは動かない。

3 ✕をタッチする

内蔵マイクウィンドカットを使う

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO** M

屋外で撮影するときに風の影響を受けて発生する、「ポコポコ」というノイズ音を自動的に低減します。なお、その際、風の音と一緒に低音の一部も低減されますので、風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときには、「切」を選びます。MIC端子へ外部マイクが接続されていないときに設定できます。

1 「オーディオシーン」で「🎵 カスタム」を選ぶ（📖 86）



2 内蔵マイクウィンドカットを選ぶ

- ① 🎵1 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイクウィンドカット」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。

- H** オートハイ 風の音の低減効果が大きい。低音も軽減する。
- L** オートロー 風の音の低減効果が小さい。低音はほとんど軽減しない。
- OFF** 切 風の音や低音を低減しない。

3 ✕をタッチする

内蔵マイクの周波数特性を選ぶ

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

収録する音に合わせて最適特性で音声を記録できます。MIC端子へ外部マイクが接続されていないときに設定できます。

1 「オーディオシーン」で「♪c カスタム」を選ぶ (86)



2 内蔵マイク周波数特性を選ぶ

- 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイク周波数特性」をタッチする。
- いずれかを選ぶ ▶ **×**をタッチする。

- NORM** ノーマル 最も使用頻度が高く、バランスのとれた録音ができる。
- LB** 低域強調 低域を強調し、迫力ある録音ができる。
- LC** 低域カット 風雑音や自動車走行音などの低域の環境音を低減する。
- MB** 中域強調 人の声を中心に録音する。
- LHB** 低高域強調 コンサートなど音楽を録音するときに、音のメリハリを向上させる。

内蔵マイクの指向性を切り換える

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

内蔵マイクの指向性を切り換えることで、正面の音に重点をおいて周囲のノイズを少なくしたり、音の広がりを強調したりすることができます。MIC端子へ外部マイクが接続されていないときに設定できます。

1 「オーディオシーン」で「♪c カスタム」を選ぶ (86)



2 内蔵マイク指向性を選ぶ

- 1 オーディオ設定メニュー ▶ 「内蔵マイク指向性」をタッチする。
- いずれかを選ぶ ▶ **×**をタッチする。

- 2ch MONO** モノラル マイク正面の音声を重点的に記録するモノラル録音。
- NORM** ノーマル ワイドとモノラルの中間。標準的なステレオ録音。
- 2ch WIDE** ワイド 音の広がりを強調したステレオ録音。臨場感を出したいときに。

■ 音声リミッター

急に大音量の入力があったときに、音がひずまないように入力レベルを下げる機能です。マイクレベルがマニュアル(88)のときに使用できます。内蔵マイクを使用するときは操作1から、MIC端子を使用しているときは操作2から行います。

1 「オーディオシーン」で「**カスタム**」を選ぶ (86)

2 **オーディオ**で**M**を選ぶ (88)



3 音声リミッターを選ぶ

- ① **オーディオ設定メニュー** ▶ 「音声リミッター」をタッチする。
- ② 「**ON (入)**」を選ぶ。
- ③ **X**をタッチする。

■ 音声コンプレッサー

音の強弱を補正することで、大きめの音でも強弱を残しながら、聴き取り易くする機能です。内蔵マイクを使用するときは操作1から、MIC端子を使用しているときは操作2から行います。「音声リミッター」が「入」のときに設定できます。

1 「オーディオシーン」で「**カスタム**」を選ぶ (86)

2 音声コンプレッサーを選ぶ



- ① **オーディオ設定** ▶ 「音声コンプレッサー」をタッチする。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**をタッチする。

- H/ハイ** 音の強弱をより平たんにして録音。会議など、声の大きさが異なる複数の人を撮影するときに効果的。
- L/ロー** 音の強弱を明瞭に録音。音量が大きめの演奏などを撮影するとき。レベルメーターが一番右端を表示し続けるようなときに効果的。
- OFF 切** 会議や演奏の撮影以外では「切」にする。

外部マイクにアッテネーターを使う

大音量の音声はひずまないように、MIC端子やミニアドバンストシューに取り付けた外部マイクの信号に、アッテネーター（20 dB）を使用します。



1 MICアッテネーターを選ぶ

- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「MICアッテネーター」または「マイクアッテネーター」をタッチする。
- ② いずれかを選ぶ ▶ **X**をタッチする。

ON 入 アッテネーターが常に働き、音の強弱をより忠実に記録できる。

OFF 切 アッテネーターは常に働かない。

外部マイクのローカットを使う

外部マイク使用時、屋外で撮影するときには発生する風の音や、低い音を低減します。風の影響を受けない場所で撮影するときや、低音まで収録するときは「切」を選びます。



1 MICローカットを選ぶ

- ① 2 オーディオ設定メニュー ▶ 「MICローカット」をタッチする。
- ② **ON** (入)を選ぶ ▶ **X**をタッチする。

ヘッドホンを使う

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO

M

撮影時や再生時にヘッドホンで音声を聞くことができます。

■ ヘッドホンで音声を聞きながら撮影／再生する

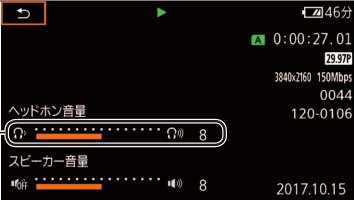
ヘッドホンを（ヘッドホン）端子に接続して、ヘッドホンで撮影や再生される音声をモニターできます。

	1 ヘッドホン音量を調整する ① 2* オーディオ設定メニュー ▶ 「ヘッドホン音量」をタッチする。 * メディアモードのときは「1」 ② またはをタッチして調整する。 ● メーターを左右にドラッグしても調整できる。	
	2 タッチする ● 調整した位置で音量が固定される。	

■ 再生中にヘッドホン音量を調整する

CAMERA

MEDIA

  	1 再生中 音量を調整する ① 画面上をタッチして、操作ボタンを出す。 ② /をタッチする。 ③ ヘッドホン音量のまたはをタッチして音量を調整する。	
---	---	--

ご注意

ヘッドホンを使うときは、音量を一度下げてください。

カラーバー／テストトーンを記録する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

テレビや外部モニターの色や明るさの調整用に、カラーバーを出力／記録することができます。また同時に1kHzのテストトーンを出力／記録することもできます。カラーバーとテストトーンは次の端子にも出力されます。

	カラーバー	1 kHzテストトーン
HDMI OUT端子	●	●
Ω(ヘッドホン)端子	—	●

カラーバーを記録する

出力／記録するカラーバーは、SMPTE準拠とARIB準拠のいずれかを選べます。



- ① ③ 記録設定メニュー ▶ 「カラーバー」をタッチする。
② 「SMPTE」または「ARIB」をタッチする。
 - 画面にカラーバーが表示される。
③ ✕ をタッチする。
 - RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーを記録できる。

MEMO

- プレ記録中や記録中に「SMPTE」と「ARIB」を変更することはできません。

テストトーンを記録する

テストトーンのレベルは、接続する機器に合わせて、「-12dB」、「-18dB」、「-20dB」から選べます。



- ① ③ 記録設定メニュー ▶ 「1 kHzトーン」をタッチする。
② 「-12dB -12dB」、「-18dB -18dB」、「-20dB -20dB」「OFF 切」のいずれかを選ぶ。
③ ✕ をタッチする。
 - 選択したレベルのテストトーンが出力される。
 - RECボタンを押して撮影を開始すると、カラーバーとテストトーンを記録できる。

プレ記録を行う

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

プレ記録モード (PRE REC) では、RECボタンを押して撮影を開始する約3秒前からの映像と音声を記録することができます。

初期設定では、アサインボタン3(📖 13、102)に「PRE REC」が割り当てられていますので、PRE RECを使うときは、このボタンを押して操作します。

	1 PRE RECボタンを押す ① 画面に🔴が出る。 解除するとき もう一度PRE RECボタンを押す。	
	2 押す ● ボタンを押す3秒前からの映像が記録される。	

撮
影

MEMO

- PRE RECの設定直後や撮影終了後から約3秒以内に撮影を始めると、3秒前からの映像は記録されません。

PRE RECが解除される場合

- カメラモード切り換えスイッチを操作したとき。
- メニューを表示したとき。
- 撮影モード (📖 71)、ホワイトバランス、ルック (📖 80)の設定を変更したとき。

プレ記録中のタイムコード

- タイムコードの記録は、撮影開始操作からプレ記録時間分さかのぼった時点から行われる。
- Free Run(フリーラン)で記録される。
- Rec Run(レックラン)またはRegen.(リジェネ)に設定しているときにプレ記録モードにすると、強制的にFree Runに設定される。
- プレ記録モードを解除すると、元のカウントアップ方式に戻る。

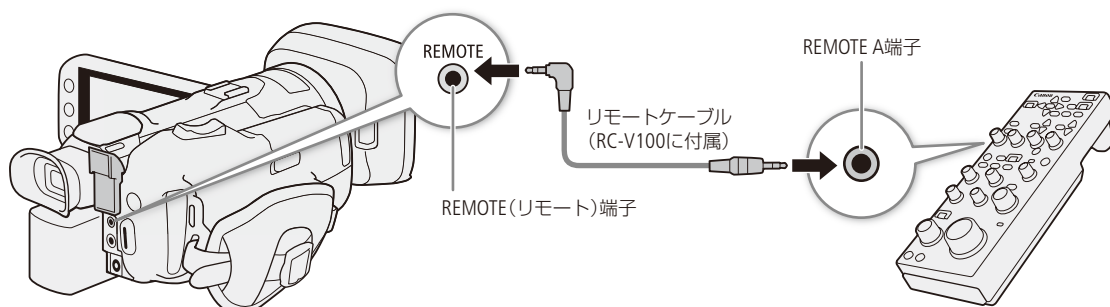
RC-V100(別売)でリモート撮影する

CAMERA

MEDIA

カメラモード **AUTO M**

本機のREMOTE端子 (13) にリモートコントローラー RC-V100(別売) を接続すると、リモートで操作できます。電源の入/切やメニュー操作に加えて、撮影時は、アイリス、シャッタースピードなどのカメラ設定ができます。接続のしかたやRC-V100の詳細については、RC-V100の説明書をご覧ください。



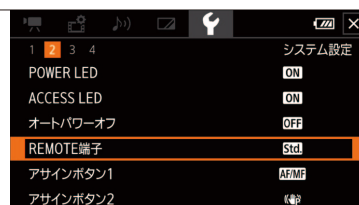
1 POWER(電源)スイッチをOFFにして、RC-V100を本機につなぐ



2 POWER(電源)スイッチをCAMERAにする

3 RC-V100を有効にする

- ① ② システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」をタッチする。
- ③ 「RC-V100 RC-V100(REMOTE A)」 ▶ **X** をタッチする。



MEMO

本機で動作しないボタン/ダイヤル

- CUSTOM PICT.ボタン
- KNEE POINTダイヤル
- SHARPNESS LEVELダイヤル
- MASTER PEDESTALダイヤル
- AGCボタン
- KNEE SLOPEダイヤル
- WHITE BALANCE R/Bダイヤル
- AUTO IRISボタン
- AUTO KNEEボタン
- BLACK GAMMA LEVELダイヤル
- MASTER BLACK R/Bダイヤル
- CANCELボタン

GPSレシーバー GP-E2を使う

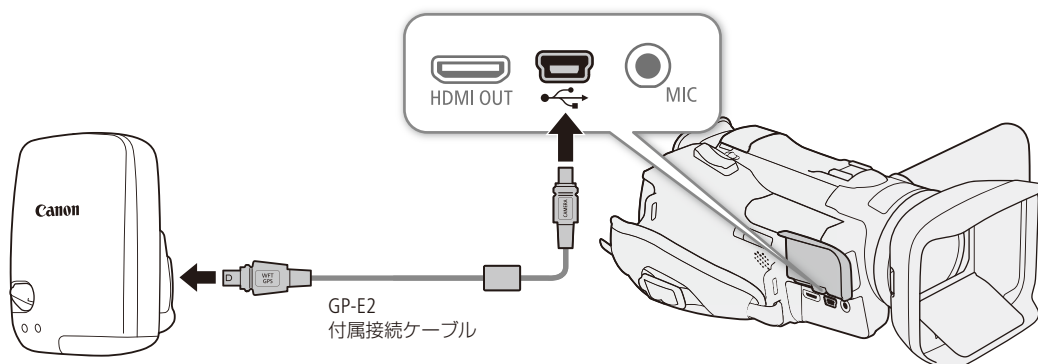
CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

本機のUSB端子(12)にGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続して撮影すると、クリップや静止画にGPSから取得した経度、緯度、標高、協定世界時(UTC)など(以下「GPS情報」)を記録できます。GPS情報の記録の有無は、クリップ情報画面で確認できます(112)。GP-E2の取り付け方や詳細についてはGP-E2の説明書をご覧ください。



本機とGPSレシーバー GP-E2を接続するときは、GP-E2付属のケーブルで接続してください。なお、GP-E2を本機に取り付けるときは、GP-E2付属の携帯用ケースに入れて、グリップベルトへの取り付け、または腰への取り付けをおすすめします。

日時を自動的に設定する

GPSから取得した時刻情報を使って本機の日時を自動的に設定できます。



- ① 4 システム設定メニュー ▶ 「GPS自動時刻設定」をタッチする。
- ② 「ON 自動更新」▶ ✕をタッチする。
 - 以降、本機を起動後、最初に時刻設定可能な衛星捕捉状態になったときに日時を自動設定する。
 - GPS自動時刻設定が有効のときは 1 システム設定メニュー ▶ 「日付／時刻」を変更できません。

ご注意

- 国や地域によっては、GPSの使用などが規制されていることがありますので、お使いになる際は国や地域の法令等の規制にしたがってください。旅行など、国外で使用するときは特に注意してください。
- 電子機器の使用が制限されている場所での使用には十分注意してください。
- GPS機能を使って撮影した静止画や動画に記録されるカメラの位置情報は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのためGPS機能を使ってカメラの位置情報が記録されている静止画、動画、GPSログファイルを他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載したりするときは、十分注意してください。
- 本製品を磁石やモーターなどの強力な磁気を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。

MEMO

- 本機では、GP-E2の機能、「自動時刻設定」の「今すぐ実行」、「位置情報の更新間隔」、方位情報（電子コンパス）には対応していません。
- 動画撮影中と、ブラウザーリモート（ 141）が「ON」のときは、時刻設定を行いません。
- 電源を入れ換えたときや、長時間電源スイッチを切ったときは、GPS衛星からの信号を受信するのに時間がかかることがあります。
- 動画に記録されるGPS情報は、撮影開始時点の位置情報です。
- HDMI OUT端子に接続したケーブルを、GPSレシーバーの近くに配置しないでください。GPS情報に影響することがあります。

4 カスタマイズ

よく使う機能を設定する 100

アサインボタンの
機能を変更する 102

メニューデータの
保存と読み出し 104

よく使う機能を設定する

CAMERA

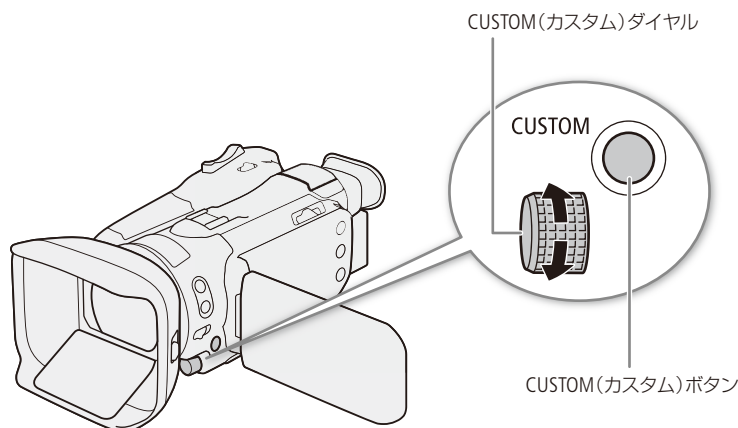
MEDIA

カメラモード

AUTO M

CUSTOMダイヤル&ボタン

よく使う機能を選んで設定しておく、その機能を簡単に切り換えられます。割り当てる機能はメニューまたは専用メニューで設定します。



機能を割り当てる

メニューで割り当てる



1 機能を選ぶ

- ① システム設定メニュー ➡ 「CUSTOMダイヤル&ボタン」をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。

設定した機能を解除するとき

- ②で **OFF** (切) をタッチする。
- ③ **X** をタッチする。

2 割り当て可能な機能と操作

機能	CUSTOMボタン	CUSTOMダイヤル
Tv / Av / M	撮影モードが M のとき、シャッタースピード、絞り値、ゲインを切り換える。	撮影モードが Tv または Av のときにシャッタースピード／絞り値を調整する。 撮影モードが M のときは、CUSTOMボタンで選んだ項目の値を調整する。
AGCリミット	AGCリミットのON/OFFを切り換える。	AGCリミットがONのとき、AGCリミット値を調整する。
露出補正	AEロックのON/OFFを切り換える。	AEロックがONのとき、露出補正値を調整する。

専用メニューで設定する

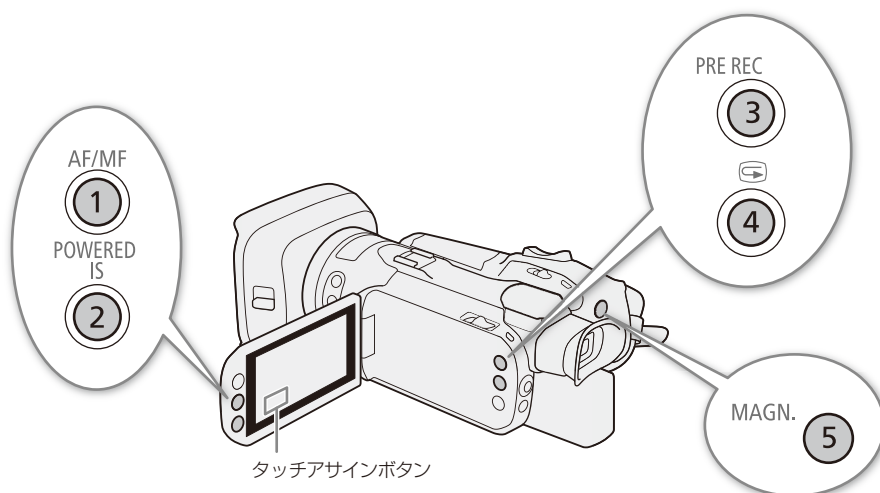
	1 長押しする ① CUSTOMボタンを長押しする（約1秒）。
	2 機能を選ぶ ① CUSTOMダイヤルを回して、いずれかの機能を選ぶ。 ② CUSTOMボタンを押す。 設定した機能を解除するとき ①で OFF を選択する。
	3 機能を調整する 100ページの手順2を行う。

アサインボタンの機能を変更する

CAMERA

MEDIA

カメラ本体に5個のアサインボタンと、画面のタッチ操作で行うタッチアサインボタンがあり、使用頻度の高い機能を割り当てて、より使いやすくカスタマイズすることができます。



アサインボタンの番号やボタン名、初期設定は次のとおりです。

ボタン名	初期設定
アサインボタン1	AF/MF AF/MF
アサインボタン2	POWERED IS パワードIS
アサインボタン3	PRE REC プレREC
アサインボタン4	REC REVIEW レックレビュー
アサインボタン5	MAGN. 拡大表示
タッチアサインボタン	Photo

アサインボタンには次の機能を割り当てることができます。

機能名	内容
強制逆光補正	強制逆光補正の入／切を切り換える。
フェイスオンリー AF	フェイスオンリー AFの入／切を切り換える。
フォーカスガイド	フォーカスガイドの入／切を切り換える。
WB 優先WB	優先ホワイトバランスの入／切を切り換える。
AF/MF AF/MF	AF(オートフォーカス)とMF(マニュアルフォーカス)を切り換える。
POWERED IS	パワードISの入／切を切り換える。
PRE REC	PRE RECの入／切を切り換える。
REC REVIEW レックレビュー	直前に撮ったクリップを再生する。
MAGN. 拡大表示	拡大表示の入／切を切り換える。
PHOTO Photo	静止画を記録する
OFF 切	機能割り当てなし。

機能を変更する

例：アサインボタン5に「強制逆光補正」を割り当てる場合



1 機能を割り当てる

- ① MENUボタンを押しながらアサインボタン5を押す。
● アサインボタン5に割り当てる機能選択画面が表示される。
- ② 「 強制逆光補正」を選ぶ ▶  をタッチする。

アサインボタンを使う

必要なときに、機能を割り当てたアサインボタンを押して使用する。

MEMO

-  システム設定メニュー ▶ 「アサインボタン1」～「アサインボタン5」または「タッチアサインボタン」で機能を変更することもできます (P.161)。

メニューデータの保存と読み出し

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

FUNCメニューやメニューで行った各種の設定情報（設定データ）をSDカードに保存できます。設定データは、必要に応じて読み出して再利用できます。設定データの保存や読み出しは、カードBのみ行えます。

設定データをカードに保存する



- ① カードスロット⑧に保存先となるカードを入れる。
- ② ④ システム設定メニュー ▶ 「メニュー設定保存⑧」をタッチする。
- ③ 「保存」を選ぶ ▶ 「はい」をタッチする。
 - 現在のメニュー設定が、カードに保存される。
- ④ 「OK」をタッチする。
- ⑤ ✕ をタッチする。

メニューデータをカードから読み込む

カードに保存されている設定データを読み込んで本機に設定します。



- ① カードスロット⑧に読み込み元となるカードを入れる。
- ② ④ システム設定メニュー ▶ 「メニュー設定保存⑧」をタッチする。
- ③ 「読み込み」を選ぶ ▶ 「はい」をタッチする。
 - カードから読み込んだメニュー設定の内容に設定される。
 - 設定データが本機に読み込まれたあと、画面が一度消え、本機が再起動する（メニュー画面は閉じます）。

MEMO

保存されない設定

- ④ システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」で使用するパスワード。

※ 保存した設定データから読み込んだネットワーク設定は、使用する際に再度パスワードの設定が必要です。

5

再生／編集

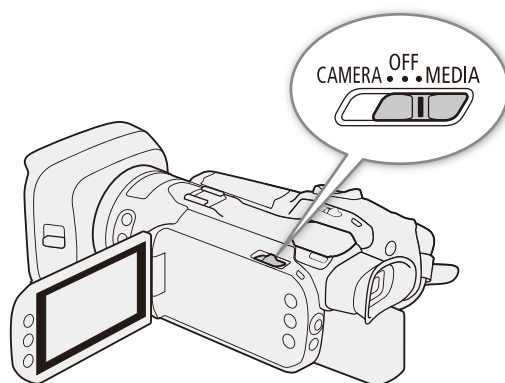
クリップや静止画を再生する 106

クリップを操作する..... 113

クリップや静止画を再生する

CAMERA MEDIA

ここでは、撮影した映像（クリップ）や静止画の再生について説明します。外部のモニターに接続して再生するときは、「接続」をご覧ください（ 123）。



再生インデックス画面

POWER(電源)スイッチをMEDIAにすると、本機が再生モードで起動し、カードに記録されているクリップや静止画のサムネイル（縮小画）がインデックス画面に表示されます。

1 POWER(電源)スイッチを「MEDIA」にする

- インデックス画面が表示される。

2 インデックス画面で見たいクリップを探す



インデックス画面を切り換えるとき



- ① **📺** **(A)** をタッチする
- ② **(A)** **📺** 動画：カードスロットAのカードに撮影したクリップのサムネイルを表示する。
(B) **📺** 動画：カードスロットBのカードに撮影したクリップのサムネイルを表示する。
(A) **📷** 静止画：カードスロットAのカードに撮影した静止画のサムネイルを表示する。
(B) **📷** 静止画：カードスロットBのカードに撮影した静止画のサムネイルを表示する。

クリップや静止画を再生する

インデックス画面で選んだクリップや静止画を、各種操作ボタンを使って再生します。

動画を再生する

1 クリップをタッチする

- 再生が始まる。
- タッチしたクリップの再生が終わると、インデックス画面の最後のクリップまで自動的に再生される。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。操作しないと数秒で消える（再生中のみ）。もう一度タッチしても消える。

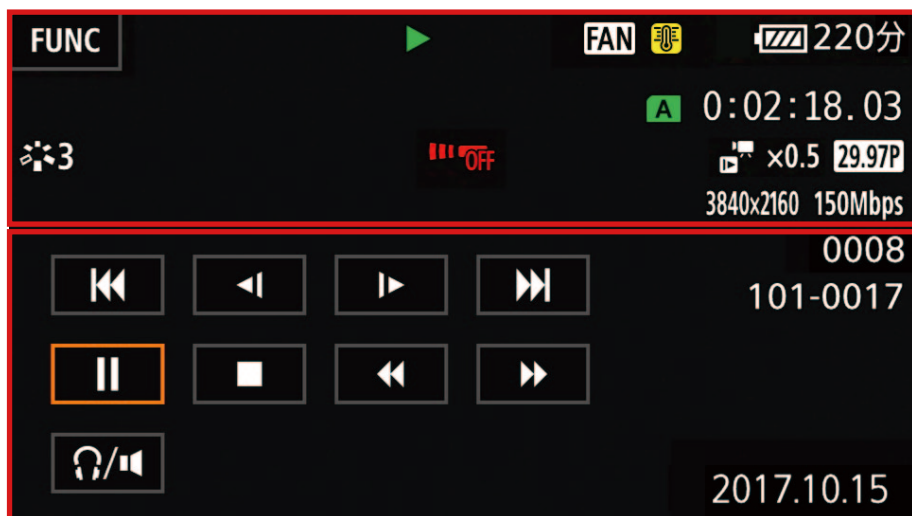
静止画を再生する

1 静止画をタッチする

- 静止画が再生される。
- 再生中、左右にドラッグで次または前の静止画に切り換わる。
- 画面上をタッチすると、操作ボタンが出る。もう一度タッチすると消える。

再生時の画面表示

動画再生時の画面表示



画面上部

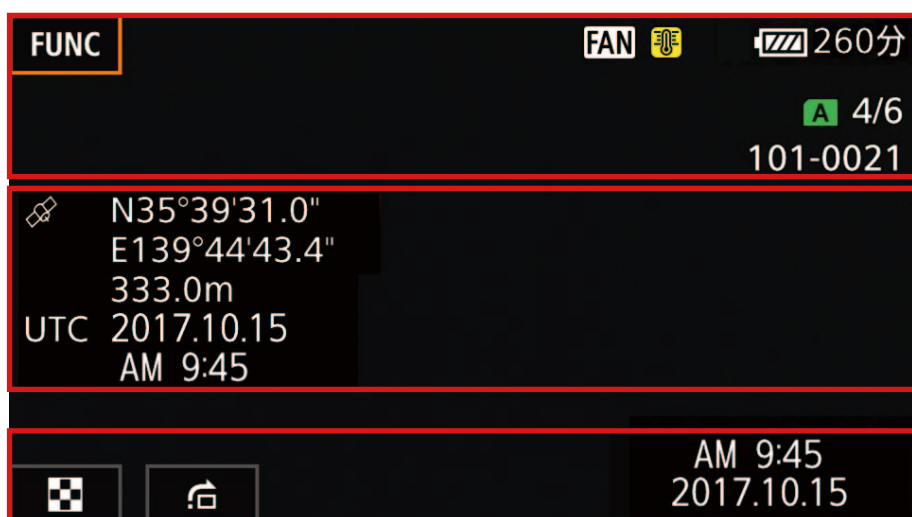
アイコン／表示	説明
FUNC	FUNCメニュー (154)
▶、II、◀/▶、▶▶、◀◀、◀◀/▶▶	再生状況 ▶：再生、II：再生一時停止、◀/▶：逆スロー再生／スロー再生、 ▶▶：早送り、◀◀：早戻し、◀◀/▶▶：コマ戻し／コマ送り
FAN	冷却ファン (171)
ⓘ	高温警告 (46、165) 内部温度が上昇するとb(黄色)が、本機を使い続けてさらに上昇するとⓘ(赤色)が表示される。
🔋	バッテリー残量の目安
❄️2、❄️3	ルック (80)
A 、 B	再生中のカード
0:00:00.00、0:00:00:00	タイムコード (81)
OFF	リモコンセンサー 切 (161)
📺 x0.2、x0.25、x0.4、x0.5、x0.8 📺 x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、 x1200	スロー & ファストモーション記録 (52)
59.94P 、 29.97P 、 23.98P	フレームレート (50)

アイコン／表示	説明
3840x2160、1920x1080、1280x720	解像度 (50)
150Mbps、35Mbps、17Mbps、8Mbps、4Mbps	ビットレート (50)

画面下部

アイコン／表示	説明
⏮、⏭、⏸、■、⏪、⏩、⏮、⏭、⏮、⏭、⏮、⏭	操作ボタン ⏮：前へスキップ、⏭：次へスキップ、⏮：再生、⏭：再生一時停止、 ■：再生停止、⏪：早戻し、⏩：早送り、⏮：逆スロー再生、 ⏭：スロー再生、⏪：コマ戻し、⏩：コマ送り
999999	クリップ番号
999-9999	ファイル番号 (158)
🔊/🔊	ヘッドホン音量／スピーカー音量 (93、159)
2017.10.15	データコード表示 (157)

静止画再生時の画面表示



画面上部

アイコン／表示	説明
[A]、[B]	再生中のカード
999999/999999	表示枚数／全枚数

画面中央

アイコン／表示	説明
緯度、経度、高度、時間、日時	GPS情報（別売のGP-E2を装着して撮影した場合）

画面下部

アイコン／表示	説明
	操作ボタン（ 111） ：インデックス画面 ：ジャンプ
PM 5:30 2017.10.15 F0.0 1/9999	データコード表示（ 157）

さまざまな再生

早送りや早戻し、コマ送り、スキップ再生などの再生方法があります。操作は、再生操作ボタンで行います。

機能	操作	ボタン	説明
早送り* ¹	再生中に	▶▶	押すたびに再生速度が約5倍→約15倍→約60倍に切り換わる。* ²
早戻し* ¹	再生中に	◀◀	
コマ送り	一時停止中に	⏮▶	押すたびに1コマ進む。
コマ戻し	一時停止中に	◀⏭	押すたびに1コマ戻る。
スキップ再生	再生中に	▶▶▶	次のクリップの先頭から再生。
	再生中に	◀◀◀	現在のクリップの先頭から再生。
	再生中に2回押す	◀◀◀	前のクリップの先頭から再生。
スロー再生* ¹	再生中に	▶	押すたびに再生速度が1/4倍→1/8倍に切り換わる。
逆スロー再生* ¹	再生中に	◀	

*¹ 操作中、画面が乱れることがあります。

*² 画面に出る倍速表示は目安です。

MEMO

- さまざまな再生中は音声は聞こえません。
- 早送りや早戻し中に▶ ボタンを押すと、通常の再生に戻ります。

音声を聞く

音声をヘッドホンまたは内蔵スピーカー（モノラル）で聞くことができます。

音量を調整する

- ① 再生中に画面をタッチ ▶ 「🔊/🔊」をタッチする。
ヘッドホン音量とスピーカー音量の調整バーが出る。
- ② 調整バーの左右のマークをタッチするか、バー上を左右にドラッグして調節する
- ③ ⏮をタッチする。



静止画再生時の操作

ボタン	内容
📄 (インデックス画面)	静止画再生中にインデックス画面に切り換える。
📄 (ジャンプ)	ジャンプのつまみを左右にドラッグすると他の静止画にジャンプする。⏮をタッチして終了。

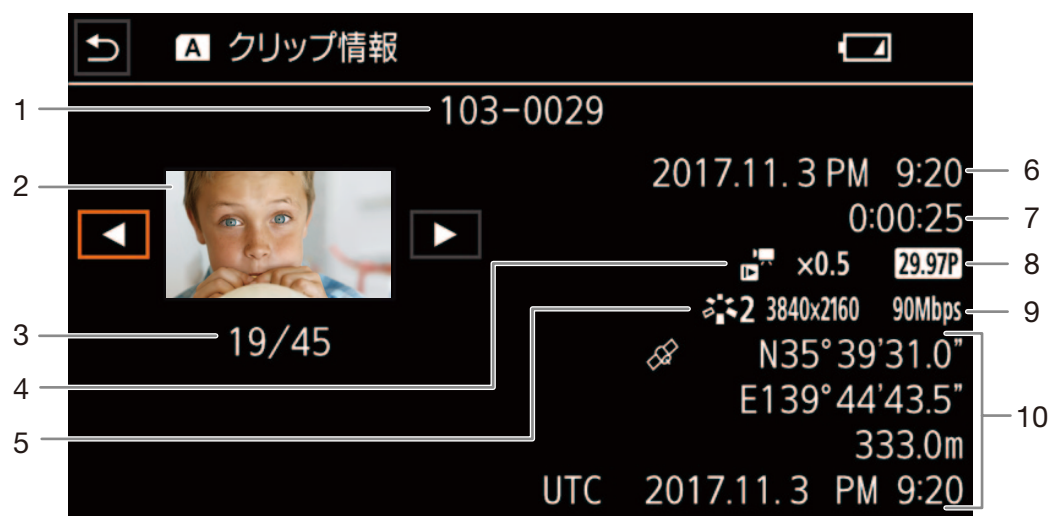
■ クリップの詳細情報を表示する

クリップのインデックス画面で **i** をタッチすると、クリップの詳細情報が表示されます。

① **i** をタッチ ▶ 詳細情報を表示したいクリップを選択する。

● 「クリップ情報」画面が表示される。

② **⏮** を2回タッチする。



1 ファイル番号

2 選択しているクリップのサムネイル (縮小画)

3 クリップ数/総クリップ数

4 Slow & Fastモーション

5 ルック/解像度

6 撮影開始日時

7 撮影時間

8 フレームレート

9 ビットレート

10 GPS情報 (別売のGP-E2を装着して撮影した場合)

ご注意

● ACCESSランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。

- カードカバーを開けない。
- 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
- カメラモードスイッチを切り換えない。

● 他機でカードに記録した動画は本機で再生できないことがあります。

MEMO

- 再生画面の日時表示を消すときは、メニューの「データコード表示」を「切」にします。表示内容を変更することもできます (157)。
- 撮影条件によってはクリップが切り換わる時に映像が止まったり、音声が途切れたりすることがあります。
- 逆スロー再生は、連続したコマ戻しのように再生されます。

クリップを操作する

CAMERA MEDIA

■ クリップや静止画を消去する

不要なクリップや静止画を複数選んでまとめて消去できます。日付を指定して一括消去したり、表示しているカード内のすべてのクリップや静止画を消したりすることもできます。

クリップや静止画を選んで消す

1 消去するクリップまたは静止画を含むインデックス画面に切り換える (📖 106)

特定の日に撮った全クリップを消すとき
左右にドラッグして、消去するクリップの日付を画面に出す。

2 消去を選ぶ

FUNC ▶ 「消去」をタッチする。

3 いずれかの消去方法をタッチする

- 「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の
下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。

特定の日に撮った全クリップまたは静止画を消す
とき* (操作5へ)

クリップまたは静止画を選んで消すとき

すべてのクリップまたは静止画を消すとき



実行

4 クリップまたは静止画を選んで消すとき

- ① 消すクリップまたは静止画をタッチする。
 - クリップまたは静止画が選択され、✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。
- ② ①の操作を繰り返して、消すクリップまたは静止画をすべて選ぶ。

選択をすべて解除するとき
「全解除」 ▶ 「はい」をタッチする。

- ③ [実行] をタッチする。



5 クリップまたは静止画を消す

- ① 「はい」をタッチする。

中止するとき 「中止」をタッチする。一部のクリップまたは静止画は消去される。
- ② 「OK」をタッチする。

再生一時停止中のクリップを消去する



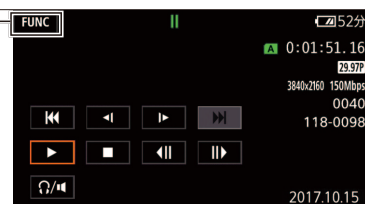
1 クリップ再生中 画面をタッチ ▶ Ⅱをタッチする。

- 再生が一時停止する。



2 消去する

- ① FUNC ▶ 「消去」 ▶ 「はい」をタッチする。
- ② 「OK」をタッチする。



再生中の静止画を消す

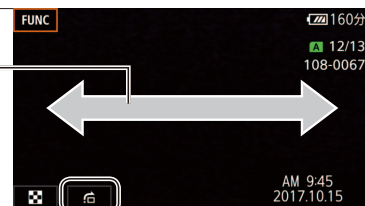
1 静止画再生中 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。



2 消去を選ぶ

- ① FUNC ▶ 「消去」をタッチする。
 - 消去画面が出る。
 - 左右にドラッグで別の静止画を選ぶこともできる。



- ② 「実行」 ▶ 「はい」をタッチする。



3 タッチする

ご注意

- 一度消したクリップまたは静止画は元に戻りませんので、消す前に必ず確認してください。
- 大切なデータは、あらかじめバックアップしてください (P.128)。
- ACCESSランプが点灯しているときは、次のことを必ず守ってください。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。

MEMO

- 他機でプロテクトされている静止画は消せません。
- カードに記録されているすべてのクリップを消して容量を元に戻す場合は、カードを初期化します (P.35)。

■ クリップを切りとる CAMERA MEDIA

指定した位置より前または後ろの部分が消去できます。

	1 クリップを再生する (📖 106)							
⏸	2 再生一時停止にする 画面上をタッチする ▶ ⏸ をタッチする。							
FUNC	3 トリミングを選ぶ FUNC ▶ 「トリミング」をタッチする。							
▶	4 切り取る位置を決める ① 位置を探す ● ▶ をタッチすると再生する。もう一度タッチすると一時停止になる。 <table border="1"> <tr> <td>再生中</td> <td>◀◀ / ▶▶</td> <td>早戻し / 早送り</td> </tr> <tr> <td>一時停止中</td> <td>◀◀ / ▶▶</td> <td>コマ戻し / コマ送り</td> </tr> </table> ② 切りとる位置で一時停止にする。	再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し / 早送り	一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し / コマ送り	
再生中	◀◀ / ▶▶	早戻し / 早送り						
一時停止中	◀◀ / ▶▶	コマ戻し / コマ送り						
	5 クリップを切りとる ① 「トリミング」をタッチする。 ② 「前部を削除」または「後部を削除」をタッチする。 ③ 「新規保存」または「上書き保存」をタッチする。 「新規保存」を中止するとき 「中止」 ▶ 「OK」をタッチする。							

MEMO

- 「前部を削除」でトリミングしたクリップは、インデックス画面ではサムネイルに▶が表示されます。
- トリミングのコマ送りの間隔はフレーム単位、トリミングできる位置はGOP単位 (0.5秒) となります。
- トリミング指定位置がGOP境界でない場合は、指定しているフレームが含まれるようGOP境界でトリミングします。

クリップや静止画をコピーする CAMERA MEDIA

カードに記録されたクリップや静止画を、もう一方のカードへコピーできます。選んだシーンや静止画、すべてのクリップや静止画をまとめてコピーします。日付ごとに作成されたフォルダーごとコピーできます。

クリップをコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 コピー元となるカードのインデックス画面を出す (106)

特定の日に撮ったクリップをコピーするとき
左右にドラッグして、コピーするクリップの日付を画面に出す。

FUNC

A → B

B → A

3 コピーを選ぶ

FUNC ▶ 「コピー [A → B]」または「コピー [B → A]」をタッチする。

4 いずれかのコピー方法をタッチする

- 「101_0501」のような日付ごとに作成されたフォルダー名が表示される。フォルダー名の下4桁はフォルダーが作成された日付を表す。

特定の日に撮った全クリップをコピーするとき

クリップを選んでコピーするとき

すべてのクリップをコピーするとき



5 クリップを選んでコピーするとき クリップを選ぶ

- ① コピーするクリップをすべてタッチする。
 - クリップが選択され、✓が付く。
 - もう一度タッチすると選択が解除される。

選択をすべて解除するとき

「全解除」▶ 「はい」をタッチする。

- ② 「実行」をタッチする。



6 カードにコピーする

- ① 「はい」をタッチする。

中止するとき

「中止」をタッチする。

- ② 「OK」をタッチする。



静止画をコピーする

再生中の静止画をコピーする



1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる

2 静止画を1枚表示する

- カードAまたはカードBに保存されている静止画を選ぶ。

3 画面をタッチする

- 操作ボタンが出る。

FUNC

4 コピーする

- ① FUNC ▶ 「コピー [A ➡ B]」 または 「コピー [B ➡ A]」 をタッチする。
- コピー画面が出る。
 - 左右にドラッグして別の静止画を選ぶこともできる。
- ② 「実行」 ▶ 「はい」 をタッチする。



×

5 タッチする

静止画を選んでまとめてコピーする

	1 カードスロットにコピー先となるカードを入れる
	2 コピー元となるカードAまたはカードBの静止画インデックス画面を出す (106)
	3 コピーを選ぶ FUNC ▶ 「コピー [A ➡ B]」または「コピー [B ➡ A]」をタッチする。
	4 いずれかのコピー方法をタッチする 特定の日に撮った全静止画をコピーするとき 静止画を選んでコピーするとき すべての静止画をコピーするとき 
実行	5 静止画を選んでコピーするとき 静止画を選ぶ ① コピーする静止画をすべてタッチする。 ● 静止画が選択され、✓が付く。 ● もう一度タッチすると選択が解除される。 選択をすべて解除するとき 「全解除」▶ 「はい」をタッチする。 ② 実行 をタッチする。 
	6 カードにコピーする ① 「はい」をタッチする。 中止するとき 「中止」をタッチする。 ② 「OK」をタッチする。 

ご注意

- ACCESSランプが点灯している間は、次のことを必ず守ってください。データを破損する恐れがあります。
 - カードカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - カメラモードスイッチを切り換えない。

MEMO

コピーできない場合

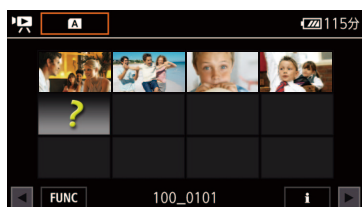
- カードカバーが開いていたり、カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているとき。
- カード内のフォルダー数とファイル数が最大になり、新しくファイル番号が作成できないとき (P.47)。
- 静止画の場合、カードの空き容量が足りなくなると、コピーを中止します。
- 4GB以上の映像ファイル (ストリーム) はSDHCメモリーカードにはコピーできません。

クリップを修復する

CAMERA MEDIA

記録中に停電する、記録中にカードを取り出すなどの原因によって、カードに記録したクリップに異常が発生することがあります。異常が発生したクリップは、修復することによって正常な状態に戻すことができます。

1 クリップのインデックス画面を表示する (P.106)



2 クリップを修復する

- ① ?が表示されているサムネイルをタッチする。
- ② 「データの修復を試みますか」が表示されるので ▶ 「はい」をタッチする。
 - 選んだクリップが修復される。
 - 「データの修復を終了しました。クリップを確認してください」が表示されたら終了。
- ③ 「OK」をタッチする。

MEMO

修復したクリップについて

- インデックス画面では、サムネイルに▶が表示される。
- 0.5秒未満のクリップは消去されることがある。
- 修復を行っても正常な状態に戻らないことがあります。特に、ファイルシステムが壊れているとき、またはカードが物理的に壊れているときは修復できません。
- 修復は、本機で撮影したクリップのみ行えます。また、静止画は修復できません。

.....

6 接 続

出力信号形式 122

外部モニター／レコーダーを
接続する 123

出力信号形式

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

HDMI™ OUT端子からの出力は、記録・再生の映像信号形式とメニューの設定によって切り換わります*。

* 接続した外部モニター的能力によって変わります。

撮影時／再生時の記録信号形式と出力信号形式（本体記録優先時）

記録信号形式		HDMI最大解像度*1	HDMI OUT端子
解像度	フレームレート		
3840 x 2160	59.94P	3840 x 2160	3840 x 2160 YCC 4:2:2 8bit*2
	29.97P 23.98P	1920 x 1080	1920 x 1080 YCC 4:2:2 8bit
1920 x 1080	59.94P 29.97P 23.98P	—	1920 x 1080 YCC 4:2:2 8bit 720 x 480 YCC 4:2:2 8bit*3
1280 x 720	59.94P 29.97P	1920 x 1080	1920 x 1080 YCC 4:2:2 8bit 720 x 480 YCC 4:2:2 8bit*3
		1280 x 720	1280 x 720 YCC 4:2:2 8bit 720 x 480 YCC 4:2:2 8bit*3

*1  表示設定メニュー ➤ 「HDMI最大解像度」の設定。

*2 フレームレートが「59.94P」のときは、YCC 4:2:0 8bit。

*3 フレームレートが「59.94P」のときのみ。

撮影時の記録信号形式と出力信号形式（外部記録専用時）

本体／外部記録*1	外部記録信号形式	HDMI OUT端子
外部記録専用（HDMI）	3840 x 2160 59.94P YCC420 8bit	3840 x 2160 YCC 4:2:0 8bit
	3840 x 2160 29.97P YCC422 8bit	3840 x 2160 YCC 4:2:2 8bit
	1920 x 1080 59.94P YCC422 10bit	1920 x 1080 YCC 4:2:2 10bit
	1920 x 1080 29.97P YCC422 10bit	1920 x 1080 YCC 4:2:2 10bit

*1  記録設定メニュー ➤ 「本体／外部記録」の設定。

外部モニター／レコーダーを接続する

CAMERA

MEDIA

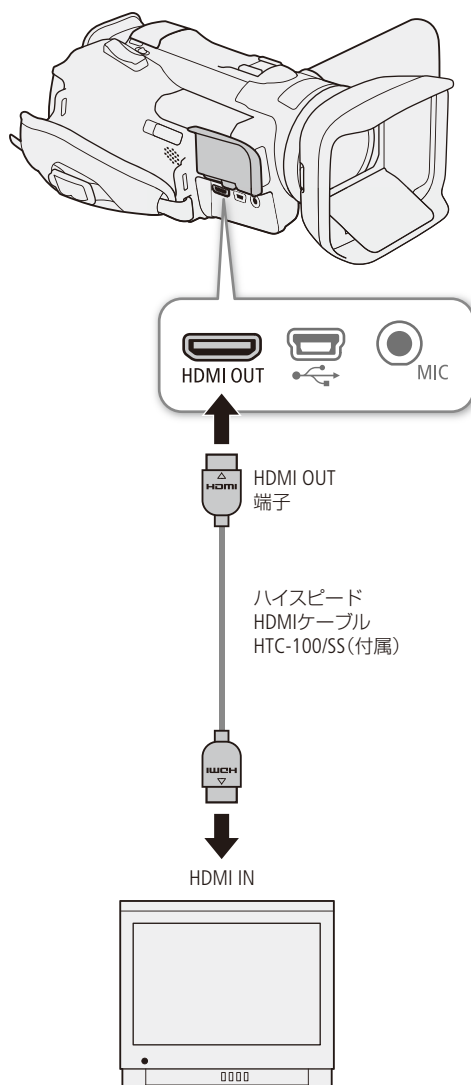
カメラモード

AUTO

M

撮影・再生映像を外部モニターに表示するときは、外部モニターに応じて使用する端子を決めて本機と外部モニターを接続したあと、使用する端子の出力信号形式をメニューで設定します（参考▶「出力信号形式」(□ 122)）。

■ 接続のしかた

接
続

MEMO

- ACアダプターを使って、コンセントにつないで使うことをおすすめします。
- 本機とテレビなどの外部モニターをハイスピードHDMIケーブルで接続して、解像度「3840x2160 (150 Mbps)」フレームレート「59.94P」(□ 50)の映像を出力するには、4K/60Pに対応したテレビなどの外部モニターが必要です。

■ 外部レコーダーを接続して映像を記録する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

HDMI端子に接続した外部レコーダーに記録するときは、あらかじめメニューで設定します。レコーダーの機能・操作については、レコーダーの説明書などをご覧ください。



1 外部記録を設定する

- ① 1 記録設定メニュー ▶ 「本体／外部記録」をタッチする。
- ② 「外部記録専用 (HDMI)」を選んでタッチする。
- ③ ➡ をタッチする



2 フレームレートを設定する

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「外部記録信号形式」をタッチする。
- ② いずれかの信号形式をタッチする。
- ③ ✕ をタッチする。

MEMO

- 接続するレコーダーによっては、設定した記録信号形式で記録できないことがあります。
- 本機と外部レコーダーを接続後、必ずためし撮りをして正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 2 記録設定メニュー ▶ 「記録コマンド」を「入」にして、本機と記録コマンドに対応した他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作 (RECボタンの操作) と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。「記録コマンド」を「入」にすると、2 システム設定メニュー ▶ 「オートパワーオフ」は使用できません。

外部記録専用時のタイムコード

- 「Preset」で記録される。
- 「Regen.」に設定しているときに外部記録専用にすると、強制的に「Preset」に設定される。
- 本体記録優先にすると、元のタイムコードモードに戻る。

出力端子を選択する

HDMI OUT端子を使用すると、映像と音声をデジタル信号で出力することができます。出力にタイムコード (81) や画面表示 (47) を重畳*できます。音声は2チャンネル、リニアPCM(16ビット、48kHz)で出力されます。



- ① 1 表示設定メニュー ▶ 「出力端子」をタッチする。
- ② 「HDMI (HDMI)」をタッチする。

HDMI OUT端子の出力モードを設定する



1 HDMI OUT端子の出力モードを選ぶ

- ① 1 表示設定メニュー ▶ 「HDMI最大解像度」をタッチする。
- ② 「3840×2160」、「1920×1080」または「1280×720」を選ぶ



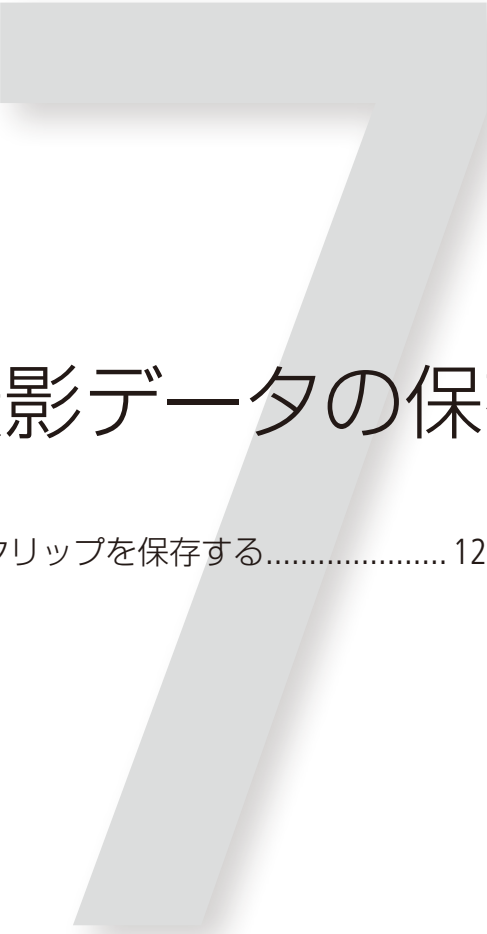
2 カメラモードのとき 必要に応じて、タイムコードの重畳を有効にする

- ① 2 記録設定メニュー ▶ 「HDMIタイムコード」をタッチする。
- ② **ON** (入) ▶ をタッチする。

MEMO

- HDMI OUT端子は出力専用です。他の出力端子と接続しないでください。故障の原因となります。
- DVI対応モニターとの接続は保証していません。
- モニターによっては正しく表示されないことがあります。
- 記録設定メニューの「記録コマンド」と「HDMI タイムコード」を「入」にして、本機と他機をHDMI OUT端子でつなぐと、本機の撮影／撮影一時停止操作 (RECボタンの操作) と連動して、他機の記録／記録一時停止を行うことができます。タイムコードも重畳されます。
- 次の場合、HDMI OUT端子にタイムコードは重畳されません。
 - メディアモードのとき。
 - SD出力 (720x480)時。
 - Slow & Fastモーション記録時

.....



撮影データの保存

クリップを保存する..... 128

クリップを保存する

CAMERA MEDIA

ソフトウェアData Import Utilityを使うと、クリップをパソコンに取り込むことができます。ソフトウェアのダウンロードや最新の情報については、以下のPIXELA社ホームページをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/index_c.html

その他のお問い合わせについては、キヤノンお客様相談センターをご利用ください。

ソフトウェアData Import Utilityを使ってできること

- SDカードリーダーを使って、クリップをパソコンに取り込む。
- リレー記録 (□ 51) によって分割されたクリップを結合する。
- 4GB (□ 45) ごとに分割されたクリップを結合する。

インストールする前に

ソフトウェアをインストールする前に、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル) *をご覧くださいのうえ、Data Import Utilityでできることの詳細と動作環境をご確認ください。

* ダウンロードしたソフトウェアの圧縮ファイルに含まれる[Manual]フォルダをご覧ください。

インストールと使いかた

Data Import Utilityのインストール手順や使いかたの詳細については、Data Import Utilityの取扱説明書 (PDFファイル)をご覧ください。

ご注意

- ソフトウェア Data Import Utilityで、カードリーダー／パソコンのカードスロットを使用してクリップをパソコンに取り込む前に、他社製の編集用ソフトウェアなどでカード内のファイルを参照したり操作したりしないでください。Data Import Utilityでクリップをパソコンに取り込めないことがあります。

ネットワーク

ネットワークの接続設定をする... 130

ネットワーク機器で
リモート撮影する 141

クリップをFTPで転送する 150

ネットワークの接続設定をする

Wi-Fi を使って本機をネットワークに接続すると、以下のネットワーク機能を使用することができます。ここでは、ネットワークの接続設定のしかたについて説明します。ネットワークへの接続は、各ネットワーク機能を有効にしたときに行われます。ネットワークの接続設定の詳細は、「Wi-Fiで接続する」(131)で説明します。

ネットワーク機能と接続方式

機能名	概要	Wi-Fi		📖
		インフラストラクチャー ^{*1}	カメラアクセスポイント ^{*2}	
ブラウザーリモート	ネットワーク機器から本機をリモート操作して撮影する。	—	●	141
FTP転送	撮影したクリップをネットワーク機器にFTP ^{*3} で転送する。	●	—	150

^{*1} アクセスポイントを介してWi-Fiに接続する通信方式。

^{*2} 本機がアクセスポイントの働きをして、Wi-Fi機器と直接接続する方式。

^{*3} ネットワークに接続した機器間でファイルを転送するための通信規約。File Transfer Protocolの略。

ネットワーク機能を使用する前に

本書は、ネットワーク機器およびWi-Fiのアクセスポイントの設定が完了し、正しく動作していることを前提に説明しています。アクセスポイントの設定方法については、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。

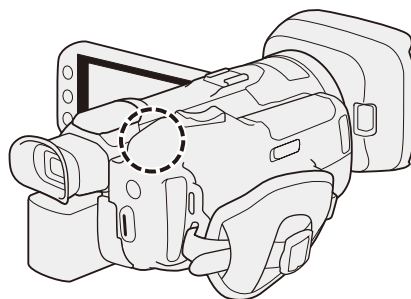
- ネットワークの接続の設定を行うには、ネットワーク (Wi-Fi) の設定方法に関する十分な知識が必要です。ネットワークの設定方法については、弊社ではサポートできませんので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- 送信するデータは暗号化されません。
- ネットワーク機能を使用するためにネットワークに対して誤った設定を行った結果生じた損害、および本ネットワーク機能を使用した結果生じた損害については、弊社ではその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- セキュリティで保護されていないWi-Fiやネットワーク環境に接続することは避けてください。お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。

MEMO

- Wi-Fi接続するときや接続中は、内蔵ワイヤレスアンテナ付近を手などで覆わないでください。通信電波がさえぎられ、Wi-Fiの通信状態が悪くなります。
- HDMI OUT端子に接続したケーブルをワイヤレスアンテナの近くに配置しないでください。通信に影響することがあります。
- ネットワーク機能使用中は、カードカバーを開けないでください。



ワイヤレスアンテナ (内蔵)

■ Wi-Fiで接続する

Wi-Fi接続について

本機は、Wi-Fi認証を受け（右のロゴマークがある）、無線LAN規格IEEE802.11a / b / g / nに対応するアクセスポイント*1や携帯端末などと接続できます。Wi-Fiへの接続方法については、お使いのWi-Fiネットワーク環境によって仕様や制限事項が異なります。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する恐れがあります。十分、ご注意ください。



Wi-Fiに接続するには、「カメラアクセスポイント」と「インフラストラクチャー」の2つの方式があり、ネットワーク機能によって使用する方式が異なります。インフラストラクチャー方式のときは、さらに4つの設定方法を選択できます。

カメラアクセスポイント

屋外などアクセスポイントのない環境で、カメラとWi-Fi対応機器を直接接続します。カメラがアクセスポイントの働き*1をするので、Wi-Fi対応機器側はアクセスポイントに接続するのと同じ操作で接続できます。

インフラストラクチャー

WPS(プッシュボタン方式)*2：

パスワードなどの入力が必要な最も簡単な設定方法です。この方法で接続するときは、お使いのアクセスポイントがWPS用のボタンを備えていることを、あらかじめご確認ください。



WPS(PINコード方式)*2：

WPS用のボタンを備えていないアクセスポイントでも、PINコードを使って設定できるものがあります。接続は自動的に行われますが、アクセスポイントの設定画面を操作して、WPS機能を動作させるための一定の知識が必要です。詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。

アクセスポイント検索：

WPSに対応していないアクセスポイントに接続するときなどに、周囲のアクセスポイントを検索して設定できます。

マニュアル：

ステルス機能を有効にしているアクセスポイントに接続するときや、さまざまな設定を手動で行うとき、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。

*1 カメラとWi-Fi対応機器間の通信を行うのみで、市販のアクセスポイントの機能とは異なります。

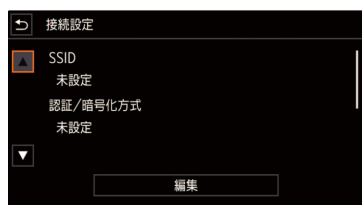
*2 WPSは、Wi-Fi Protected Setupの略で、アクセスポイントへの接続とセキュリティの設定を簡単に行うための規格です。

ご注意

- IEEE802.11a/nの5 GHz帯の電波を使用する場合、地域によっては屋外、またはカメラアクセスポイントでの使用に法律上の制限が定められていることがあります。使用可能地域をご確認ください(178)。

カメラアクセスポイントで接続する

カメラアクセスポイントの設定（SSID、パスワードなど）は、初期状態であらかじめ設定されているので、すぐにWi-Fi対応機器から接続できます。設定を変更するときは、以下の手順で操作します。



1 カメラアクセスポイントを選ぶ

- ① 1システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
 - 4つの接続設定を登録できる。▲/▼をタッチして画面を切り換える。
- ② 「接続設定」▶ 接続設定先を選んで、横の [] をタッチする。
- ③ 「編集」をタッチする。
- ④ 「カメラアクセスポイント」をタッチする。



2 SSIDを入力する

- ① 「編集」をタッチする。
- ② SSIDを入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(□ 133)
 - 入力したSSIDは接続時に必要となるため、メモしておく。
- ③ 「OK」をタッチする。



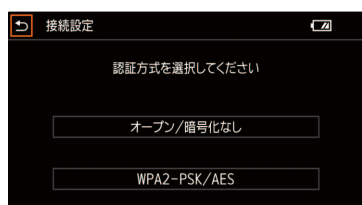
3 周波数を選ぶ

- ① 「5 GHz」または「2.4 GHz」をタッチする。



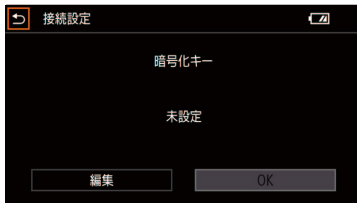
4 チャンネルを選ぶ

- ① チャンネルを選んで「OK」をタッチする。
 - 操作3で選んだ周波数によって、選択できるチャンネルが異なる。



5 認証方式と暗号化方式を選ぶ

- ① 「オープン/暗号化なし」または「WPA2-PSK/AES」をタッチする。
 - 「オープン/暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。



6 暗号化キーを入力する

- ① 「編集」をタッチする。
- ② 暗号化キーを入力する。

参考 ▶ 「文字入力のしかた」(133)

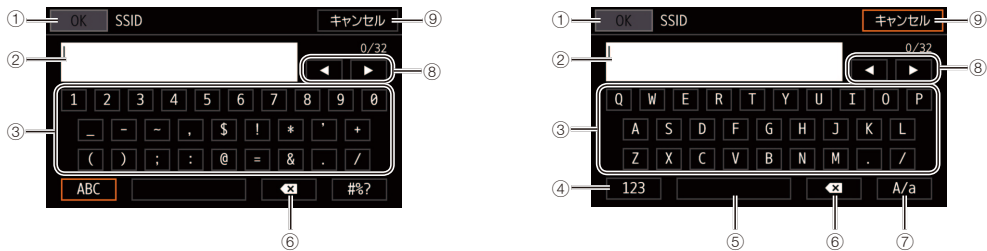
- 入力した暗号化キーは接続時に必要となるため、メモしておく。

- ③ 「OK」をタッチする。

7 TCP/IP設定を行う (134)

文字入力のしかた

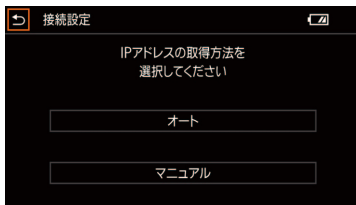
手動で文字入力が必要なとき、キーボードが表示されます。キーボードを操作するときは、タッチパネルで操作してください。



①	OK	入力を決定したあと、キーボードを終了
②	—	入力エリア
③	—	文字入力キー
④	123 / ABC	アルファベット／数字の切替
⑤	—	スペースキー
⑥	< X	バックスペースキー（カーソルの左の文字を削除）
⑦	A/a / #/? / *&+	アルファベット入力設定時：大文字／小文字の切替 数字入力設定時：記号入力
⑧	◀ ▶	カーソル移動キー
⑨	キャンセル	入力を中止

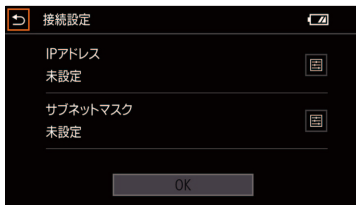
TCP/IPを設定する

ここでは、はじめにTCP/IPの設定を行い、次にネットワーク設定を保存します。TCP/IPの設定内容の詳細については、ネットワーク管理者、またはネットワークに詳しい方にお問い合わせください。



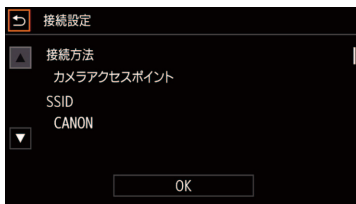
1 IPアドレスの取得方法を選ぶ

- ① いずれかを選んでタッチする。
オート： 自動で設定する。
マニュアル： IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを手動で設定する。
● 「オート」を選んだときは操作3に進む。



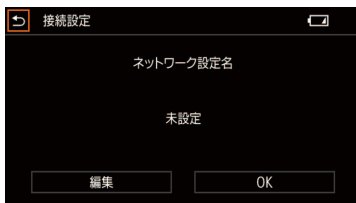
2 マニュアルを選んだとき IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する

- ① 各項目横の [] をタッチする。
- ② ▲/▼をタッチして数字を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、4つの数字をすべて設定する。
- ④ 「OK」をタッチする。
● IPアドレスが設定される。
- ⑤ IPアドレスと同じ要領でサブネットマスクとデフォルトゲートウェイ、優先DNSサーバー、代替DNSサーバーを入力する。
● カメラアクセスポイント (132) で接続するときは、IPアドレスとサブネットマスクを入力して操作3に進む。



3 設定内容を確認する

- ① ▲/▼をタッチして確認画面を切り換え、設定内容を確認する。
- ② 「OK」をタッチする。

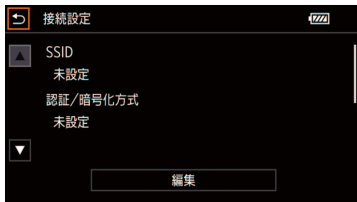


4 ネットワーク設定名を入力する

- ① 「編集」をタッチする。
● キーボード画面が表示される。
- ② ネットワーク設定名を入力する。
【参考】▶「文字入力のみ」(133)
- ③ 「OK」をタッチする。
- ④ 「OK」をタッチする。
- ⑤ 「OK」をタッチする。
● ネットワークの設定が保存される。選んだ設定番号にネットワーク設定が保存されている場合、新しい設定で上書きされる。

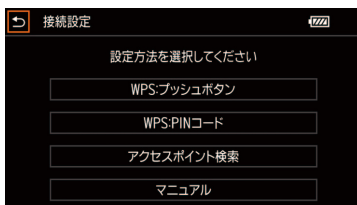
インフラストラクチャーで接続する

インフラストラクチャー方式で接続するにはアクセスポイントが必要です。



1 インフラストラクチャーを選ぶ

- ① ④システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
 - 4つの接続設定を登録できる。▲/▼をタッチして画面を切り換える。
- ② 「接続設定」 ▶ 接続設定先を選んで、横の [] をタッチする。
- ③ 「編集」をタッチする。
- ④ 「インフラストラクチャー」をタッチする。



2 Wi-Fi設定方法を選ぶ

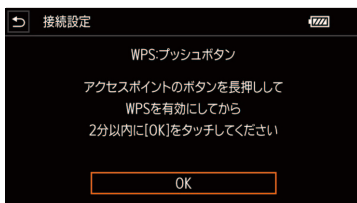
- ① いずれかを選ぶ ▶ ジョイスティックを押す。
 - 各設定方法のページを参照して、以降の操作を行う。
 「WPS：プッシュボタン」(134)
 「WPS：PIN コード」(136)
 「アクセスポイント検索」(137)
 「マニュアル」(138)

WPSで接続する

WPSのプッシュボタン方式、またはPINコード方式で接続します。プッシュボタン方式では、アクセスポイントのWPS用ボタンを押すことで、カメラとアクセスポイントを簡単に接続することができます。PINコード方式では、カメラの画面に表示される8桁の識別番号 (PINコード) を、アクセスポイントの設定画面に設定して接続します。周囲に複数のアクセスポイントが稼働している状況でも、比較的接続しやすい方式です。

プッシュボタン方式の場合

1 本機 「WPS：プッシュボタン」をタッチする



2 アクセスポイント WPS用のボタンを長押ししてWPSを起動する

- 長押しの時間はアクセスポイントによって異なります。必ず、アクセスポイントの説明書をご覧ください。操作を行い、アクセスポイントがWPS起動状態になったことを確認してください。
- 操作3に進む。

PINコード方式の場合



1 本機 「WPS：PINコード」をタッチする

- 7～8秒すると画面にPINコードが表示される。



2 アクセスポイント WPS(PINコード方式)の設定画面*に、操作1で表示されたPINコードを入力してWPSを起動する

- * 多くのアクセスポイントは、Webブラウザから設定します。
- アクセスポイントの操作については、アクセスポイントの説明書をご覧ください。

3 本機 操作2から2分以内に「OK」をタッチする

- アクセスポイントへの接続を開始する。
- 「接続中です」の画面が出ているときに「中止」をタッチすると、接続を中止する。
- 接続が完了すると、IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

4 本機 TCP/IP設定を行う (134)

MEMO

- 周囲に複数のアクセスポイントが稼働していると、WPS(プッシュボタン方式)でうまく接続できないことがあります。このときは、WPS(PINコード方式)、またはアクセスポイント検索で接続してください。

アクセスポイントを検索して接続する

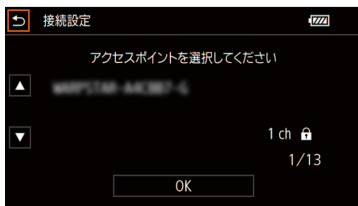
カメラが周囲のアクセスポイントを自動的に検出します。検出されたアクセスポイントの一覧から接続するアクセスポイントを選び、パスワードを入力して接続します。設定されているパスワードについては、アクセスポイントの説明書をご覧ください。ネットワークの管理者にお問い合わせください。

アクセスポイントを選ぶ



1 「アクセスポイント検索」をタッチする

- 周囲のアクセスポイントが検索され、見つかったアクセスポイントのSSIDと暗号化状態などの情報が表示される。



2 アクセスポイントを選ぶ

- ① ▲/▼をタッチして、接続するアクセスポイントのSSIDを選ぶ。

3 暗号化キーを入力する

- アクセスポイントの認証方式／暗号化方式が「オープン／暗号化なし」のときは、この操作は不要。
- アクセスポイントの認証方式に従って、以降の操作を行う。

「オープン／WEP」、または「共有キー」の場合

「マニュアルで接続する」(138)の操作5～6と同じ要領で設定する。

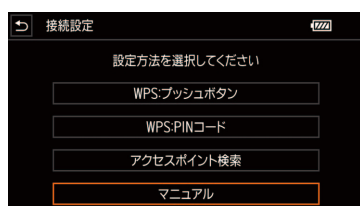
「WPS-PSK、WPA2-PSK」の場合

「マニュアルで接続する」(138)の操作6と同じ要領で設定する。

4 TCP/IP設定を行う (134)

マニュアルで接続する

マニュアルでアクセスポイントへの接続設定をします。画面の案内に従って、ウィザード形式で操作します。



1 「マニュアル」をタッチする



2 SSIDを入力する

① 「編集」をタッチする。

② SSIDを入力する。

参考 ▶「文字入力のしかた」(133)

③ 「OK」をタッチする。



3 認証方式を選ぶ

① 「オープン」、「共有キー」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」のいずれかをタッチする。

4 暗号化方式を選ぶ

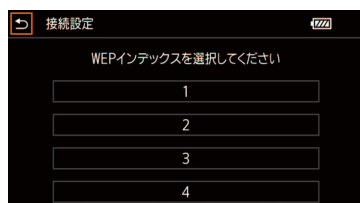
「オープン」を選んだとき

① 「WEP」または「暗号化なし」をタッチする。

● 「暗号化なし」を選んだときは、操作7に進む。

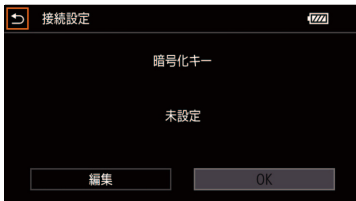
「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選んだとき

① 「TKIP」または「AES」をタッチする。



5 暗号化方式が「WEP」または「共有キー」のとき

WEPインデックスを選んでタッチする



6 暗号化キーを入力する

- ① 「編集」をタッチする。
 - キーボード画面が表示される。
- ② 暗号化キーを入力する。

参考 ▶「文字入力のしかた」(133)
- ③ 「OK」をタッチする。
 - IPアドレスの取得方法選択画面が表示される。

7 TCP/IP設定を行う (134)

MEMO

パスワードに使用可能な文字と文字数

パスワード	ASCII文字列*1	16進数*2
64ビットWEP	5文字	10文字
128ビットWEP	13文字	26文字
AES / TKIP	8 ～ 63文字	64文字

*1 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Zおよび記号。

*2 0 ～ 9、a ～ f、A ～ F。

■ ネットワーク接続設定を選ぶ

保存されているネットワーク接続設定から1つを選んで、ネットワークへの接続を簡単に行うことができます。ネットワークの新規設定を行った直後は、新規設定したネットワーク設定番号が自動的に選択されるため、この操作を行う必要はありません。

1 接続設定先を選ぶ

- ①  システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「接続設定」 ▶ 接続設定先を選んでタッチする。
- ③  をタッチする。

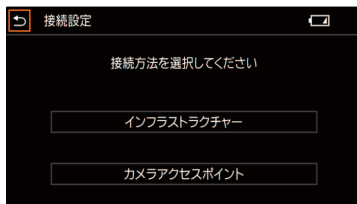
■ ネットワーク接続設定を変更する

現在、選んでいるネットワーク接続設定の内容を必要に応じて変更できます。設定変更には、Wi-Fiやネットワークに関する知識が必要です。



1 接続設定先を選ぶ

- ①  システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「接続設定」 ▶ 接続設定先を選んでタッチする。



2 接続設定を変更する

- ①  ▶ 「編集」をタッチする。
- ② 「インフラストラクチャー」、または「カメラアクセスポイント」をタッチする。

「インフラストラクチャー」を選んだとき

「インフラストラクチャーで接続する」( 135)の操作2と同じ要領で設定する。

「カメラアクセスポイント」を選んだとき

「カメラアクセスポイントで接続する」( 132)の操作2～7と同じ要領で設定する。

ネットワーク機器でリモート撮影する

CAMERA

MEDIA

カメラモード

AUTO M

Wi-Fiで本機をネットワークに接続すれば、ネットワークに接続した機器*1のWebブラウザから本機をリモートで操作して、動画を撮影することができます（ブラウザリモート）。

撮影時は、ライブビューによる画角の確認、さまざまな撮影設定*2が可能なほか、カードやバッテリーの残量、タイムコードの確認を行うことができます。

*1 OS、Webブラウザなどの情報については、キャノンのホームページなどでご確認ください。

*2 ホワイトバランス、ゲイン、シャッタースピード、NDフィルター、アイリス、フォーカス、ズームなどが調整可能。

リモート設定を行う

ネットワークに接続した機器のWebブラウザからブラウザリモートにアクセスするときには使用するポート番号とカメラIDを設定します。

ポート番号：HTTPプロトコルのポート番号。通常は80を使用し、必要に応じて変更します。

カメラID：ビデオカメラ固有の文字列を設定しておく、ブラウザリモートの画面にカメラIDが表示されるので、制御対象のビデオカメラを識別することができます。



1 「ブラウザリモート設定」を選ぶ

- ① 1システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「ブラウザリモート設定」をタッチする。



2 ポート番号を選ぶ

- ① 「Port No.」横の [] をタッチする。
 - Port No.の設定画面が表示され、一番左の桁が選択される。
 - 設定の途中で中止するときは「キャンセル」を選ぶ。
- ② ▲/▼ をタッチして数字を選ぶ。
- ③ ②の操作を繰り返して、5つの数字をすべて設定する。
- ④ 「OK」をタッチする。



3 カメラIDを入力する

- ① 「カメラID」横の [] をタッチする。
- ② 8文字以内のカメラIDを入力する。
【参考】▶ 「文字入力のしかた」(133)
- ③ 「OK」をタッチする。
- ④ ⏪ ▶ ✕ をタッチする。

■ ブラウザーリモートを起動する

携帯端末などネットワークに接続した機器*1のWebブラウザ *2からブラウザーリモートを起動します。現在のリモート設定の詳細は、🔧システム設定 ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「情報表示」で確認できます (□ 161)。

*1 カメラアクセスポイントで接続した機器を含む。OS、Webブラウザなどの情報については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

*2 JavaScript (ジャバスクリプト)に対応し、Cookie(クッキー)が有効になっている必要があります。

1 本機 ネットワークの接続設定を選ぶ (□ 140)

- Wi-Fiのカメラアクセスポイント (□ 132)を使用する。



2 ブラウザーリモートを選ぶ

- ① 🔧システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「機能」 ▶ 「ブラウザーリモート」をタッチする。
- ③ 🔄をタッチする。
 - 本機がカメラアクセスポイントのときは、AP Remoteが表示される。
 - ブラウザーリモートの接続準備が完了すると、AP Remoteまたは品番Remoteが黄色から白色に変わる。



3 本機 必要に応じて、ブラウザーリモートのネットワーク設定を確認する

- ① 「ネットワーク設定」 ▶ 「情報表示」をタッチする。
現在のネットワーク接続設定やブラウザーリモート設定などが表示される。必要に応じて▲/▼をタッチする。
- ② Wi-Fiのカメラアクセスポイントを使用するときはカメラのSSIDを確認する。ブラウザーリモートを起動するときはURLが必要になるのでカメラのURLを確認する。
- ③ 🔄 ▶ ✕をタッチする。

4 携帯端末など カメラに接続する

- ① Wi-Fiのネットワーク設定を行い、カメラに接続する。
 - Wi-Fiのときは、操作3で確認したブラウザーリモートのSSIDを使用して接続する。

5 携帯端末など Webブラウザを起動する

6 携帯端末など 操作3で確認したURLを入力して、ブラウザーリモートを起動する

- ブラウザーリモートの画面が表示される。
- ブラウザーリモートに接続中は、ブラウザーリモート画面の●●●●●が、順に点灯→順に消灯を繰り返す。

7 携帯端末など カメラIDを確認し、言語を変更する

- ① 表示されたカメラID がリモート撮影に使用するカメラのIDであることを確認する。カメラIDを設定していないときは、カメラIDは表示されない。
- ②  を押して表示されるリストから、ブラウザーリモートの表示言語を選ぶ。



8 本機 撮影後、ブラウザーリモートを終了する

- ①  1システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「機能」 ▶ 「切」をタッチする。
 - 画面の  AP Remote または  品 Remote が消え、ブラウザーリモートが無効になる。

MEMO

- カラーバーを表示中は、ライブビュー映像が表示されません。
- ネットワーク環境や通信状態によっては、ライブビューの表示や各種設定などに遅延が発生することがあります。
- ビデオカメラに「Camera ID」を設定していない場合、カメラIDはブラウザーリモート画面に表示されません。
- ブラウザーリモートで選んだ言語と異なる言語をパソコンなどで設定している場合は、正しく表示されないことがあります。

リモート撮影する

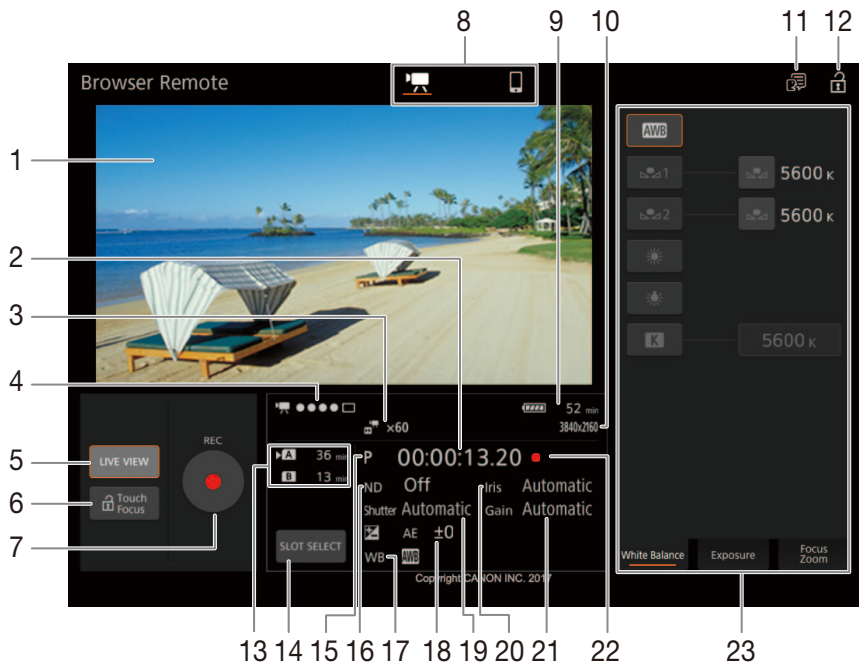
ブラウザーリモートの操作画面には、「詳細操作画面」、「簡易操作画面」があります。

MEMO

- ブラウザーリモートは、マルチタッチ操作には対応していません。

詳細操作画面

タブレットなど画面が比較的大きい携帯端末を使ってリモート撮影するときは、「詳細操作」画面を使えば、ブラウザーリモートで制御可能なすべての操作を行うことができます。撮影時の各設定項目の詳細については、各機能の説明ページをご覧ください。



1 ライブビュー映像表示エリア

- カメラのライブビュー映像を表示する。映像を表示していないときは、カメラID(□ 141)が表示される。「本体記録優先」で「解像度」を「3840x2160」、「フレームレート」を「59.94P」に設定かつ ☒ 表示設定の「出力端子」で「HDMI」、「HDMI最大解像度」を「3840x2160」に設定しているときはライブビュー表示できない。

2 タイムコード*(□ 81)

3 スロー & ファストモーション記録 (□ 52)* / プレ記録 (□ 95)* / 記録コマンド状態* / 同時記録 (□ 51)*

4 ブラウザーリモート接続状態表示*

5 LIVE VIEW(ライブビュー)ボタン

- 押すとライブビュー映像が表示される。

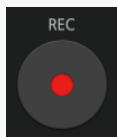
6 Touch Focus(タッチフォーカスロック)ボタン

7 REC(記録開始/停止)ボタン

- 8 画面切り換えボタン
 - (詳細操作画面)、 (簡易操作画面)のいずれかに切り換える。
- 9 バッテリー残量とバッテリー残時間* (47)
- 10 解像度 (50)*
- 11 言語選択
 - 一部の画面やメッセージの表示言語を選ぶ。
- 12 (キーロック) ボタン
 - ブラウザーリモートの操作ボタンをロックする。
 を押すとロックは解除される。本体側の操作はロックされない。
- 13 カードの状態／撮影可能時間
- 14 SLOT SELECT(スロット選択) ボタン (39)
- 15 撮影モード (71)
 - **AUTO** (オートモード) 時はアイコンが表示され、撮影モードを切り換えることはできない。
- 16 NDフィルター (78)
- 17 ホワイトバランス (79)
- 18 AE時の露出補正 (76)
- 19 シャッタースピード (71)
- 20 F値 (71)
- 21 ゲイン (71)
- 22 撮影状態 (47)
- 23 カメラ設定変更エリア／切り換えタブ
 - White Balance (ホワイトバランス)、Exposure (露出)、Focus/Zoom (フォーカス／ズーム) の各調整を切り換える。

* 現在の設定を表示する。ブラウザーリモートで変更することはできない。

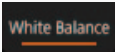
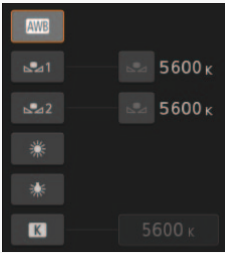
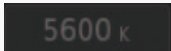
撮影する



1 REC(記録開始／停止)ボタンを押す

- 撮影が開始され、撮影状態表示が「●」に変わる。RECボタン中央の●が赤色に変わる。
- 撮影中は、タイムコードが歩進する。
- 再度、RECボタンを押すと撮影を終了し、撮影状態表示が「■」に変わる。

ホワイトバランスを調整する

	1 White Balanceタブに切り換える
	2 いずれかの設定方法を選ぶ ● 「AWB」、「  」または「  」を選んだとき、以降の操作は不要。
	3  、または  を選んだとき 基準白色を取り込んで、登録する ① グレーカードや白い無地の被写体をモニター画面の中央に写し、「  」をタッチする。 ● 「  」が早く点滅し、点灯に変わったら調整完了。
	4 Kを選んだとき ① 設定方法の右の色温度をタッチする。 ② 色温度を選ぶ。 ③  をタッチする

露出を調整する

Exposureタブに切り替える

	1 Exposureタブに切り換える
---	--------------------

撮影モードを設定する

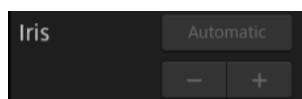
	① 撮影モードボタンをタッチする。 ② いずれかのモードを選ぶ。 ③  をタッチする
---	---

NDフィルターを切り換える



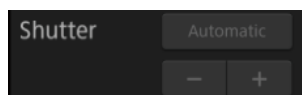
- ① 「-」または「+」をタッチしてNDフィルターを選ぶ。
 - NDフィルターが変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - ND設定値をタッチしてリストから選ぶか、「-」または「+」で調整することもできる。▶ **✕**をタッチする。

絞りを調整する



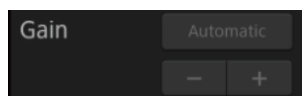
- ① 「-」または「+」をタッチして絞り値を調整する。
 - 絞り値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - 絞り値をタッチしてリストから選ぶか、「-」または「+」で調整することもできる。▶ **✕**をタッチする。

シャッタースピードを調整する



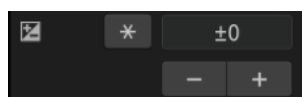
- ① 「-」または「+」をタッチして値を調整する。
 - シャッタースピードの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - シャッタースピードの値をタッチしてリストから選ぶか、「-」または「+」で調整することもできる。▶ **✕**をタッチする。

ゲインを調整する



- ① 「-」または「+」をタッチして値を調整する。
 - ゲインの値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - ゲインの設定値をタッチしてリストから選ぶか、「-」または「+」で調整することもできる。▶ **✕**をタッチする。

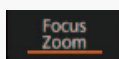
露出を調整する



- ① 「-」または「+」をタッチして値を調整する。
 - 補正値が変更され、タイムコード表示の下に現在の設定が表示される。
 - ***** をタッチすると、露出が固定される。
 - 補正値をタッチしてリストから選ぶか、「-」または「+」で調整することもできる。▶ **✕**をタッチする。

フォーカスを調整する

準備する



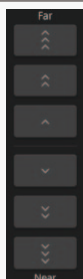
- 1 FOCUS / ZOOMタブに切り換える

マニュアルで調整する



- 1 AFをタッチする

- 2 MF ▶ [X]をタッチする



- 3 いずれかのフォーカス操作ボタンをタッチして、ピントを合わせる

- Nearのボタン（[Near]、[Near]、[Near]）をタッチすると至近方向に調整し、Farのボタン（[Far]、[Far]）をタッチすると無限方向に調整します。
- 調整量はボタンによって異なり、[Near] / [Far] は小、[Near] / [Far] は中、[Near] / [Far] は大です。

デュアルピクセルフォーカスガイドを使う

- 1 マニュアルフォーカス時、「Focus Guide Off」をタッチする

- 2 「On」をタッチする

- 画面にフォーカスガイド枠が表示される。

- 3 [X]をタッチする

AF枠の位置を変更する

ブラウザーリモートのライブビュー表示上でタッチした位置にAF枠を移動させることができます。



- 1 「[Touch Focus]」ボタンがロック解除状態であることを確認する

- 2 ライブビュー表示上で被写体をタッチする

- タッチした位置に、AFモードで選んだオートフォーカス機能に応じたAF枠が表示される。

ズームを調整する



- ① FOCUS / ZOOMタブに切り換える。
- ② ズーム位置選択ボタンをタッチして、ズームを調整する。または、▲をタッチするとT側（望遠）に、▼をタッチするとW側（広角）に調整します。

MEMO

- 低速で操作すると、レンズの動き出しまでに時間がかかることがあります。

簡易操作画面



画面切り換えタブで「📱」を選ぶと表示されます。スマートフォンなど画面が小さい機器を使ってリモート撮影するときに使用します。簡易操作画面では、REC（記録開始／停止）、ズーム、LIVE VIEW（ライブビュー）の入／切、画面切り換え、🔒（キーロック）のみ行うことができます。

クリップをFTPで転送する

CAMERA MEDIA

本機に記録したクリップを、FTPサーバーにまとめて転送できます。以下では、FTPサーバーがあらかじめ起動され、正しく動作していることを前提に説明しています。

FTP転送の準備をする

転送先となるFTPサーバーに接続するための設定や、転送先のフォルダー生成や同名ファイルの扱いなどの詳細設定を行います。設定内容の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。



1 「FTP転送設定」を選ぶ

- ① 1システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」をタッチする。
- ② 「FTP転送設定」をタッチする。



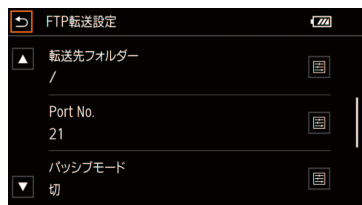
2 FTPサーバー名、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する

- ① 「FTPサーバー」横の [] をタッチする。
- ② FTPサーバー名を入力する。
参考 ▶ 「文字入力のしかた」(133)
- ③ 同様に、FTPユーザー名、FTPパスワード、転送先フォルダーを入力する。



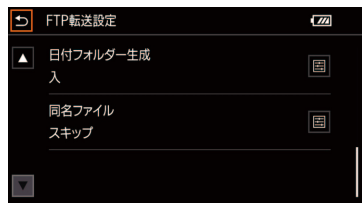
3 ポートNo.を入力する

- ① 「Port No.」横の [] をタッチする。
- ② 141ページの操作2と同じ要領でFTPポートを入力する。
- ③ 「OK」をタッチする。



4 「パッシブモード」を選ぶ

- ① 「パッシブモード」横の [] をタッチして、いずれかを選ぶ。
入： パッシブモードで通信する。ファイアウォールの内側からFTP転送を行うときなどに使用する。
切： アクティブモードで通信する。通常はこのモードを使用する。
- ② [] をタッチする



5 「日付フォルダー生成」を選ぶ

- ① 「日付フォルダー生成」横の [] をタッチする。
- ② 「入」または「切」をタッチする。
 - 「入」にすると、FTPサーバーの転送先フォルダーに日付のフォルダー（「YYYYMMDD ¥HHMMSS」）を自動的に作成し、その中にファイルを転送する。
 - [] をタッチする



6 「同名ファイル」を選ぶ

- ① 「同名ファイル」横の [] をタッチする。
- ② いずれかをタッチする。
 スキップ： 転送先に同じ名前のファイルがあるとき、そのファイルを転送しない。
 上書き： 転送先に同じ名前のファイルがあっても、上書きする。
- ③ ➡ を2回タッチ ➡ ✕ をタッチする。

MEMO

- 現在のFTPサーバー設定とFTP転送設定の詳細は、🔧システム設定メニュー ➤ 「ネットワーク設定」 ➤ 「情報表示」 で確認できます (📖 161)。

クリップをFTPで転送する

クリップを転送する



- ① ネットワークの接続設定を選ぶ (📖 140)。
 - Wi-Fiのインフラストラクチャー (📖 135) を使用する。
- ② 転送するクリップがあるインデックス画面を出す (📖 106)。
- ③ FUNC ➤ 「FTP転送」をタッチする。
- ④ 「選択」、「全クリップ」のいずれかをタッチする。

「選択」を選んだとき

- ① 転送するクリップをタッチする。
- ② ①を繰り返し、転送するクリップをすべて選ぶ。
- ③ 実行をタッチする。
- ⑤ 「はい」をタッチする。
 - FTPサーバーとの接続が完了すると、表示しているインデックス画面内のクリップのファイルが転送される。
- 転送を中止するとき 中止をタッチする。
 - 現在のファイルの転送が終了し、FTP転送が中止される。
- ⑥ 「OK」をタッチする。

ご注意

- ファイル転送中は、次のことを守ってください。通信が中断され、転送先に不要なファイルが残ることがあります。
 - カードスロットカバーを開けない。
 - 電源を切らない。バッテリーなどの電源を取り外さない。
 - 転送先に不要なファイルが残っているときは、内容を十分に確認してから、削除してください。

MEMO

- アクセスポイントの性能や設定、通信状態によっては、ファイルの転送に時間がかかることがあります。

メニュー

FUNCメニューの紹介	154
メニューの紹介	156

FUNCメニューの紹介

撮影時の設定に使用するFUNCメニューと、再生時に様々な編集操作を行うための編集メニューとがあります。初期設定は太字で記載しています。各機能の詳細は、欄のページをご覧ください。

■ FUNCメニュー（カメラモード）

設定項目	内容・設定値	
IRIS(絞り)	F2.8 ～ F11	71
SHTR(シャッタースピード)	「フレームレート」が59.94Pまたは29.97Pのとき 1/8 ～ 1/2000 「フレームレート」が23.98Pのとき 1/6 ～ 1/2000	71
 GAIN (ゲイン)	0.0dB ～ 38.0dB	70
 AGCリミット	M マニュアル	70
 露出補正	タッチ露出：  ノーマル、  ハイライト ゼブラパターン：  切、  70%、  100% ※ AEロック	75
ホワイトバランス*	 オート、  太陽光、  電球、  色温度、  セット1、  セット2	79
強制逆光補正*	 切、  入	77
 フォーカス	A オート、 M マニュアル  (ピーキング)：入、切 ピーキング時白黒：切、入 ピーキング色：レッド、ブルー、イエロー	63
 拡大表示	実行	57
ZOOM ズーム	画面でのズーム操作 REC/STOPボタンによるクリップ撮影／停止 タッチアサイボタンによる静止画撮影  (デジタルテレコン)：入、切	67 68
ルック*	 1 スタンダード、  2 Wide DR、  3 モノクロ	80
 オーディオ	 A オート、  M マニュアル オーディオシーン：  STD スタンダード、  音楽、  フェスティバル、  スピーチ、  ミーティング、  森と野鳥、  ノイズカット、  c カスタム	86

* 選んだ設定値のアイコンが画面に表示される。

■ FUNCメニュー（メディアモード）

内容	📺 インデックス画面	インデックス画面からの再生一時停止中	📖
コピー [A] + [B] [B] + [A]	ある日に撮ったクリップ、選択したクリップ、 全クリップ	—	116
消去	ある日に撮ったクリップ、選択したクリップ、 全クリップ	1クリップ	113
FTP転送		—	150
トリミング	—	●	115

内容	📺 インデックス画面	再生中	📖
コピー [A] + [B] [B] + [A]	ある日に撮った静止画、選択した静止画、 全静止画	1枚	117
消去	ある日に撮った静止画、選択した静止画、 全静止画	1枚	114

MEMO

- 他の機能の設定内容などにより設定できない機能は、灰色で表示されます。

メニューの紹介

各メニューで設定できる項目の機能と設定値について説明します。初期設定は太字で記載しています。メニューの項目は、他の機能の設定状態によっては表示されなかったり、使用できなかったりすることがあります。

カメラ設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
デジタルズーム	OFF 切、30x アドバンスト、300x 300x、2.0x デジタルテレコン デジタルズームの倍率（最高倍率）を選ぶ。 ・デジタルズームの倍率を設定してからズームを使うと、光学ズーム領域を越えた時点で自動的にデジタルズームになる。 ・デジタルズーム領域では映像をデジタル処理するため、拡大するほど映像が粗くなる。 ・メニューの「コンバージョンレンズ」で「WA-U58」を選択しているときは設定できない。 アドバンストズームが設定できないとき ・「解像度」で「3840x2160 (150 Mbps)」を選択しているとき ・「Slow & Fastモーション」で記録速度を「x0.5*」に設定しているとき *「解像度」が「1920x1080 (35 Mbps)」または「1920x1080 (17 Mbps)」かつ「フレームレート」を「59.94P」選択時	— 68
ズームスピードレベル	ハイ 、 ミドル 、 ロー	66
グリップズームスピード	VAR (可変速)、 CONST (固定速) 1 ~ 16(8)	64
リモコンズームスピード	1 ~ 16(8)	66
ハイスピードズーム	ON 入、 OFF 切	65
AFモード	BOOST AFブーストMF、 CONT 連続	58
AF枠サイズ	A オート、 L 大、 S 小	59
AFスピード	ハイ 、 ミドル 、 ロー オートフォーカスの調整速度を選ぶ。	—
AFレスポンス	ハイ 、 ミドル 、 ロー オートフォーカスの応答性を選ぶ。	—
フェイスキャッチ&追尾	ON 入、 OFF 切	60
フォーカスガイド	ON 入、 OFF 切	56
フォーカスP.スピード	ハイ 、 ミドル 、 ロー	—
自動逆光補正	ON 入、 OFF 切	77
オートスローシャッター	ON 入、OFF 切 明るさが不足する場所（暗めの室内など）で撮影する場合、シャッタースピードを自動的に遅くして、より明るい映像を記録する。 ・「フレームレート」が「59.94P」のときは1/30秒までのスローシャッターに設定される。「フレームレート」が「29.97P」のときは1/15秒までのスローシャッターに、「フレームレート」が「23.98P」のときは1/12秒までのスローシャッターに設定される。 ・撮影モードがAUTO (オート) または P (プログラムAE) のときに設定できる。 ・動きのある被写体を撮るとき、尾を引いたような残像が出る場合は、「切」を選ぶ。	—

設定項目	内容・設定値	📖
コンバージョンレンズ	Tele TL-U58、 Wide WA-U58、 OFF 切 別売のテレコンバーター TL-U58やワイドアタッチメントWA-U58を取り付けるときに設定すると、それぞれのアクセサリーに合わせて手ブレ補正のしかた、最至近撮影距離が変わる。最至近撮影距離は、テレコンバーターの使用時においてズーム全域で約130cm、ワイドアタッチメントの使用時において約60cm。 ・テレコンバーター TL-U58を取り付けると約1.5倍の望遠撮影が、ワイドアタッチメントWA-U58を取り付けると約0.8倍までの広角撮影ができる。 ・設定に応じて、画面に表示される距離情報が変更されるのでコンバージョンレンズを装着していない場合には設定を「切」にする。 ・「切」以外に設定すると、 カメラ設定メニュー の「AFモード」は使用できない。	—
手ブレ補正	切 、 スタンダード 、 ダイナミック	69
パワードISボタン	ON 押し続け、 OFF ON/OFF切り換え パワードISボタンの操作のしかたを選ぶ。 押し続け：ボタンを押している間だけ、パワードISが働く。 ON/OFF切り換え：ボタンを押すとパワードISがONになり、もう一度押すとOFFになる。	—
優先WB登録	AWB オート、 太陽光 、 電球 、 K 色温度、 1 セット1、 2 セット2 アサインボタンで優先WBを使用時、設定する項目を選択する。	—
フォーカスリング操作方向	NORM ノーマル、 REV リバース フォーカス調整時、フォーカス／ズームリングの操作方向を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効。	—
フォーカスリング敏感度	ハイ 、 ミドル 、 ロー フォーカス調整時、フォーカス／ズームリングの敏感度を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがFOCUSのときに有効。	—
ズームリング操作方向	NORM ノーマル、 REV リバース ズーム調整時、フォーカス／ズームリングの操作方向を設定する。フォーカス／ズームリング切り換えスイッチがZOOMのときに有効。	—

再生設定メニュー

設定項目	内容・設定値	📖
MP4 データコード表示	OFF 切、 日付	—
カメラ データコード表示	OFF 切、 日付 、 時刻 、 日付&時刻 、 カメラデータ 日付や表示する。静止画のときは日付や時刻を表示する。	—

設定項目	内容・設定値	
本体／外部記録	● 本体記録優先、 HDMI 外部記録専用 (HDMI)	50 123
解像度	3840x2160 (150 Mbps)、1920x1080 (35 Mbps)、1920x1080 (17 Mbps)、1280x720 (8 Mbps)、1280x720 (4 Mbps)	50
フレームレート	59.94P 59.94P、 29.97P 29.97P、 23.98P 23.98P	50
記録先	● 動画記録先 A カードA、 B カードB ● 静止画記録先 A カードA、 B カードB	39
同時記録／リレー記録	● 通常記録、 D 同時記録、 A▶ リレー記録	51
Slow & Fastモーション	OFF、x0.2、x0.25、x0.4、x0.5、x0.8、x2、x4、x10、x20、x60、x120、x600、x1200	52
メモリー残量表示／ メモリー使用量表示	カードの総容量／使用量、動画の記録可能時間*、静止画の記録可能枚数を確認できる。カードのSDスピードクラスも確認できる。 * 記録可能時間は、現在設定している「解像度」を元に算出。	—
初期化 SD	A カードA、 B カードB	35
記録コマンド	ON 入、 OFF 切	123
HDMIタイムコード	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、HDMI信号にタイムコードを重畳します。	—
タイムコードモード	PRESET Preset、 REGEN Regen.	81
タイムコードラン	REC RUN Rec Run、 FREE RUN Free Run	81
DF/NDF	DF DF、 NDF NDF	82
タイムコードスタート値	00:00:00:00 ~ 23:59:59:29	81
ユーザービットタイプ	SET 設定、 TIME 時刻、 DATE 日付 「設定」選択時は、 田 で任意の16進数を設定する。	83
カラーバー	OFF 切、 SMPTE SMPTE、 ARIB ARIB	94
1 kHz トーン	-12dB -12 dB、 -18dB -18dB、 -20dB -20dB、 OFF 切	94
ファイル番号	田 オートリセット、 → 通し番号 クリップや静止画に付けられる番号（ファイル番号）の付け方を選ぶ。撮影したクリップや静止画には連続した番号が自動的に付けられ、カード内のフォルダーに保存される。 田 オートリセット：初期化されたカードに記録する場合、常に100-0001から始まる。カード内にすでにクリップ／静止画が記録されているときは、その続きの番号になる。 → 通し番号：最後に記録したクリップ／静止画の続き番号から始まる。ただし、カード内に記録されているファイル番号のほうが大きいときは、その続き番号になる。パソコンで管理するときなどに便利。通常はこの設定をおすすめします。 フォルダー名 ・フォルダー名の上3桁は100 ~ 999の番号、「_」以下の下4桁は記録した月日を表す。 ・1つのフォルダーには500ファイルまで保存でき、それを超えると自動的にフォルダーが作成される。	—

設定項目	内容・設定値	📖
ファイル番号	ファイル名 ファイル名の上4文字はクリップのときは「MVI_」、静止画のときは「IMG_」の固定文字列、下4桁は固有の番号（0001～9999）。 ファイル番号 ・ファイル番号の上3桁はファイルが格納されているフォルダー名の上3桁（100～999）、下4桁はクリップ／静止画固有の番号（0001～9999）に対応。 ・ファイル番号は、パソコンで見るときのカード内のファイルの場所も表す。12月10日に記録したファイル番号が「100-0006」のクリップ／静止画は、「DCIM ¥100_1210」というフォルダーの中に「MVI_0006.MP4」「IMG_0006.JPG」というファイル名で表示される。	—

■ 🎵 オーディオ設定メニュー

設定項目	内容・設定値	📖
内蔵マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	89
内蔵マイクウィンドカット	H オートハイ、 L オートロー  、 OFF 切 	89
内蔵マイク周波数特性	NORM ノーマル、 LB 低域強調、 LC 低域カット、 MB 中域強調、 LHB 低高域強調	90
内蔵マイク指向性	MONO モノラル、 NORM ノーマル、 WIDE ワイド	90
音声リミッター	ON 入、 OFF 切	91
音声コンプレッサー	H ハイ、 L ロー、 OFF 切	91
MICアッテネーター	ON 入、 OFF 切	92
MICローカット	ON 入、 OFF 切	92
MIC ALCリンク	LINK 連動、 SEP 独立 MIC端子のL/Rチャンネルの録音レベル調整を連動で動作させるか、独立で動作させるかを選ぶ。	
🎧 マイクアッテネーター	ON 入、 OFF 切	92
ヘッドホン音量	  、  Off [0～15(8)]	93
スピーカー音量	  、  [0～15(8)] メディアモード時、スピーカーの音量を調整する。	111
おしらせ音	 大、  小、 OFF 切 「大」または「小」を選ぶと、本機の操作に応じて音が鳴る。 ・プレREC (📺 95)を設定していると、おしらせ音は鳴らない。	—

表示設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
出力端子	OFF 切、 HDMI HDMI	123
HDMI最大解像度	3840x2160、1920x1080、1280x720	125
出力状態	現在のHDMI出力端子の出力状態を確認できる。	—
液晶明るさ調整	＊または＊をタッチして、液晶画面の明るさを調整する。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。	—
液晶バックライト	■■■ 高輝度、■■■ 通常、■■■ 低輝度 バックライトの明るさを3段階で切り換える。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。 ・ビデオライト使用時は「高輝度」は設定できない。	—
VFバックライト	■■■ 高輝度、■■■ 通常 ビューファインダーのバックライトの明るさを2段階で切り換える。 ・記録される映像やテレビで再生する映像の明るさは変わらない。	—
液晶対面ミラー	ON 入、 OFF 切 画面をレンズ側に向けて、被写体に画面を見せながら撮るときなどは「入」にする。	—
オンスクリーン表示	ON 入、 OFF 切 「入」にすると、画面に表示される情報を、本機に接続した画面に表示する。	—
マーカー表示	OFF 切、 EW 水平 (グレー)、 EW 水平 (白)、 EW グリッド (グレー)、 EW グリッド (白) 画面に水平線や格子状の線 (グリッド) を表示する。被写体の水平・垂直を確認しながら撮影できる。 ・水平線やグリッドは、撮影したクリップ／静止画には表示されない。	—
距離単位	m メートル、 ft フィート 以下のときに表示される単位を選ぶ。 ・マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたときの被写体までの距離。 ・GP-E2使用時の標高表示。	—

システム設定メニュー

設定項目	内容・設定値	
言語 	日本語、English 表示されるメニューやメッセージなどの言語を選ぶ。	—
エリア／サマータイム	エリア：🏠 (自宅)、✈️ (旅行先) ＊サマータイム：ON、OFF 住んでいる地域と旅先の地域をそれぞれ設定できる。 ・🏠または✈️を選んだあと、◀または▶をタッチして地域を選ぶ。 ・選んだ地域がサマータイムを導入しているときは＊ (サマータイム) をタッチする。	—
日付／時刻	日付時刻：— 日時スタイル：Y.M.D、M.D.Y、D.M.Y 24H表示：ON、OFF	32

設定項目	内容・設定値	📖
ネットワーク設定	接続設定、機能、ブラウザーリモート設定、FTP転送設定、情報表示 接続設定 インフラストラクチャー方式、カメラアクセスポイント方式の設定・変更を行う。 設定は4つまで保存できる。カメラアクセスポイントの設定 (SSID、パスワードなど)は、初期状態であらかじめ設定されている。 ネットワーク設定名: cameraAP SSID: GX10-xxxx-xx_Canon0C パスワード: 12345678 機能 切、ブラウザーリモート ブラウザーリモート設定 Port No. 1 ~ 65535の数字 (80) カメラID 英数字、記号8文字の文字列 (GX10) FTP転送設定 FTPサーバー 32文字以内の文字列 (未設定) FTP: ユーザー名 32文字以内の文字列 (未設定) FTP: パスワード 32文字以内の文字列 (未設定) 転送先フォルダー 152文字以内の文字列 (/) Port No. 1 ~ 65535の数字 (21) バッシブモード 入、切 日付フォルダー生成 入、切 同名ファイル スキップ、上書き 情報表示	140 141 151 142 132
	ファン A オート、 ON 入	46
	リモコンセンサー ON 入、 OFF 切	—
	POWER LED ON 入、 OFF 切	29
	ACCESS LED ON 入、 OFF 切	35
	オートパワーオフ ON 入、 OFF 切 バッテリー使用時、約5分間何も操作しないと、節電のために電源が切れる。 ・電源が切れる約30秒前に、「オートパワーオフ」が表示される。	—
	REMOTE端子 RC-V100 RC-V100 (REMOTE A)、 Std. スタンダード	
	強制逆光補正、 フェイスオンリー AF、 フォーカスガイド、 WB 優先WB、 AF/MF AF/MF、 パワードIS、 プレREC、 REC REVIEW レックレビュー、 MAGN 拡大表示、 PHOTO Photo、 OFF 切 初期設定: アサインボタン1 AF/MF AF/MF アサインボタン2 パワードIS アサインボタン3 プレREC アサインボタン4 REC REVIEW レックレビュー アサインボタン5 MAGN 拡大表示	102
	タッチアサインボタン 強制逆光補正、 フェイスオンリー AF、 フォーカスガイド、 WB 優先WB、 AF/MF AF/MF、 パワードIS、 プレREC、 REC REVIEW レックレビュー、 MAGN 拡大表示、 PHOTO Photo、 OFF 切 初期設定: PHOTO Photo	102

設定項目	内容・設定値	
CUSTOMダイヤル&ボタン	Av/Tv/M Av / Tv / M、 GAIN AGCリミット、 ☒ 露出補正、 OFF 切	100
バッテリー情報	バッテリーの残量 (%) と撮影 / 再生可能時間 (分単位まで) を確認できる。 ・ バッテリーが消耗していると表示されないことがある。	—
メニュー設定保存 	保存、読み込み	104
GPS自動時刻設定	ON 自動更新、 OFF 切 GPSから得られる時刻情報を本機に設定できる。機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの時刻をカメラに設定する」のページも合わせてご確認ください。	—
GPS情報表示	機能の詳細については、GP-E2の使用説明書「GPSの信号を受信する」の「GPS情報を表示する」のページも合わせてご確認ください。	—
認証マーク表示	本機が対応している認証マークの一部を表示する。	—
Firmware	ビデオカメラの現在のバージョンを確認できる。 ・ 通常は灰色で表示される。	—
設定初期化	本機の設定を初期状態に戻す。	—

10

その他

トラブルシューティング	164	アクセサリ紹介	182
メッセージが出たら?	170	主な仕様	184
安全上のご注意	175	索引	189
取り扱い上のご注意／ 日常のお手入れ	177	保証書と修理対応	193

トラブルシューティング

修理に出す前にこの「トラブルシューティング」で説明する内容をもう一度確認してください。それでも直らないときは、カメラ修理受付センター (☎ 193)にご相談ください。

電源

こんなときは	どうするの？	☎
電源が入らない。 途中で電源が切れる。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
バッテリーが充電できない。	● 電源を切ってから充電する。 ● バッテリーの温度が使用温度 (約0℃～40℃) の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● 本機と通信できないバッテリー (キヤノン推奨以外) が取り付けられているため、充電できない。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	18 193
ACアダプターから音が出る。	● ACアダプターを使用中に小さな音が出ることがある。故障ではない。	—
常温でバッテリーの消耗が 極端に早い。	● バッテリーの寿命と考えられる。新しいバッテリーを購入する。	—

撮影中

こんなときは	どうするの？	☎
RECボタンを 押しても録画しない。	● 撮影した映像を本機に書き込んでいる間は録画できない。書き込み終了まで待つ。 ● メモリーに空き容量がない。不要なクリップや静止画を消すか、初期化する。 ● クリップや静止画に割り当てられるファイル番号が最大になったためカードに記録できない。新しいカードを入れて、メニューの「ファイル番号」を「オートリセット」にする。	— 35 113 159
RECボタンを 押した時点と、記録された クリップの始めと終わりの 時点が異なる。	● RECボタンを押してから、録画の開始・終了までに、多少時間がかかることがある。故障ではない。	—
ピントが合わない。	● 被写体によってはピントが自動で合いにくいことがある。手動でピントを調整する。 ● AFモードがAFブーストMFのときは、合焦付近 (AFブーストMF枠が白色に変わる) まで手動で調整する。 ● ビューファインダーの視度が合っていない。視度調整レバーで画面がはっきり見えるように調整する。 ● レンズが汚れているのでお手入れする。	53 23 181
被写体が横切るとき、 被写体がゆがんで見える。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、本機の前を被写体が素早く横切ると、少しゆがんで見えることがある。故障ではない。	—
動画の「●撮影／■撮影停止／▶再生」の切り換えに 時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。別のカードと入れ換えるか、クリップと静止画をバックアップしてカードを初期化する。	35 128
動画や静止画を正しく記録 できない。	● 記録や消去を繰り返すと、このようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを完全初期化する。	35 128

こんなときは	どうするの？	📖
長時間使うと熱くなる。	● 長時間使い続けると熱くなることがあるが、そのまま使用しても問題ない。本機の温度が急激に上昇したり、持てないほど熱くなったときは故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	193

再生中

こんなときは	どうするの？	📖
クリップや静止画が消去できない。	● SDカードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、ロックを解除する。 ● 他機でプロテクトされた静止画は、本機では消去できない。	—
クリップの消去に時間がかかる。	● クリップ数が多いとこのようになることがある。クリップと静止画をバックアップしてカードを完全初期化する。	35 128
クリップまたは静止画をコピーできない。	● 他機で記録したクリップや静止画はコピーできないことがある。	—
クリップまたは静止画を選択できない。	● クリップや静止画は、100個を超えて選択できない。「選択」ではなく、「全クリップ」または「全静止画」を使う。	—

表示やランプ

こんなときは	どうするの？	📖
画面で  が赤く点灯する。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。	18
画面に  が出る。	● 本機と通信できないバッテリーが取り付けられているため、使用可能時間を表示できない。	—
 または  が赤く点灯する。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	34 35 113 114
 または  が赤く点灯する。	● カードエラー。電源を切り、カードを出し入れする。それでも赤く点灯しているときは、カードを初期化する。	113 114
撮影を中断してもACCESSランプが点灯している。	● 撮影したクリップをメモリーに書き込んでいる。故障ではない。	—
充電中にCHGランプが速く点滅する。 (0.5秒に1回の点滅)	● バッテリーの温度が使用温度（約0℃～40℃）の範囲外になったため充電を停止した。バッテリーを取り外し、温めるかまたは放置して使用温度の範囲内になってから、充電を行う。 ● 周囲の温度が約0℃～40℃のときに充電する。 ● バッテリーが故障しているので、別のバッテリーを使用する。 ● ACアダプター、バッテリーに異常があるため、充電が中止される。カメラ修理受付センターにご相談ください。	193

こんなときは	どうするの？	📖
画面で🔴🔴が点滅し続ける。	● メディアモードでGPSレシーバー GP-E2(別売)を接続した。GP-E2を取り外し、カメラモードで接続する	—
画面に🟡(黄色)が出る。	● 本機内部の温度が高くなり一定の温度に達した。そのまま使用しても問題ない。	—
画面に🔴(赤色)が出る。	● 画面に🟡(黄色)が出ている状態から、さらに内部温度が高くなった。そのまま使用しても問題ない。	—

画面や音

こんなときは	どうするの？	📖
画面が暗い。	● バックライトが低輝度設定になっている。明るくするときは、 ☒ 表示設定メニュー>「液晶バックライト」を選び、「通常」または「高輝度」に設定する。	160
画面がついたり消えたりを繰り返す。	● バッテリーが消耗しているので、十分に充電したバッテリーと交換する。 ● バッテリーを正しく取り付け直す。	18
画面に通常出ない文字が出たり、正常に動作しない。	● 電源を取り外し、しばらくしてから取り付ける。	20
画面にノイズが出る。	● プラズマテレビや携帯電話などから離して本機を使用する。	177
画面に横帯が出る。	● 撮像素子にCMOSセンサーを使用しているため、撮影時の照明によっては横帯が見えることがある。電源の周波数に応じたシャッタースピードを設定すると抑制できることがある。電源周波数が50Hzのときは1/100秒を、60Hzのときは1/60秒を設定する。	71
ビューファインダーの画像がはっきりしない。	● 画像がはっきり見えるように視度調整レバーを動かす。	23
ビューファインダーに映像が出ない。	● ビューファインダーを引き出す。	23
音声記録されない	● MIC端子に接続している外部マイクの電源が入っていないか、または電池が切れている。 ● 録音レベルが正しく設定されていない。	—
音がひずんだり、実際より小さく記録される。	● 大きな音の近く(打上げ花火やコンサートなど)で撮影すると、このようになることがある。マイクアッテネーターを使うか、録音レベルを手動で調整する。	88
映像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	● スピーカーの音量が「切」になっているので、音量を調整する。	111 —

■ アクセサリー

こんなときは	どうするの？	📖
カードが入らない。	● 正しい向きでカードを入れる。	34
カードに記録できない。	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。 ● はじめて使用するときは、カードを完全初期化する。 ● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているので、反対側にする。 ● 対応しているカードを確認する。 ● ファイル番号が最大になったため、カードに記録できない。新しいカードを入れて、  記録設定メニュー ▶ 「ファイル番号」 ▶ 「オートリセット」にする。	34 113 114 35 35 33 158
リモコンWL-D89が動作しない	●  システム設定メニュー ▶ 「リモコンセンサー」を「入」にする。 ● リモコンの電池を交換する。	27 161
リモートコントローラーRC-V100(別売)または市販のリモコンが動作しない。	●  システム設定メニュー ▶ 「REMOTE端子」を、RC-V100のときは「RC-V100(REMOTE A)」に、市販のリモコンのときは「スタンダード」に設定する。 ● 本機の電源を切ってリモコンを再接続したあと、本機の電源を入れる。	—

■ 他機

こんなときは	どうするの？	📖
テレビの放送画面にノイズが出る。	● テレビの近くで使用するときは、テレビやアンテナケーブルからACアダプターを離す。	—
再生しても、外部モニターに映像が出ない。	● 本機と外部モニターとの接続が正しく行われていない。ケーブルの接続を確認する。 ● 外部モニターの設定を、接続した端子に切り換える。	—
ハイスピードHDMIケーブルで接続しているとき、テレビに映像や音が出ない。	● ハイスピードHDMIケーブルを抜き差しするか、本機の電源を入れ直す。	123
正しく接続しているのにパソコンから本機が認識されない。	● 接続ケーブルを抜き差しし、本機の電源を入れ直す。 ● パソコンの別のUSB端子につなぐ。	—
クリップや静止画をパソコンに取り込めない。	● カードに記録されているクリップ／静止画が多すぎる。総数が以下になるように消して、カードリーダーなどを使って取り込む (Windows：2500未満。macOS：1000未満)。	—

■ ネットワーク接続

お使いのネットワーク機器の説明書も併せてご覧ください。

はじめに確認してください

- ☐ アクセスポイントやパソコンなどのネットワーク機器と本機の電源は入っていますか？
- ☐ ネットワークの設定が完了し、正しく動作していますか？
- ☐ パソコンなどのネットワーク機器は、本機と同じネットワークに正しく接続していますか？
- ☐ 本機をアクセスポイントまたはパソコンなどWi-Fi対応機器から見通しの良い場所に置いていますか？

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントに接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	130 169
	● 保存しておいたメニュー設定を本機に読み込むと、暗号化キーとパスワードが解除される。再度、ネットワーク設定を行う。	130
Wi-Fiのカメラアクセスポイントで、本機に接続できない。	● 電波状況が悪いか、周囲の電子機器と電波が干渉している可能性がある。「Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法」を参考に対応する。	130 169
	● 本機的全設定をリセットすると、ネットワーク設定が解除される。再度、設定を行う。	132
ブラウザーリモートが起動できない。	● 🖱️システム設定メニュー ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「機能」 ▶ 「ブラウザーリモート」を選ぶ。	142
	● ネットワーク機器のWebブラウザーに入力したURLが間違っている。本機のネットワーク設定「ネットワーク設定」 ▶ 「情報表示」でブラウザーリモートを起動するためのURLを確認する。	161
ネットワーク機器のWebブラウザーで、ブラウザーリモートの画面が正しく表示されない。	● ブラウザーリモートが対応していないOSやWebブラウザーを使用した。キヤノンのホームページで動作環境を確認する。	—
	● Webブラウザーの設定で、CookieとJavaScriptが無効になっているときは、有効にする。	—
	● Webブラウザーの設定で、Cookieなどを消去してから、ブラウザーリモートを起動する。	—

■ Wi-Fi接続の注意点とトラブル対処方法

ここでは、Wi-Fi接続に関する注意点と、トラブル発生時の一般的な対応方法を説明します。Wi-Fiを使用しているときに「通信速度が遅くなる」、「接続が途切れる」などの現象が起きたときには、以下の例を参考に対応してください。

アクセスポイントの設置場所について

- Wi-Fiを室内で使用するときは、本機を使用する部屋に設置してください。
- 本機との間に人や遮蔽物が入らない、見通しの良い場所に設置してください。
- 本機にできるだけ近付けて設置してください。特に、雨天の屋外で使用すると、電波が雨に吸収されて接続が途切れることがあります。

周囲の電子機器について

- 周囲にある電子機器の影響（電波の干渉）で通信速度が遅くなるときは、5 GHz帯の電波を使用するか、チャンネルを変更すると、問題を解消できることがあります。
- IEEE 802.11b/g/nの無線LANでは、電子レンジやコードレス電話機、ワイヤレスマイク、Bluetooth機器などと同じ2.4 GHz帯の電波を使用します。このため、周囲にこれらの機器があると通信速度が遅くなります。
- 本機と同じ周波数帯を使用するアクセスポイントが近くで稼動していると、通信速度が遅くなります。

本機やアクセスポイントを複数台使用するとき

- 同一ネットワーク内の機器のIPアドレスが重複しないようにしてください。
- 同じアクセスポイントにiVIS GX10を2台以上接続すると、通信速度が遅くなります。
- IEEE 802.11b/gまたはIEEE 802.11n（2.4 GHz帯）のアクセスポイントを複数台使用するとき、電波干渉を少なくするため、無線LANのチャンネルの間隔を、「1、6、11」、「2、7、12」、「3、8、13」のように4チャンネル分空けてください。5 GHz帯の電波を使用するIEEE 802.11a/nが使用可能なときは、IEEE 802.11a/nに切り換え、異なるチャンネルを設定してください。

メッセージが出たら？

本機の画面にメッセージが出たときは、次のような対処をしてください。なお、メッセージの冒頭に、「**A**」、「**B**」などが表示されることがあります。これは、エラーが発生した記録メディアを表わします。

メッセージ	どうするの？	📖
カードカバーがあいています	● カードを入れたらカードカバーを閉じる。	34
カードがありません	● カードを本機に入れる。	34
カードがいっぱいです	● カードに空き容量がない。別のカードと入れ換えるか、不要なクリップや静止画を消す。	34 113 114
カードにアクセス中です カードを取り出さないでください	● カードにアクセスしているときに、カードカバーを開けた。またはカードカバーを開けたときにアクセスし始めた。メッセージが消えるまでカードを絶対に抜かない。	—
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	● カードの誤消去防止ツマミがLOCK側になっているため、カードに書き込めない。誤消去防止ツマミを反対側にする。	35
カードへの書き込みが間に合わないため記録を中止しました	● カードの書き込み速度が遅いため、記録を中止した。SDスピードクラス6、10、U1、U3のカードを使用する。 ● 「解像度」で「3840x2160 (150 Mbps)」を設定しているときや「Slow & Fastモーション記録」のときは、UHSスピードクラス3のSDカードを使用する。 ● 撮影や編集を繰り返しているカードでは、データの書き込み速度が低下して、記録が停止することがある。本機でカードを完全初期化してから使用する。	33 35
カードを確認してください	● カードにアクセスできない。カードが正しく入っているか、カードに不具合がないか確認する。	34
	● カードにエラーがあり、記録や再生ができない。カードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。	—
	● マルチメディアカードを入れた。推奨のカードを入れる。	33
	● 「カードを確認してください」が4秒後に消えて A または B が赤く点灯するときは、電源を切り、カードを出し入れする。 A または B が緑色に点灯すれば、そのまま記録や再生ができる。それでも赤く点灯しているときは、動画と静止画をバックアップして初期化する。	34 35 128
画像がありません	● 静止画を撮影する。	42
記録を中止しました	● 管理情報が壊れた*1か、またはエンコーダーにエラーが発生したため、クリップを記録できない。電源を入れなおしてカードを出し入れするか、別のカードと入れ換える。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
クリップがありません	● 動画を撮影していないならば、撮影する。	42
このカードでは動画記録できないことがあります	● SDスピードクラスに対応していないカードまたはスピードクラス2、4のカードを入れた。SDスピードクラス6、10、U1、U3のカードを使用する。 ● 「解像度」で「3840x2160 (150Mbps)」を設定しているときや「Slow & Fastモーション記録」のときは、UHSスピードクラス3のSDカードを使用する。	33
このカードは記録できません	● 512 MB以下のカードは動画の記録ができない。推奨のカードを入れる。	33
再生できない画像です	● 他機で記録したり、パソコンで作成や加工をした静止画は再生できないことがある。	—
再生できません	● 512 MB以下のカードは動画の再生ができない。推奨のカードを入れる。	193
再生できません カードを確認してください	● カードに異常があるため、再生できない。 ● カードを完全初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	35
再生できません 本機で初期化してお使いください	● パソコンで初期化されたカードを入れた。本機で初期化する。	35

メッセージ	どうするの？	📖
消去ができないクリップがありました	● 他機でプロテクトや編集したクリップは消去できない。	—
処理が正常に終了しませんでした	● SDカードの完全初期化中にカードカバーを開けた。 ● カードの初期化／完全初期化中にカードにエラーが発生した。カードを再度初期化する。それでも解決しない場合は、別のカードと入れ換える。	—
処理中です 電源をはずさないでください	● カードに書き込んでいる。書き込みが終わるまで、そのまま待つ。	—
静止画とMP4動画の総数が多すぎます USBケーブルを抜いてください	● カードに記録されているクリップ／静止画が多すぎる。USBケーブルを抜き、カードリーダーなどを使用してパソコンに移動する。または総数が以下になるように消す（Windows：2500未満。macOS：1000未満）。その後、USBケーブルを接続し直す。 ● OSの設定によってはパソコンのモニターにメッセージが出ることもある。メッセージを閉じてからUSBケーブルを接続し直す。	—
テレビ方式が異なり 認識できません	● テレビ方式が異なる映像を本機に書き戻した。 ● テレビ方式が異なる映像は本機で認識できない	—
データを修復できません でした	● 壊れたデータを修復できない。クリップと静止画をバックアップして、カードを初期化する。 ● カードの空き容量がないと修復できないことがある。不要なクリップを消去する。	35 128 113 114
動画／静止画データのバックアップは定期的に行ってください	● 万一の故障やデータ破損に備えて、撮影したデータを定期的にバックアップする。	128
トリミングできません	● 他機で記録したり、コピーしたりしたクリップはトリミングできない。	115
バッテリー通信エラー ご使用のバッテリーにCanon ロゴはありますか	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。 ● キヤノン推奨のバッテリーを使用している場合は、ビデオカメラまたはバッテリーの故障の可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	193
バッテリーパックを充電し てください	● バッテリーが消耗している。バッテリーを充電する。	18
非対応バッテリーです 電源を切ります	● キヤノンの推奨以外のバッテリーを取り付けて、電源を入れた。4秒後に自動的に電源が切れる。	—
ファイル名が作成できません	● フォルダー番号やファイル番号が最大になった。クリップと静止画をバックアップしてから、「オートリセット」してカードを初期化するか、クリップと静止画をすべて消す。	35 113 114
ファンエラー	● 冷却ファンが故障した可能性がある。カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
本機で初期化してお使い ください	● カードを本機で初期化する。	35

*1 破損した管理情報は修復できません。

■ ネットワーク 機能使用時

インフラストラクチャーの場合は、お使いのアクセスポイント（無線親機）の説明書も併せてご覧ください。

こんなときは	どうするの？	📖
アクセスポイントが見つかりませんでした	● アクセスポイント検索を実行したが見つからなかった。アクセスポイントが正常に動作しているか確認して、もう一度接続を行う。 ● アクセスポイントのステルス機能を有効にしていると、見つからない。ステルス機能を無効にする。 ● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機の🔧システム設定→「ネットワーク設定」→「情報表示」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	161
カードカバーがあいています	● カードにアクセス中にカードカバーが開けられた。ネットワーク機能を中止し、ネットワーク接続を切断する。	—
接続できませんでした	● アクセスポイントなどのネットワーク機器に接続できなかった ● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	178
転送できなかったファイルがあります	● ファイルシステムが壊れている、または本機以外の製品で記録したクリップを転送した。それらのファイルやクリップをカードから消去して、再度FTP転送を行う。 ● 転送先のフォルダーに同じファイル名のファイルがある。ファイルを移動する、またはファイル名を変更するか、🔧システム設定メニュー▶「ネットワーク設定」▶「FTP転送設定」▶「同名ファイル」を「上書き」にする。	150 151
ネットワーク機能が正しく動作していません	● ネットワーク機能にハードウェアエラーが発生した。本機の電源を入れ直す。それでも解決しないときは、カメラ修理受付センターにご相談ください。	—
Wi-Fiの接続が切れました	● Wi-Fi接続中に、接続先のアクセスポイント、またはパソコンなどのネットワーク機器に異常が発生した。接続先を確認して、もう一度、接続を行う。 ● 通信状態が悪くなったため無線ネットワークの接続が切断された。しばらく待つか、周囲にある電子機器を停止する。またはそれらから離れて、もう一度接続する。	130
複数のアクセスポイントが検出されました もう一度操作してください	● 他のWi-Fi機器がWPSのプッシュボタン方式で接続を行っている。しばらくしてから操作するか、「WPS：PINコード」または「アクセスポイント検索」で接続する。	135 137
FTPサーバーに接続できません	● FTPサーバーに接続できなかった。本機のFTPサーバー設定を確認する。	150
FTPサーバーにファイルを転送できません	● FTPサーバーにファイルを転送できなかった。FTPサーバーの記憶装置（ハードディスクなど）に空き容量があるか確認する。	—
FTPサーバーにログインできません	● FTPサーバーにログインできなかった。本機の「FTP転送設定」の「FTP：ユーザー名」と「FTP：パスワード」を確認する。	150
FTP通信中にエラーが発生しました ファイル転送は完了していません	● FTPファイル転送中に、通信エラーが発生した。ネットワーク機器と本機の電源を入れ直し、再度FTP転送を行う。	—
IP アドレスが重複しています	● 本機と同じIPアドレスの機器が、同一ネットワーク内にあった。IPアドレスが重複している他機、または本機のIPアドレスを変更する。	134

こんなときは	どうするの？	📖
IP アドレスを取得できませんでした	● DHCP サーバーを使用していないときは、Wi-Fi接続を「マニュアル」で行い、IPアドレスを「マニュアル」で設定する。	138
	● DHCP サーバーを確認する。 ・ DHCP サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DHCP サーバーに割り当てられるアドレスに余裕はあるか。	—
	● DNS サーバーを使用していないときは、DNS アドレスを「0.0.0.0」に設定する。	134
	● 使用するDNS サーバーと同じIP アドレスを本機に設定する。	140
	● DNS サーバーを確認する。 ・ DNS サーバーは、電源が入っていて正常に動作しているか。 ・ DNS サーバーにIP アドレスと、そのアドレスに対応する名前が正しく設定されているか。	—
Wi-Fiの暗号化キーが違います	● ゲートウェイ機能を持つアクセスポイントを使用しているときは、本機を含むすべてのネットワーク機器に、正しいゲートウェイアドレスを設定する。	134
	● 認証方式に「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、または「共有キー」を選んだとき、または暗号化方式にWEPを選択したときに、入力した暗号化キー（AESやTKIP、またはWEPキー）の文字数／桁数が正しくない。AESやTKIPを英数字で入力するときは、8 ～ 63文字で64文字を入力するときは、16進数で入力する。 WEPキーを英数字で入力するときは、5文字（64bit時）、または13文字（128bit時）で、16進数で入力するときは、10桁（64bit時）、または26桁（128bit時）で入力する。	139
Wi-Fiの暗号化方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	138
	● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機の🔧システム設定 ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「情報表示」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	161
Wi-Fiの接続が切れました	● コードレス電話機、電子レンジ、冷蔵庫などからの電波と干渉することがある。これらの機器から離れた場所で本機を操作する。	178
	● Wi-Fi 機器にほかからのアクセスが集中している場合など、接続できない状態になっている。しばらくしてから接続する。	—
Wi-Fiの認証ができませんでした	● 本機とアクセスポイントは同じ認証／暗号化方式、暗号化キー（パスワード）で設定する。	138
	● アクセスポイントのMACアドレスフィルタリングを有効にしていると見つからないことがある。本機の🔧システム設定 ▶ 「ネットワーク設定」 ▶ 「情報表示」で本機のMACアドレスを確認し、アクセスポイントに設定する。	161
Wi-Fiの認証方式が違います	● 本機とアクセスポイントの認証／暗号化方式が異なる。本機をアクセスポイントの設定に合わせる。	138
	● MAC アドレスでフィルタリングしているときは、同じMAC アドレスをアクセスポイントに登録する。	—
WPSで接続できませんでした	● 本機とアクセスポイントの電源を入れ直して、設定し直す。それでも解決しないときは、「アクセスポイント検索」で接続する。	137

こんなときは	どうするの？	📖
WPSで接続できませんでしたもう一度操作してください	● WPS起動後に2分経過したため、アクセスポイントに接続できなかった。もう一度、WPS接続を行う。 ● WPS(プッシュボタン方式)で接続するときは、あらかじめアクセスポイントの説明書をご覧になり、アクセスポイントがWPS起動状態になるまで、WPSのボタンを押してください。 ● アクセスポイントの暗号化方式がWEPに設定されている。WPSで接続する場合、暗号化方式がWEPのアクセスポイントには接続できない。アクセスポイントの暗号化方式を変更するか、WPS以外の接続方法で接続する。	— — —

ネットワーク機器の画面に表示されるメッセージ

こんなときは	どうするの？	📖
A User is already accessing the server. Try again later. [Retry]	● 他のネットワーク機器が、すでにビデオカメラに接続している。他機の接続を解除してから「Retry」をタッチする。	—
これ以上調整できません	● ブラウザリモートでフォーカスを調整するとき、レンズが無限端、または至近端に達しても、さらに操作を行った。	—

安全上のご注意

安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。

警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。

破損したときは、内部に触れない。

液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。

雷が鳴り出したら、コンセントにつながれた製品に触れない。ぬらさない。
感電の原因となります。

分解や改造をしない。

強い衝撃や振動を与えない。

バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 液漏れしたものは使わない。

液漏れて身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師に相談してください。

- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
感電、破裂、火災の原因となります。

指定外の電源は使わない。

バッテリーチャージャーやACアダプター（コンパクトパワーアダプター）を使うときは、次のことに注意する。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- コードを引っ張って電源プラグを抜かない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

長時間、身体の同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。
気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

乳幼児の手の届くところに置かない。

電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。

使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



禁止



強制

⚠注意 傷害、物的損害を負う恐れがある内容です。



禁止

製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。



強制

三脚を使うときは、十分に強度があるものを使う。

長い時間、ファインダーや画面を見続けない

乗り物酔いのような症状をおこすことがあります。すぐに製品の使用を中止して休息をとってください。

取り扱い上のご注意／日常のお手入れ

ここでは本機やバッテリーとメモリーカードなどを取り扱うときに注意していただきたいことや、カメラ本体の日常のお手入れについて説明しています。

■ ビデオカメラ本体

データはバックアップする

故障などに備えて、撮影した動画や静止画はパソコンなどにバックアップしてください。データ消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

ホコリなどの多い場所で使わない

ホコリ・砂・水・泥・塩分の多い場所で使用・保管しないでください。本機は防水・防じん構造になっていませんので、これらが内部に入ると故障の原因となります。

強い磁気の発生する場所では使わない

磁石、モーターの近くや電波塔の近くなど、強い磁気や電波が発生する場所での使用は避けてください。映像や音声がかれたり、ノイズが入ったりすることがあります。

強い光源にレンズやビューファインダーを向けない

ビデオカメラやビューファインダーを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子などの内部の部品が損傷する恐れがあります。特に三脚を使用しているときやショルダーストラップを使って持ち運ぶときは、本体またはビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。本機を使用しないときは、レンズバリアを閉じてください。

液晶モニターを...

つかんでもちあげない

→ 画面の接合部が破損することがあります。

無理に閉じない

→ 正しい位置に戻してから閉じないと破損することがあります。

ボールペンなど、とがったものでタッチしない

→ タッチパネルが破損することがあります。

強くタッチしない

→ タッチパネルの表示がムラになったり、画面の接合部が破損することがあります。

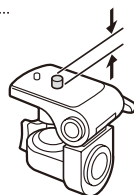
保護シートなどを貼らない

→ タッチパネルは静電容量方式のため、正しく動作しなくなることがあります。

ネジの長い三脚は使わない

取り付けネジの長さが6 mm以上の三脚を取り付けると、本体を破損することがあります。

6mm 以下



その他

Wi-Fi機能について

使用可能な地域について

- 本製品のWi-Fi機能は国内でのみご使用いただけます。国外ではご使用になれません。

電波に関するご注意

- 本製品には、(財)テレコムエンジニアリングセンターの電波法に基づく認証を受けた無線装置が内蔵されており、証明ラベルは無線設備に添付されています。
- 本製品のうち、外国為替、および外国貿易法の規定により、戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

電波干渉に関するご注意

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）、および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、または電波の発射を停止した上、お客様相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談下さい。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせ下さい。

2.4 DS/OF 4

この表示は、2.4GHz帯を使用している無線機器であることを意味します。

本製品は、他の電波を発する機器（コードレス電話、電子レンジ、Bluetooth機器など）から、電波干渉を受ける場合があります。これらの機器からできるだけ遠く離すか、ご利用時間を分けるなどして電波干渉を避けて使用してください。

次の事項を行うと、法律で罰せられます。

本製品を分解、改造すること。本製品上の証明ラベルをはがすこと。

- 医療用の装置や、電子機器の近くで本製品を使用しないで下さい。医療用の装置や、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 36-64チャンネルは、電波法により屋外での使用が禁止されています。
- 航空機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。

■ バッテリー

端子はいつもきれいに

バッテリーと本体端子（充電器の端子）の間に異物が入り込まないようにしてください。接触不良、ショート、破損の原因となります。

正しく残量表示されない場合は

バッテリーをフル充電してください。ただし、バッテリーの使用回数が多いとき、フル充電後に放置したとき、高温下で長時間使ったときは、正しく表示されないことがあります。なお、表示は目安としてご使用ください。

インテリジェントシステム非対応のバッテリーについて

- インテリジェントシステム（□ 183）に対応していないバッテリーを本機やバッテリーチャージャー CG-800D（別売）に取り付けて、充電することはできません。
- インテリジェントシステムに対応していないバッテリーを本機に取り付けて使用した場合、バッテリー残量は表示されません。

使用時間を長くするコツ

こまめに電源を切り、10℃～30℃のところで使用すると、長く使えます。スキー場などでバッテリーが冷たくなると、一時的に使用時間が短くなりますので、ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。

長い間保管するとき

- バッテリーの消耗を防ぐため本体から取り外し、乾燥した30℃以下のところで保管してください。
- バッテリーの劣化を防ぐため、画面に「バッテリーパックを取り替えてください」が表示されるまで使い切ってから、保管してください。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから使い切ってください。

■ カード

データはバックアップする

静電気、カードの故障などによるデータの損傷・消失に備えて、データはパソコンなどにバックアップしてください。なお、データ損傷および消失については、当社では一切の責任を負いかねます。

端子に触れない

汚れが付着し、接触不良の原因となります。

磁気に注意する

強い磁気が発生する場所で使わないでください。

高温・多湿の場所に放置しない

シールを貼らない

カード表面にシールなどを貼ると、シールが差し込み口につまる恐れがあります。

ていねいに扱う

落とす、ぬらす、強い衝撃を与えるなどしないでください。分解は絶対にしないでください。

■ 充電式内蔵電池

本機には充電式のリチウム電池が内蔵されており、日付などの設定を保持しています。この電池は本機を使用中、自動的に充電されますが、約3か月間使わないと完全に放電してしまいます。このときは次のようにして充電してください。

充電のしかた（所要時間：24時間）

- ① 電源を切る
- ② 本機にACアダプターをつなぐ

■ その他のご注意

情報漏洩に注意（譲渡・廃棄するときは）

カードに記録されたデータは、消去や初期化をしても、ファイル管理情報が変更されるだけで、完全には消えません。譲渡・廃棄するときは、データを復元できないように、一度カードの完全初期化（□ 35）を行った後、本機を箱などで覆って最後まで撮影し、再度完全初期化を行います。これによって、情報漏洩を防いでください。

結露について

室温が高いとき、冷水の入ったコップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。本機が結露した場合、そのままの状態ですると故障の原因になりますので注意してください。なお、次のような条件のときに結露が発生しやすくなります。

- 寒い所から急に暖かい所に移動したとき
- 湿度の高い部屋の中
- 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき

結露したらどうする？

周囲の環境によって多少異なりますが、水滴が消えるまで約2時間程度放置してください。

温度差のある場所へ移動するときは

バッテリーを取り外し、カードを取り出して、本機をビニール袋に空気がはいらないように入れて密閉します。移動先の温度になじんだら袋から取り出します。

■ コイン型リチウム電池（CR2025）

コイン型リチウム電池はリモコンに使用されます。捨てるときは、燃えないゴミとして処理してください（地域によって異なりますので指示に従ってください）。

■ ビデオカメラ本体を清掃する（日常のお手入れ）

大切なビデオカメラをより長くお使いいただくために、日常のお手入れには十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。

レンズはいつもきれいに

レンズは常にきれいに保つようにしてください。レンズにホコリや汚れがついたときは、最初にブローアーで表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。

画面について

- ・ 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- ・ 温度差の激しいところでは、画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。

アクセサリー紹介

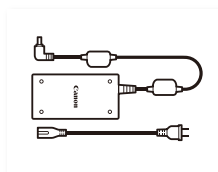
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。



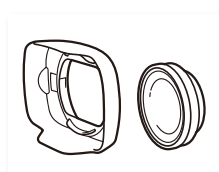
バッテリー
BP-820 / BP-828*1



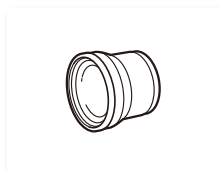
バッテリー
チャージャー *2
CG-800D



ACアダプター
CA-946*1



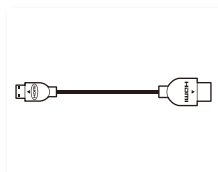
ワイドアタッチメント
WA-U58*3



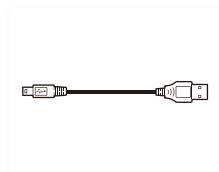
テレコンバーター
TL-U58*3,*4



PROTECTフィルター 58mm、
ND4Lフィルター 58mm、
ND8L フィルター 58mm



ハイスピード
HDMIケーブル
HTC-100/SS*1 / HTC-100



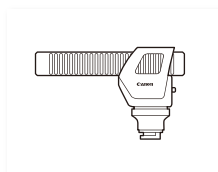
USBケーブル
(インターフェースケーブル)
IFC-300PCU/S*1 /
IFC-400PCU



リモートコントローラー
RC-V100



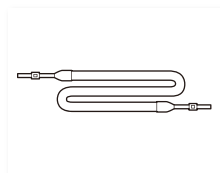
GPSレシーバー
GP-E2



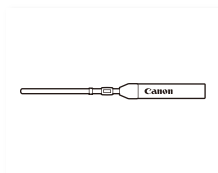
指向性ステレオマイクロホン
DM-100



ビデオライト
VL-5



ショルダーストラップ
SS-600/SS-650



リストストラップ
WS-20



ソフトキャリングケース
SC-2000

*1 本機の付属品です。HTC-100/SSとIFC-300PCU/Sは別売していません。

*2 改正電気用品安全法の要求により、これ以外のバッテリーチャージャーは本機で使用できません。

*3 本機に付属のレンズフードと同時に使用できません。

*4 本機に取り付けると、ピントの合う距離はズームのT端で約1.3 mとなります。

MEMO

インテリジェントリチウムイオンバッテリーについて

バッテリーパックBP-820(別売)/BP-828は、ビデオカメラと通信することにより、バッテリー残量を分単位で確認できるインテリジェントリチウムイオンバッテリーです。インテリジェントシステムに対応したビデオカメラかバッテリーチャージャーCG-800D(別売)でのみ使用／充電できます。



このマークは、キャノンのビデオ関連商品の純正マークです。キャノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキャノンビデオ関連商品をおすすめします。

主な仕様

■ iVIS GX10

システム	
記録方式	動画： MP4 映像圧縮方法：MPEG-4 AVC / H.264 音声記録方式：MPEG-4 AAC-LC、16 bit、48 kHz、2 ch ファイルフォーマット：MP4 静止画：DCF準拠、Exif Ver2.3準拠、静止画圧縮方法：JPEG
記録／再生信号形式	ビットレート： 150 Mbps / 35 Mbps / 17 Mbps / 8 Mbps / 4 Mbps 解像度： 3840×2160、1920×1080、1280×720 カラーサンプリング：4:2:0 8 bit フレームレート： 59.94P、29.97P、23.98P
記録メディア	SD／SDHC／SDXCメモリーカード（2スロット）
撮像素子	1.0型、CMOS（単板） 有効画素数：約829万画素（3840 x 2160）
液晶モニター	ワイド液晶（3.5型、約156万ドット、視野率100%）、タッチパネル
ビューファインダー	0.24型ワイドカラー液晶（約156万ドット相当、視野率100%）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=8.3－124.5 mm F=2.8－4.5 光学15倍ズーム 9枚羽根虹彩絞り 35 mmフィルム換算時の焦点距離：約25.5－382.5 mm
レンズ構成	14群18枚（非球面2枚）
フィルター径	58 mm
フォーカス	調整方法：マニュアル、AFブーストMF、コンティニュアスAF AF方式：デュアルピクセルCMOS AF、コントラストAF
最短撮影距離	ワイド端1 cm、ズーム全域60 cm
ホワイトバランス	オート、太陽光、電球、色温度、セット1／セット2（白取り込み）
最低被写体照度	約0.1ルクス（ローライト（シーンモード）、シャッタースピード1/2秒時） 約1.7ルクス（P（プログラムAE）モード（オートスローシャッターオン）、シャッタースピード1/30秒時）
手ブレ補正機能	光学式+電子補正（スタンダードIS、ダイナミックIS、パワードIS）
Wi-Fi	無線LAN規格：IEEE802.11b/g/n（2.4 GHz帯） IEEE802.11a/n（5 GHz帯） 接続方法：インフラストラクチャー（WPS：プッシュボタン方式、WPS：PINコード方式、アクセスポイント検索、マニュアル）、カメラアクセスポイント 認証方式：オープン、共有キー、WPA-PSK、WPA2-PSK 暗号化方式：WEP-64、WEP-128、TKIP、AES
静止画サイズ	3840×2160、1920×1080、1280×720

入・出力端子	
HDMI OUT端子	HDMIミニコネクタ、出力のみ
USB端子	mini-B Receptacle、Hi-Speed USB（出力のみ）
MIC端子	Φ3.5mm ステレオミニジャック（不平衡）、 −65dBV（ボリュームオート、フルスケール−12dB）／5KΩ 以上 Att：20dB
ヘッドホン端子	Φ3.5mmステレオミニジャック −29dBV（16Ω負荷、ボリューム最大）／100 Ω
REMOTE端子	Φ2.5mm ステレオミニジャック（入力のみ）
電源その他	
電源電圧	DC7.4 V（バッテリーパック）、DC8.4 V（DC IN）
消費電力（解像度：3840x2160 （150Mbps）、フレームレート： 59.94P、AF合焦、明るさ「通常」時）	液晶モニターのみ使用時： 約8.5W ビューファインダーのみ使用時：約7.9W
動作温度	約0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約135×97×214 mm （本体のみ） 約150×97×267 mm （レンズフード装着時） いずれもグリップベルトを含まない。
撮影時総質量	約1335 g （レンズフード、BP-828、メモリーカード（1枚）含む）
本体質量	約1140g （グリップベルト含む）

付属品

ACアダプター CA-946

定格入力	AC100 ～ 240 V、50/60 Hz
定格出力	65 VA (AC 100 V) ～ 85 VA (AC 240 V)
使用温度	約0 °C ～ +40 °C
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約73×40×139 mm
本体質量	約465 g

バッテリーパック BP-828

使用電池	リチウムイオン (インテリジェントリチウムイオンバッテリー)
使用温度	約0 °C ～ +40 °C
公称電圧	DC7.4 V
公称容量	2670 mAh
定格 (最小) 容量	19 Wh / 2550 mAh
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	約30.7×55.7×40.2 mm
質量	約121g

動画の記録可能時間の目安

解像度 容量	3840x2160 (150 Mbps)	1920x1080 (35 Mbps)	1920x1080 (17 Mbps)	1280x720 (8 Mbps)	1280x720 (4 Mbps)
8 GB	5分	25分	55分	2時間	4時間05分
16 GB	10分	55分	2時間	4時間15分	8時間35分
32 GB	25分	1時間55分	4時間05分	8時間40分	17時間25分
64 GB	55分	4時間	8時間15分	17時間35分	35時間15分
128 GB	1時間50分	8時間05分	16時間35分	35時間20分	70時間45分

■ バッテリーの充電時間の目安

充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

バッテリーパック	充電時間	
	ACアダプター CA-946(付属)	バッテリーチャージャー CG-800D(別売)
BP-820	3時間50分	3時間10分
BP-828	5時間50分	4時間20分

■ バッテリーの使用時間の目安

付属のバッテリー BP-828と別売のBP-820をフル充電したときの使用時間の目安は、次のとおりです。

解像度	フレームレート	使用時間	BP-820	BP-828
3840x2160(150 Mbps)	59.94P	連続撮影時間	1時間20分	2時間
		実撮影時間	40分	1時間
		再生時間	1時間55分	2時間55分
	29.97P	連続撮影時間	1時間40分	2時間30分
		実撮影時間	45分	1時間10分
		再生時間	2時間15分	3時間25分
1920x1080(35 Mbps)	59.94P	連続撮影時間	1時間30分	2時間25分
		実撮影時間	45分	1時間10分
		再生時間	2時間25分	3時間40分
	29.97P	連続撮影時間	1時間50分	2時間45分
		実撮影時間	50分	1時間20分
		再生時間	2時間30分	3時間50分
1920x1080(8 Mbps)	59.94P	連続撮影時間	1時間35分	2時間20分
		実撮影時間	45分	1時間10分
		再生時間	2時間30分	3時間50分
1920x1080(4 Mbps)	29.97P	連続撮影時間	1時間55分	2時間50分
		実撮影時間	55分	1時間20分
		再生時間	2時間35分	3時間55分

* 液晶モニターを使用した場合の目安です。

* 実撮影時間とは撮影、撮影停止、電源の入／切、ズームなどの操作を繰り返したときの撮影時間です。

* 画面を明るくしていると、バッテリー使用時間が少し短くなることがあります。

* 低温下で使用すると、使用時間が短くなります。

バッテリーは予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください

ビデオカメラの消費電力はズームなどの操作によって変化します。そのため、上記の使用時間より短くなることがあります。

「iVIS GX10」は、DCFに準拠しています。DCFは、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

「iVIS GX10」は、Exif 2.3(愛称「Exif Print」)に対応しています。ExifPrintは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。ExifPrint対応のプリンターで印刷することで、撮影時のカメラ情報を生かし、それを最適化して、よりきれいな印刷出力が得られます。

索引

ア

アクセサリ	182
アサインボタン	102
安全上のご注意	175
インデックス画面	106
インフラストラクチャー	131
オーディオシーン	86
オートスローシャッター	156
音声コンプレッサー	91
音声リミッター	91
音量	
: 再生時	111

カ

カード	34
解像度	50
外部モニター／レコーダーを接続する	123
拡大表示	57
カメラアクセスポイント	131
カメラモード切り換えスイッチ	14, 30
カラーバー&テストトーン	94
吸気口	46
強制逆光補正	77
記録先	39
クリップ	
: クリップ情報	112
: コピー	116
: 再生する	106
: 修復する	119
: 消去する	113
グリップズーム	64
グリップベルト	25
ゲイン	72
結露	181
コピー	
: 静止画	117
: 動画	116
コンティニューASAF	59

サ

再生する	
: 静止画	106
: 動画	107
撮影する	
: 静止画	44
: 動画	43
撮影モード	71
三脚	28, 177
絞り	72
シャッタースピード	72
充電	18
修理対応	193
出力信号形式	122
ジョイスティック	31
仕様	184
消去する	
: 静止画	113
: 動画	113
初期化する	35
ショルダーストラップ	26
ズーム	63, 149
ズームスピードレベル	64, 66
ストラップ	25, 26
静止画	
: コピーする	116
: 再生	106
: 消去する	113
ゼブラパターン	77

タ

タイムコード	81
デジタルテレコン	68
手ブレ補正	69
デュアルピクセルフォーカスガイド	55
同時記録	51
トラブルシューティング	164
取り扱い上のご注意	177
トリミング	115

ナ

内蔵マイク	14
内蔵マイクアッテネーター	89
内蔵マイクウィンドカット	89
内蔵マイク指向性	90

ハ

排気口	46
ハイスピードズーム	65
バッテリー	
: 残量表示	21
: 充電時間	187
: 使用時間	187
パワードIS	69
ピーキング	56
日付・時刻	32
ビューファインダー	23
ファイル番号	158
ファン	46
フェイスオンリー AF	62
フェイスキャッチ&追尾	60
フォーカス/ズームリング	11, 53, 63
フォーカス (ピント合わせ)	53
フォーカスプリセット	54
ブラウザーリモート	141
フレームレート	50
プレ記録	95
ヘッドホン	93
ホワイトバランス	79

マ

マイクレベル	88
マニュアルフォーカス	53
ミニアドバンストシュー	84
メッセージ	170
メニュー一覧	156

ヤ

ユーザービット	83
---------	----

ラ

リモコン	16, 27
リレー記録	51
ルック	80
レックレビュー	46
レンズフード	22
録音レベル	88
露出	75

その他

AFブーストMF	58
AGCリミット	70
AUTO(オート)モード	30
Av (絞り優先AE)	72
CAMERAモード	29
CUSTOMダイヤル&ボタン	100
Data Import Utility	128
DC IN端子	13
FTP転送	150
FUNC.メニュー	154
FUNCメニュー/メニュー設定する	36
MEDIAモード	29
MENU(メニュー)ボタン	31
MICアッテネータ	92
MICローカット	92
M(マニュアル)モード	30
M (マニュアル露出)	72
NDフィルター	78
PRE REC	95
SD / SDHC / SDXCメモリーカード	
: カードを入れる/出す	34
: 記録先を選ぶ	39
: 初期化する	35
Slow & Fastモーション	52
Tv (シャッター優先AE)	71
USB端子	12
Wide DR(ルック)	80
Wi-Fi	130
WPS	131
Ω(ヘッドホン)端子	93

商標について

- SD、SDHC、SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、macOSは、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- DCFロゴマークは、(社)電子情報技術産業協会 (JEITA)の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED、WPA、WPA2とWi-Fi CERTIFIEDロゴは、Wi-Fi Allianceの商標です。
- ビデオカメラの設定画面と本書内で使用されている「WPS」は、Wi-Fi Protected Setupを意味しています。
- JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

本機器は、MicrosoftからライセンスされたexFAT技術を搭載しています。

MPEG-4使用許諾について

This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

MEMO

保証書と修理対応

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。ここでは修理対応について説明しています。

修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張費用を申し受けます。修理受付窓口については、カメラ修理受付センターにお問い合わせ頂くか、弊社ホームページでご確認ください。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害（録画再生に要した諸費用および録画再生による得べかりし利益の喪失、記録されたデータが正常に保存・読み出しができないことによって発生した損害等）については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承願います。

修理対応期間について

カメラの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

修理に出すまえに

- 不具合症状の再現・確認のために、記録メディアをお預かりすることがあります。その場合、修理の前に必ずデータをバックアップしてください。なお、修理によってデータが消去された場合の補償についてはご容赦ください。
- 修理の際、必要最小限の範囲で記録メディア内のデータを確認させていただくことがあります。ただし、データを弊社が複製・保存することはありません。

修理のお問い合わせは

カメラ修理受付センター

050-555-99077（全国共通）

9:00 ～ 18:00（1月1日～1月3日を除く）

電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。上記電話番号をご利用にならないときは、043-211-9316をご利用ください。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法（宅配便発送／弊社によるお引き取り）やお届けについてご案内いたします。

「らくらく修理便」について

ご自宅にいながら修理申込みができる引き取り修理サービスです。キヤノン サポートページの「修理のお問い合わせ・お申込み」→「キヤノン製品を、快適に、安心してお使いいただくために。」→「らくらく修理便」をご覧ください。

■本書の記載内容は2017年7月現在のものです

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。

Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



リチウムイオン電池の
リサイクルにご協力ください。